



プロジェクター

MP-JU4001J/MP-JW4001J/MP-JW3501J

(形名:MP-JU4001/MP-JW4001/MP-JW3501)



このたびは弊社のプロジェクターをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

はじめに ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、 ご理解のうえ正しくご使用ください。

《本機の特長》

本機は以下のような特長を備えており、幅広い用途でご活用いただけます。

- 本機は光源にレーザーダイオードを採用し、小型と軽量を実現したコンパクトな製品です。
- さまざまなビジネスシーンをカバーする多様な入出力端子を備えています。
 HDMI 端子は、デジタル信号による高品位の映像をご利用いただけます。
- USB メモリのような USB ストレージデバイスを USB タイプ A 端子に接続し、入力信号として選択すると、 USB ストレージデバイスに保存されている画像を本機で投影することができます。
- 本機は、LAN に接続して本機の状態をモニターしたり制御することができます。さらに、(オプションの)
 USB ワイヤレスアダプターをご使用になると、ワイヤレス LAN をご利用いただけます。
- 16W のスピーカー内蔵で、教室のような広い部屋でも十分な音量が得られます。
- より鮮明な画像のために、独自の HDCR 機能と ACCENTUALIZER 機能を備えています。 (MP-JU4001J のみ)
- 本機は USB 端子から DC5V/2A の電源供給が可能です。 HDMI 端子を使用するメディアプレイヤーや ストリーミング端末などを外部電源なしで使用でき、プロジェクターの活用の幅を広げます。

《本書について》

以下をご参考に、本書をご活用ください。

- (1) □ : このマークのあとに、ご参照いただきたい記事のページや場所を記載しています。
- 例) □□1-1 ⇒ 本書の【基本編】 1-1 ページをご参照ください。
- (2) 本書は、【基本編】、【応用編】、【ネットワーク編】、および【技術情報編】に分かれています。

本機の基本的な設定や調節、お手入れ方法などについて説明します。

本機の詳細な設定や調節を行うメニュー機能、および本機の多彩な機能についてご説明します。

本機のネットワーク機能について説明します。

本機の仕様や、通信機能、またエラーメッセージや故障と思われる現象への対処法についてご説明します。 保証やアフターサービス、「お客様ご相談窓口」についてのご案内も記載しています。

〈お知らせ〉

- ●本書の内容は、製品の仕様を含め、改良のため予告無く変更することがありますので、ご了承ください。
- ●本書の運用結果については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ●本書の内容の一部、あるいは全部を無断で複写、転載しないでください。
- ●本書に記載している挿絵は、説明のための一例です。お客様のプロジェクターとは若干の相違がある場合があります。

取扱説明書 - 詳細版 -

プロジェクター

MP-JU4001J/MP-JW4001J/MP-JW3501J

(形名:MP-JU4001/MP-JW4001/MP-JW3501)

【基本編】

基本的な設定や調節、お手入れ方法などについて説明します。



ご使用の前に、必ず本書を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

もくじ

はじめに 1-2
正しくお使いいただくために
(心)の読み(たこし)
レーザーに関する注意
付属品の確認
各部の名称1 - 12
準備・設置1 - 16
準備する
設置する
他の機器と接続する
電源に接続する
セキュリティ・スロット / バーを使う1 - 27
リモコンを準備する
リモコン信号について
リモコン信号の周波数を切り替える1 - 29
簡易マウス/キーボードとして使う1 - 30
基本操作1-31
電源を入れる
電源を切る
音量を調節する1 - 33
音声出力を消す1-33
入力信号を選ぶ1 - 33

(基本操作つづき)
アスペクト(画面の縦横比)を選ぶ1 - 34
OSD の表示を制限する1 - 34
傾きを調節する
ズーム(表示倍率)と
フォーカス(焦点)を調節する1 - 35
画面の自動調整機能を使う1 - 36
画面のひずみを補正する1 - 36
画面を拡大する
映像を静止させる
映像を一時的に消す1 - 39
点検とお手入れ1 - 40
エアーフィルターを掃除/交換する1 - 40
その他のお手入れ
仕様1 - 43
一般仕様
外形寸法

Ŵ

正しくお使いいただくために《必ずお読みください》

この製品をご使用になる前に、必ずこの「正しくお使いいただくために」をよくお読みになり、ご理解のうえ正し くお使いください。誤ったご使用や通常の範囲を超える取扱いによる危害や損害については、いかなる場合も 弊社は責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■絵表示について

本書ではこの製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。



■絵表示の意味

	「注意」を示します。 この記号の後に続けて「気をつけなければな らない」ことを記載しています。	「破裂注意」 「感電注意」 「高温注意」
\bigcirc	「禁止」を示します。 この記号の後に続けて「してはいけない」こ とを記載しています。	「分解禁止」 「水ぬれ禁止」 「ぬれ手禁止」 「レンズをのぞかない」
•	「強制」を示します。 この記号の後に続けて「必ず行わなければ	「投写光をさえぎらない」 「電源プラグをコンセントから抜け」 「アース線を必ず接続せよ」

お守りください

本機、およびその他の周辺機器を快適にご使用いただくため、この表示に従ってください。

使用上のご注意







高温に注意する

本機の使用中、排気口や排気口から出る空気は高温になります。

周辺に可燃物やスプレー等があると引火や破裂を引き起こし、火災やけがの原因となります。また高温部に触れたり近づいたりするとやけどの原因となることがあります。

- ▶ 本機の上や周辺に、可燃物やスプレー、熱の伝わり易いものや熱に弱いものを置かないでください。
- ▶ 使用中や使用後しばらく、排気口に触れたり近づいたりしないでください。

レンズをのぞかない



高温注意

本機の使用中は、レンズから強い光が出ます。 <u>視覚障害など</u>の原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

本機の点灯中に映像を消すには、指定の方法を使用する



本機が点灯中に映像を消したい場合には、ブランク機能を使用してください。

レンズの前に物を置いたり、レンズに紙や布などを貼ったりすると、高温となったり、レンズの損傷、発煙、発火の原因となることがあります。

電源コードや電源アダプター、信号ケーブルやコネクタは所定のものを使用する

仕様の合わない電源コードや信号ケーブルを使用すると、<u>火災や感電、故障や電波妨害</u>の原因となります。 本機に付属されているものは、傷や破損が無いことをご確認のうえ、必ず付属品をご使用ください。 付属品以外の接続ケーブルやコネクタは、販売店にご相談のうえ適切なものをご使用ください。 本機に付属の電源コードは本機の専用品です。他の機器には使用できません。

電源プラグは付着物をふき取って使用する



本機の AC(電源端子)や電源コード、電源アダプターのプラグ(刃)部分やその周辺に、ほこりや金属類 などが付着していると、<u>火災や感電</u>の原因となります。

電源プラグは指定(本体に表示)の電源電圧のコンセントに、根元まで確実に差し込んで使用する

電源の接続が不完全の場合、<u>感電</u>の原因となったり、<u>発熱して火災</u>の原因となります。 また、指定の電圧以外でのご使用は、火災や感電の原因となります。



必ず、 交流 100V のコンセントに接続してご使用ください。

- ▶ ゆるみやがたつきのあるコンセントは使用しないでください。
- ▶ たこ足配線はしないでください。

アース線を必ず接続する



アース線、接地端子を接地しないと、<u>火災や感電、電波妨害</u>の原因となります。 また、アース線をコンセントに差し込むと、<u>火災や感電</u>の原因となります。

- アース線は、本書の「電源に接続する」(□1-25)に従って、正しく接続してください。
- ▶ 2つ穴コンセントを使用する場合は、付属の電源アダプターをご使用になり、必ずアース線を接続してください。

▶ アース線を接続するときは、電源アダプターをコンセントに差し込む前に、アース線をアース端子に接続してください。

▶ アース線を外すときは、先に電源アダプターをコンセントから抜いてからアース線を外してください。

電源コード、信号ケーブルやコネクタを傷つけない

損傷のある電源コードや電源アダプター、信号ケーブルなどを使用すると、<u>火災や感電</u>の原因となります。 傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。



▶ 本書に指定のある場合や所定の別売品(販売店にお尋ねください)以外は、本機に取り付けたり ぶら下げたりしないでください。





お守りください

長時間見るときは、ときどき目を休めてください

長時間連続して画面を見ると目が疲れます。 ときどき画面から離れて目を休めてください。

レンズを傷つけないでください

破損や故障の原因となったり、映像不良の原因となることがあります。

- ▶ 本機を使用しないときは、レンズの表面が傷つかないように、 レンズカバーを取り付けてください。
- ▶ レンズに硬いものを当てたり、こすったりしないでください。
- ▶ お手入れは市販のレンズクリーニングペーパー(カメラや メガネの清掃用)などを使ってください。

レンズに直接手を触れないでください

レンズがくもったり、汚れたりすると、映像不良の原因となること があります。

リモコンに衝撃をあたえないでください

破損や故障の原因となることがあります。

- ▶ リモコンを投げたり落としたりしないでください。
- ▶ 上に乗ったり重い物を載せたりしないでください。

リモコンをぬらさないでください

故障したり、電池が液漏れする原因となることがあります。

 水をかけたり、ぬらしたり、ぬれるところに置いたりしないで ください。

リモコンと本機の受光部の間に物を置かないで ください

▶ リモコン送信の障害となって、リモコンが利かないことがあります。

本体やリモコンの取扱い、お手入れについて

取扱いやお手入れの方法を誤ると、表面が変質したり塗装 がはがれることがあります。お手入れは正しい方法(□1-42) で行ってください。

- ▶ ガーゼまたは柔らかい布で軽く拭いてください。
- ▶ 揮発性の薬品や、溶剤、研磨剤、およびスプレーなどは使用しないでください。
- ▶ ゴムやビニール製品を長時間接触させたままにしないで ください。
- ▶ 化学雑きんなどのご使用については、その注意書に 従ってください。

梱包材は大切に保管してください

修理や引越しなどの輸送には、お買い上げの際に使用されていた梱包材をご使用になり、正しく梱包してください。特にレンズ周りの梱包にはご注意ください。

周囲の迷惑にならないように、音量を適切な レベルに設定してください

近隣環境を考慮し、夜間は音量を下げ窓を閉めることをお勧 めします。

●本機の特性について

本機は周囲温度などの影響で、投写位置がずれたり、画面 がゆがんだり、フォーカスが変動することがあります。本機が点 灯してから性能が安定するまでの約 30 分程度は、特に変化 が生じ易くなりますので、必要に応じて確認と再調節を行って ください。

●寿命部品について

光学部品(光源、液晶パネル、偏光板、PBS(Polarized Beam Splitter)、コントラストアップフィルム)および冷却ファ ンは寿命部品です。長時間お使いになると修理交換が必要に なります。

本機は長時間連続使用を想定して設計されたものではありま せん。短時間でも繰り返しご使用になったりすると、寿命部品 の交換サイクルは早くなります。

●映像特性について

本機は液晶パネルを使用した投写装置です。投写面(スクリーンや壁面など)の特性により、映像の色あいやコントラストが、 テレビやコンピュータのモニタとは異なることがありますが、故障で はありません。

偏光スクリーンでは画面が赤味を帯びて見える場合があります。 ご使用にならないでください。

●液晶パネルの焼きつきについて

本機は液晶パネルを使用した投写装置です。静止画像や 動きの少ない映像、液晶パネルの仕様(□1-43)と縦横比 が異なる映像などを、長時間または繰り返し投映すると、 液晶パネルが焼きついて、その映像が残像として残ることがあり ますが、液晶特有の現象であり、故障ではありません。

●輝点、黒点について

本機は液晶パネルを使用した投写装置です。画面上に輝点 (光ったままの点)や黒点(光らない点)が見られることがあり ますが、液晶特有の現象であり、故障ではありません。

●結露にご注意ください

本機を、低温の室外から高温の室内に持ち込んだ場合など、 本機の内部の投写レンズやミラーに結露が生じ、映像がぼやけ たり、見えなくなったりすることがありますが、故障ではありません。 本機が周囲の温度に慣れるに従って露が消え、映像は正常に もどります。

●冷却ファンの騒音について

本機は、使用環境に合わせて冷却ファンの回転速度を制御 する機能を備えています。周囲の温度が高いと冷却ファンの 回転速度も速くなり、騒音も大きくなります。

●ノートパソコンとの接続について

ノートパソコンと接続する場合は、ノートパソコンの RGB 外部 映像出力を有効にしてご使用ください。詳しくはご使用になる ノートパソコンの説明書をご覧ください。

●セキュリティ・スロット/バーについて

本機のセキュリティ・スロットおよびセキュリティ・バーは盗難を 完全に防ぐものではありません。盗難防止対策のひとつとして ご使用ください。

● この製品(付属品を含む)は日本国内でのみ、ご使用 になれます。

日本国外ではご使用にならないでください。また、この製品の 保証書は日本国内でのみ、有効です。

This product (including the accessories) is designed for use in Japan only, and cannot be used in any other countries. The warranty appended to this product is void out of Japan.

●電源高調波について

JIS C 61000-3-2 適合品

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁 両立性 - 第 3-2 部:限度値 - 高調波電流発生限度値 (1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器)」に基づき、 商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・ 製造した製品です。 はじめに - レーザーに関する注意

レーザーに関する注意

定格ラベルは本体の底面にあります。下図をご参照ください。





明るい光源と同じように、ビームをのぞき込まないこと。 RG2 IEC62471-5:2015。



本機は、レーザー規格 IEC60825-1:2014, EN60825-1:2014とJIS C 6802:2014 に適合したクラス 1 レーザー 製品です。誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があります。

内部レーザー仕様

最大出力: 74W

波長: 449 - 461nm

ここに規定した以外の手順による制御および調整は、危険なレーザー放射の露光に結びつくことがある。

次のことに注意してください。

- 本機に異常が発生した場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、 またはお客様ご相談窓口にご相談ください。そのまま使用を続けると、感電や火災の原因だけでなく、視力 障害の原因にもなります。
- ・本機の分解・改造は絶対にしないでください。プロジェクター内部には高出力レーザー製品が組み込まれて います。重大なけがの原因となります。
- ・投写中にビームをのぞき込まないでください。また、光学機器(ルーペや望遠鏡など)を使用してレンズを のぞかないでください。視力障害の原因となります。
- ・本機から離れた場所からリモコンで電源を入れる場合、レンズをのぞいている人がいないことを確認して ください。
- ・小さなお子様には操作させないでください。操作する可能性がある場合は、必ず保護者が同伴してください。
- ・投写映像に対して、ルーペや反射鏡などの光学機器を当てないでください。そのまま使用し続けると、人体 に悪影響を与える可能性があります。また、火災・事故の原因となることがあります。
- ・本機を廃棄する場合は分解しないでください。国や地域の法律や条例に従って廃棄してください。

付属品の確認

初めに付属品をご確認ください。この製品にはプロジェクター本体(本機)の他に、以下のものが含まれています。万一不足しているものがあれば、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

- (1) リモコンと単3型乾電池×2個
- (2) 電源コード
- (3) 電源アダプター
- (4) コンピュータケーブル
- (5) レンズカバー
- (6) 取扱説明書 かんたんガイド







子どもやペットが届くところに放置しないでください。

●電池の取扱いに注意する

● 電源コードは所定のものを使用する

本機に付属の電源コードは本機の専用品です。他の機器には使用できません。

〈お知らせ〉

● 梱包材は大切に保管してください。 修理や引越しなどの輸送には、お買い上げの際に使用されていた梱包材をご使用になり、正しく梱包してください。 特にレンズ周りの梱包にはご注意ください。

各部の名称

プロジェクター(本機)

- (1) スピーカー ここから音声が出ます。
 (2) フィルターカバー (□□1-40) 内側にエアーフィルターと吸気口があります。 物や手などでふさがないでください。
- (3) アジャスタ脚(□1-35)
 本機の傾きを調節します。前部左右に一本ずつ、計二本あります。
- (4) リモコン受光部(□1-29)リモコンからの信号を受け取ります。
- (5) レンズ
- (6) レンズカバー レンズを保護するため、本機の保管時または 移動時に取り付けます。
- (7) 吸気口(□1-40) 本機内に空気を取り込む入り口です。物や手などで ふさがないでください。
- (8) 操作パネル(□1-13) 本機を操作するためのボタンです。
- (9) フォーカスリング(□1-35)フォーカスを調節するためのリングです。
- (10) ズームリング(□1-35) ズームを調節するためのリングです。
- (11) AC (電源端子) (□1-25) 電源コードを接続します。
- (12) 排気口 本機内部の排熱口です。
- (13) 入出力端子(□□1-14) コンピュータやDVDプレーヤなどと接続します。
- (14) セキュリティ・バー (□1-27)
- (15) セキュリティ・スロット(□1-27) ケンジントンロックなどの盗難防止用ロックや、 盗難防止用ワイヤーを取り付けます。



(7)

(11)

<u>(12)</u>

(15)

<u>pe</u>.e.,







● レンズや通風孔に物を貼ったり、前に物を置かない レンズには、レンズカバー以外のものを取り付けないでください。

レンズや通風孔の周囲に物を置かないでください。

インジケータ、操作パネル

- (1) 点灯/消灯ボタン(□1-31, 32)
 点灯/消灯(スタンバイ)を切り替えます。
- (2) 入力切替ボタン(皿1-33) 映像信号を切り替えます。
- (3) MENU ボタン (□2-2)
 (カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶)
 メニュー画面を表示します。(メニューを操作します。)
- (4) ステータス 2 インジケータ (山4-37, 38)
- (5) 電源/ステータス1インジケータ(山4-37,38)



入出力端子

- LAN 端子 有線 LAN の接続端子です。
- (2) USB タイプ A 端子 USB ワイヤレスアダプターの接続端子です。
- (3) USB タイプ B 端子
- (4) HDMI 1 端子
- (5) HDMI 2 端子
 HDMI[®] 映像/音声信号の入力端子です。
- (6) 音声入力1端子
- (7) 音声入力 2 (L, R) 端子 音声信号の入力端子です。

- (8) 音声出力端子 音声信号の出力端子です。
- (9) コンピュータ入力 1 端子 コンピュータからの映像信号の入力端子です。
- (10) **コンピュータ入力 2/ モニタ出力**端子 映像信号の入出力端子です。
- (11) RS-232C 端子RS-232C 通信コマンドの送受信端子です。
- (12) ビデオ端子 DVD、Blu-Ray[™] プレーヤなどの映像機器からの 映像信号の入力端子です。



リモコン

(1) 入力切替 ボタン(□1-33) (2) **マイボタン 1** ボタン (2-25) (3) マイボタン 2 ボタン (Ш2-25) (4) **STANDBY / ON** ボタン (凹1-31, 32) (5) **アスペクト** ボタン (□1-34) (6) **PbyP** ボタン* (7) オート ボタン (□1-36) (8) フリーズ ボタン (□1-38) (9) 拡大 ON ボタン(□1-38) (10) フォーカス+ ボタン* (11) ズーム+ ボタン* (12) 音量+ ボタン(四1-33) (13) 拡大 OFF ボタン(□1-38) (14) フォーカスーボタン* (15) ズームー ボタン* (16) 音量 - ボタン(山1-33) (17) PAGE UP ボタン (□1-30) (18) 幾何学補正 ボタン(□1-36) (19) 映像 ボタン (20) 消音 ボタン(□1-33) (21) **PAGE DOWN** ボタン(皿1-30) (22) インタラクティブボタン* (23) **ネットワーク** ボタン (24) **ブランク** ボタン (□1-39) (25) ESC ボタン (山2-2) (26) メニュー ボタン (2-2) (27) ENTER ボタン (□2-2) (28) **OSD メッセージ** ボタン(Ш1-34) (29) リセット ボタン (□2-2) (30) ▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタン(□2-2) (31) 電池カバー(□1-28)





〈お知らせ〉

● "*"の付いたボタンは、使用できません。押すとメッセージ(□□4-36)が表示されます。



準備する

ご使用環境に合わせ、設置の方法と位置を決めてください。 本機とスクリーンの距離については各表をご参照ください。表の数値は フルスクリーンの場合の参考値です。

下図のように、本機はどの方向に向けても投写することができます。 天吊り(天井設置)などの固定設置や特殊な設置は、必ず事前に 販売店にご相談ください。



水平 360°

垂直 360°

傾斜 360°



本機は、風通しの良いところに、周辺の壁や物から離して設置してください。図を参照してください。設置位置、映像モード、標高、使用環境によって、画面の明るさが影響を受けることがあります。



設置する

本機とスクリーンの距離については下表をご参照ください。ご使用環境に合わせ、設置の方法と位置を決めてください。



MP-JU4001J (1920 x 1200)

	16:10 画面						16:9画面					
型			(a)	b	С	Ĥ	(\mathbf{v})	a		b	С
	(m)	(m)	最小 (m)	最大 (m)	(cm)	(cm)	(m)	(m)	最小 (m)	最大 (m)	(cm)	(cm)
30	0.6	0.4	0.8	1.3	35	5	0.7	0.4	0.8	1.3	34	3
40	0.9	0.5	1.1	1.8	47	7	0.9	0.5	1.1	1.8	45	4
50	1.1	0.7	1.4	2.2	59	9	1.1	0.6	1.4	2.3	57	6
60	1.3	0.8	1.6	2.7	70	10	1.3	0.7	1.7	2.8	68	7
70	1.5	0.9	1.9	3.1	82	12	1.5	0.9	2.0	3.2	79	8
80	1.7	1.1	2.2	3.6	94	14	1.8	1.0	2.3	3.7	91	9
90	1.9	1.2	2.5	4.1	105	16	2.0	1.1	2.6	4.2	102	10
100	2.2	1.3	2.8	4.5	117	17	2.2	1.2	2.9	4.6	114	11
120	2.6	1.6	3.3	5.4	141	21	2.7	1.5	3.4	5.6	136	13
150	3.2	2.0	4.2	6.8	176	26	3.3	1.9	4.3	7.0	170	17
200	4.3	2.7	5.6	9.1	234	35	4.4	2.5	5.8	9.3	227	22
250	5.4	3.4	7.0	11.4	293	44	5.5	3.1	7.2	11.7	284	28
300	6.5	4.0	8.4	13.7	352	52	6.6	3.7	8.7	14.0	341	33

			4:3	画面		
型	Ĥ	(\mathbf{v})	(7	a)	b	С
	(m)	(m)	最小 (m)	最大 (m)	(cm)	(cm)
30	0.6	0.5	0.9	1.5	40	6
40	0.8	0.6	1.2	2.0	53	8
50	1.0	0.8	1.5	2.5	66	10
60	1.2	0.9	1.9	3.0	80	12
70	1.4	1.1	2.2	3.6	93	14
80	1.6	1.2	2.5	4.1	106	16
90	1.8	1.4	2.8	4.6	119	18
100	2.0	1.5	3.1	5.1	133	20
120	2.4	1.8	3.8	6.2	159	24
150	3.0	2.3	4.8	7.7	199	30
200	4.1	3.0	6.4	10.3	265	40
250	5.1	3.8	8.0	12.9	332	49
300	6.1	4.6	9.6	15.5	398	59

数値には若干の誤差が生じる場合があります。

MP-JW4001J/MP-JW3501J (1280 x 800)

	16:10 画面							16:9画面				
型	Ĥ	(\mathbf{v})		a)	b	С	Ĥ	(\mathbf{v})		a)	b	C
	(m)	(m)	最小 (m)	最大 (m)	(cm)	(cm)	(m)	(m)	最小 (m)	最大 (m)	(cm)	(cm)
30	0.6	0.4	0.9	1.1	38	3	0.7	0.4	0.9	1.1	36	1
40	0.9	0.5	1.2	1.5	50	4	0.9	0.5	1.3	1.5	49	1
50	1.1	0.7	1.5	1.9	63	5	1.1	0.6	1.6	1.9	61	1
60	1.3	0.8	1.9	2.3	75	6	1.3	0.7	1.9	2.3	73	2
70	1.5	0.9	2.2	2.6	88	7	1.5	0.9	2.3	2.7	85	2
80	1.7	1.1	2.5	3.0	100	8	1.8	1.0	2.6	3.1	97	2
90	1.9	1.2	2.8	3.4	113	9	2.0	1.1	2.9	3.5	109	3
100	2.2	1.3	3.2	3.8	125	10	2.2	1.2	3.2	3.9	122	3
120	2.6	1.6	3.8	4.6	150	12	2.7	1.5	3.9	4.7	146	4
150	3.2	2.0	4.8	5.7	188	14	3.3	1.9	4.9	5.9	182	4
200	4.3	2.7	6.4	7.7	250	19	4.4	2.5	6.6	7.9	243	6
250	5.4	3.4	8.0	9.6	313	24	5.5	3.1	8.2	9.9	304	7
300	6.5	4.0	9.6	11.6	375	29	6.6	3.7	9.9	11.9	365	9

			4:3	画面		
型		(\mathbf{v})	(7	a)	b	С
	(m)	(m)	最小 (m)	最大 (m)	(cm)	(cm)
30	0.6	0.5	1.0	1.3	42	3
40	0.8	0.6	1.4	1.7	57	4
50	1.0	0.8	1.8	2.1	71	5
60	1.2	0.9	2.1	2.6	85	7
70	1.4	1.1	2.5	3.0	99	8
80	1.6	1.2	2.9	3.4	113	9
90	1.8	1.4	3.2	3.9	127	10
100	2.0	1.5	3.6	4.3	142	11
120	2.4	1.8	4.3	5.2	170	13
150	3.0	2.3	5.4	6.5	212	16
200	4.1	3.0	7.2	8.7	283	22
250	5.1	3.8	9.1	10.9	354	27
300	6.1	4.6	10.9	13.1	425	33

数値には若干の誤差が生じる場合があります。

	▲ 警 告
電源プラグを コンセント から抜け	● 異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く 電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。
	 ●不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない ▶天吊り(天井設置)などの固定設置や特殊な設置は、必ず事前に販売店にご相談ください。 ▶本機をキャスター付きスタンドに置く場合は、キャスターブレーキを使用してください。 ▶前面、背面を下にして置かないでください。落下または転倒した場合、けがや破損の原因となります。 ▶設置器具は、本書の指定品をご使用ください。
高温注意	● 高温に注意する ▶ 熱の伝わり易いものや燃え易いもの、熱に弱いものの上や近くで本機を使用しないでください。
	 油や薬剤などを使用する以下のような場所に置かない 調理台の近くなど、油煙のある場所 機械油、アロマオイルなどの油を使用する場所 スモーク、泡などを使用する場所 溶剤、薬品、洗剤が揮発、付着する場所 腐食性ガスが発生する場所 ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤などを使用しないでください。 油煙などにより油が付着し、故障、火災や感電の原因となります。 プラスチックの劣化により破損し、天井、壁や高所設置からの落下によるけが、火災、感電、故障などの原因となります。
水ぬれ禁止	● ぬらさない ▶水や雨のかかる場所に置いたりしないでください。
	⚠ 注意
\bigcirc	 ●高温になるところに置かない、通風孔をふさがない ▶本機は、風通しの良いところに、周辺の壁や物から離して設置してください。 ▶通風孔をふさいだり、近くに物を置いたりしないでください。 ▶カーペット、クッション、または寝具の上に置かないでください。
\bigcirc	 ●磁気を発生するものを近づけない ▶磁気シールドが施されていない磁気製品(磁気による盗難防止装置など)を本機に使用したり 近づけたりしないでください。
\bigcirc	 ■湿気、ほこりの多いところ、煙の当たるところ、塩害のおそれのあるところに置かない ▶内部にほこりなどがたまると、火災や感電の原因となったり、故障や映像不良の原因となることがあります。 湿気やほこりの多いところには置かないでください。 ▶超音波式加湿器などで、水道水に含まれる塩素やミネラル成分が霧化されて本機に付着すると、 故障や映像不良の原因となることがあります。 例:喫煙エリア、キッチン、ビーチ、加湿器の近く
\bigcirc	● エアーフィルターの清掃を行う ▶エアーフィルターを天井側に向けた状態でお使いの場合は、エアーフィルターが目詰まりする頻度が高く なります。定期的にエアーフィルターの清掃を行ってください。

お守りください

●光源や直射日光などの強い光を避けて設置してください

リモコン受光部に強い光が当たると、リモコンが正常に働かないことがあります。

● 電波を発生するものを避けてください

本機の近くで電波を発生する装置を使用すると、映像が乱れる原因となることがあります。 携帯電話やトランシーバなどは本機から離れてご使用ください。

●本機は周囲温度などの影響で、投写位置がずれたり、画面がゆがんだり、フォーカスが変動することがあります。本機が 点灯してから性能が安定するまでの約 30 分程度は、特に変化が生じ易くなりますので、必要に応じて確認と再調節を 行ってください。

●本機のプラスチック部分の柔軟性により、天井やその他の場所から吊り下げられている場合、設置後にスクリーンの位置が変わる場合があります。再調整が必要な場合は、販売店にご相談ください。

〈お知らせ〉

● 周囲温度が約35~40℃になると、光源の明るさは自動的に低下します。

他の機器と接続する

接続の前に、本機と接続してご使用になる機器の説明書をよくお読みください。信号によっては、特定のアダプターが必要な場合や、 本機では正しく表示できない場合があります。解像度などの仕様が本機に合うことを確認し、必要な信号ケーブルやアダプターを 準備してください。本機の端子形状は【技術情報編】「入出力信号端子」(四4-5~8)をご覧ください。

本機および接続する機器の電源が切れていることを確認し、以下に続くページをご参考に接続してください。







●コア付きのケーブルを使用する場合

ケーブルのコアを外さないでください。

コア付きのケーブルを使用する場合は、コアの付いている側のプラグを本機の接続端子に接続してください。

お守りください

- 接続している他の機器 (コンピュータやビデオプレーヤなど)のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合、本機の電源の操作は、 接続している他の機器の電源が切れている状態で行ってください。
- 接続はコネクタの形状や向きを確かめながら、正しく行ってください。正しく接続されていないと本機や接続される機器の故障 の原因となります。固定ネジがあるものはネジをきちんと締めて固定してください。
- 本機の各接続端子は凹んでいるため、ストレート型プラグのケーブルを使用してください。L型のケーブルは使用しないで ください。

〈お知らせ〉

- 一部の入力端子の機能は、使用方法に応じて選択できます。
- 本機をプラグ&プレイモニタ(VESA DDC 2B対応)として使用するには、コンピュータ入力1端子を、VESA DDC(Display Data Channel)対応のコンピュータに接続してください。 このとき、ディスプレイドライバは標準のものをご使用ください。コンピュータによってはプラグ&プレイが動作しない場合があります。



- 接続の前に、本機と接続してご使用になる機器の説明書をよくお読みいただき、信号レベルや同期方法、解像度の相互 性を確認してください。
- 信号によっては、特定のアダプターが必要な場合や、本機では正しく表示できない場合があります。
- 複数の表示モードを持つコンピュータでは、本機が対応していないモードを含む場合があります。あらかじめご確認ください。
- 本機は 1920 × 1200 解像度までの信号を入力できますが、実際にはパネル解像度のサイズに変更されて表示 されます。入力信号の解像度とパネル解像度が一致した状態が画質のパフォーマンスが最良の状態になります。
- ノートパソコンと接続する場合は、ノートパソコンの映像出力を、外部モニタのみに出力または内部画面と外部モニタへの同時出力の設定にして使用してください。
- 入力信号によっては、自動調整機能が正しく働かなかったり、映像を表示できなかったりすることがあります。
- コンピュータの表示モードや、信号の種類(信号方式、解像度、周波数など)によっては、映像を表示できないことがあります。
- コンピュータの画面上で解像度を切り替えるとき、通常より時間がかかったりすると、解像度切替えの画面表示が確認できず、 元の解像度に戻ってしまうことがあります。このような場合は、別の表示装置を使って解像度を切り替えてください。



● 挿入した USB メモリが大きくて LAN ケーブルが接続できない場合には、USB 延長ケーブルを使用して USB メモリを接続 してください。



- 本機の HDMI 端子は HDCP(High-bandwidth Digital Content protection)に対応しています。HDCP 対応 の DVD プレーヤなどのビデオ信号を表示することができます。
- 本機は、以下の HDMI[®] 信号に対応しています。 ビデオ信号:480i@60, 480p@60, 576i@50, 576p@50, 720p@50/60, 1080i@50/60, 1080p@50/60 オーディオ信号:リニア PCM フォーマット

サンプリング周波数 48kHz/44.1kHz/32kHz

- コンピュータ信号:【技術情報編】を参照してください。
- 本機を HDMI 端子のある周辺機器に接続できます。ただし、一部の機器では正しく動作しない場合があります。
- HDMI[®] ケーブルは HDMI[®] ロゴ付きのものをご使用ください。
- 本機に 1080p@50/60 の信号を入力するには、HDMI カテゴリー 2 のケーブルをご使用ください。
- 本機を DVI 出力機器に接続するには、DVI-HDMI® 変換ケーブルを使用して、HDMI® に接続してください。



電源に接続する

本機の AC (電源端子) と AC (交流) 100V の電源コンセントを、 付属の電源コードと必要に応じて電源アダプターで接続してください。

1. 電源コードのコネクタ側を本機の電源端子に接続してください。

■ 2 つ穴コンセントをご使用のとき

- 2-1. 電源アダプターのアース線をコンセントのアース端子に接続してください。
- 2-2. 電源アダプターをコンセントに接続してから、電源プラグを電源アダプターに 接続してください。

■ 3 つ穴コンセントをご使用のとき

- 2-1. 電源プラグをコンセントに接続してください。
- 3. 電源が接続されると、本機はスタンバイ状態となり、電源/ステータス1 インジケータが橙色に点灯します。 ダイレクトパワーオン機能が作動すると、電源の接続により本機の電源が入り ます。オートパワーオン機能が有効になっていて本機が入力信号を受信して いるときは、電源に接続することによって本機の電源が入ります。







セキュリティ・スロット/バーを使う

セキュリティ・バーを、転倒・落下防止用などの本機を支える 目的で使用する場合は、販売店にご相談ください。



セキュリティ・スロット







● 盗難防止用ワイヤーを排気口に近づけない

盗難防止用ワイヤーを排気口の前や近くに置くと、高温になり、触れるとやけどの原因になる 場合があります。

〈お知らせ〉

• 本機のセキュリティ・スロットおよびセキュリティ・バーは盗難を完全に防ぐものではありません。 盗難防止対策の 1 つとして ご使用ください。

リモコンを準備する

付属のリモコンは単3型乾電池2本を使用します。ご使用の前に電池をリモコンに入れてください。 リモコンの誤動作や正常に働かない等の問題がある場合は、電池の交換を試してください。 リモコンを長期間ご使用にならない場合は、電池を外した状態で保管してください。

電池は法令に沿って適正な非充電式のマンガンまたはアルカリの単3型乾電池を使用 してください。

- 1. 電池カバーを外してください。
- 2. リモコンの中に表示された極性表示(①、○)を確認し、電池の向きを合わせて 入れてください。
- 3. 電池カバーを元のように閉じてください。





1 - 28

リモコン信号について

付属のリモコンは、本機のリモコン受光部へ信号を送って機能します。リモコン信号は、受光部への入射角度上下左右に各 30°、 距離約 3 mの範囲で有効です。



〈お知らせ〉

- リモコン信号は、スクリーンなどに反射させて操作できる場合もあります。(反射面によっては反射できない場合もあります。) 信号をセンサーに直接送信することが難しい場合は、信号を反射させてみてください。
- リモコンは、赤外線(クラス1 LED)を使用し信号を本機に送っています。リモコン使用の際、壁や妨げとなるものが無い ようにご注意ください。
- 本機のリモコン受光部に直接強い光、またはインバーター蛍光からの至近距離の光を受けますと、リモコンでの操作が正しく 動作できない場合があります。その場合は、本機が影響を受けない位置に移動してください。

リモコン信号の周波数を切り替える

付属のリモコンは、2種類の信号周波数を切り替えてご使用になれます。リモコンが利きにくいときや正常に動作しないとき、 周波数を切り替えると改善される場合があります。

- 1. リモコンの周波数を変更するには、以下の2つのボタンを同時に 約3秒間押し続けてください。
 - モード1(標準):
 音量 ボタンとリセットボタン
 - (2) モード 2(高):拡大 OFF ボタンと ESC ボタン
- 本機の受光部を設定してください。
 「その他」メニューの「特別な設定」 「リモコン周波数」(□2-30)で、 リモコンの設定に合ったモードを有効にしてください。



簡易マウス/キーボードとして使う

本機の **USB タイプ B** 端子とコンピュータの USB(A) 端子を USB ケーブルで接続すると、本機のリモコンを簡易的なマウスやキーボード としてご使用になることができます。

下記のリモコンのボタンがマウスやキーボードとして機能します。

- (1) **PAGE UP** ボタン キーボードの PAGE UP キーとして機能します。
- (2) **PAGE DOWN** ボタン キーボードの PAGE DOWN キーとして機能します。
- (3) ENTER ボタン マウスの左ボタンとして機能します。
- (4) カーソルボタン(▲ / ▼ / ◀ / ▶) マウスポインタが移動します。
- (5) **ESC** ボタン キーボードの ESC キーとして機能します。
- (6) **リセット** ボタン マウスの右ボタンとして機能します。





お守りください

● 本機の USB タイプ B 端子は、コンピュータの USB(A) 端子以外には接続しないでください。 簡易マウス/キーボード機能の間違ったご使用は、接続機器の破損の原因となることがあります。本機と接続する前に、 ご使用になるコンピュータの説明書をよくお読みください。

〈お知らせ〉

- 本機の簡易マウス / キーボード機能が正しく働かない場合、以下を確認してください。
- ノートパソコンなどで、トラックボールのようなポインティングデバイスが内蔵されている場合、本機の簡易マウス/キーボード機能をご使用になるには、あらかじめコンピュータの BIOS メニューで内蔵のポインティングデバイスを無効、外部マウスを有効に設定してください。設定については、ご使用になるコンピュータの説明書に従ってください。
- 本機の簡易マウス/キーボード機能は、Windows[®] 7 以上の OS を搭載し、汎用 USB マウス/キーボードを使用できるコンピュータでご使用いただけます。ただしコンピュータの設定やマウスドライバによってはご使用になれない場合もあります。
- 本機の簡易マウス/キーボード機能では、2つ以上のボタンやスイッチの同時操作は無効です。
- 本機の簡易マウス/キーボード機能は、本機が正常動作しているときにのみ有効です。
- 本機の簡易マウス/キーボード機能は、以下の場合には無効です。
- 本機がウォームアップ中(電源 / ステータス 1 インジケータが緑色の点滅)(Ш4-37)。
- USB タイプ A 端子からの映像信号を選択している。
- ブランク画面またはマイイメージが表示されている。
- メニューやダイアログなどが表示されている。
- カーソルボタンで、音や画面の機能(音量、キーストン、画面位置、画面の拡大など)を操作している。

基本操作

電源を入れる

- 1. 電源コードが正しく接続されていることを確認してください。
- 2. 電源/ステータス1インジケータが橙色に点灯していることを 確認してください。
- リモコンの STANDBY/ON ボタン、または操作パネルの 点灯/消灯ボタンを押してください。
 電源/ステータス1インジケータが緑色に点滅し始め、
 光源は点灯動作(ウォームアップ)を開始します。
 光源が点灯すると、初期画面が表示されます。
 電源/ステータス1インジケータは点滅をやめ緑色に点灯します。

画像を表示させるには、【基本編】「入力信号を選ぶ」(□1-33) に従い、入力信号を選択してください。



	▲ 警告
	●レンズをのぞかない 本機の使用中は、レンズから強い光が出ます。視覚障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないで ください。
\bigcirc	● レンズを塞いだり手を近付けたりしない 本機の使用中は、レンズから強い光がでるため、高温となって、発煙、発火の原因となることがあります。
高温注意	● 高温に注意する やけどを防ぐため、使用中や使用後しばらくはレンズや通風孔に近づいたり触れたりしないでください。通風に 配慮してください。

〈お知らせ〉

- ●本機の電源は他の機器より先に入れてください。 接続している他の機器(コンピュータなど)のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合、本機の電源の操作は、他の機器の電源が切れている状態で行ってください。
- ●「その他」メニューの「ダイレクトパワーオン」または「オートパワーオン」を「有効」に設定している場合、電源を入れる 操作を行わなくても自動的に本機の電源が入ることがあります。(□□2-24)

電源を切る

- リモコンの STANDBY/ON ボタンまたは操作パネルの 点灯/消灯ボタンを押してください。
 「電源を切りますか?」のメッセージが、約5秒表示されます。
- メッセージが表示されている間に、もう一度 STANDBY/ON または点灯/消灯ボタンを押してください。
 光源が消灯し、本機は冷却動作を開始して電源/ステータス1 インジケータが橙色に点滅し始めます。
 冷却が終わると本機はスタンバイ状態となり、電源/ステータス1 インジケータは点滅をやめて橙色に点灯します。
- 3. 電源/ステータス1インジケータが橙色に点灯したら、レンズ保護の ためにレンズカバーを取り付けてください。







●高温に注意する

やけどを防ぐため、使用中や使用後しばらくはレンズや通風孔に近づいたり触れたりしないでください。 通風に配慮してください。



●使用しないときは電源プラグを抜く

本機の電源を完全に切るためには電源プラグをコンセントから抜いてください。

お守りください

● 電源を入れるときは他の機器より先に、切るときは他の機器より後に行ってください

接続している他の機器 (コンピュータやビデオプレーヤなど)のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合、本機の電源の操作は、 他の機器の電源が切れている状態で行ってください。

●電源は正しい手順で切ってください

正しい手順をふまずに電源プラグを抜いたりすると、冷却が正常に行われず、本機の寿命を縮めることがあります。非常時を 除き、電源は決められた手順(□□上記)で切ってください。

▶ 停電によって、正しい手順をふまずに電源を切った(切れた)場合は、電源プラグを抜き、放置して十分冷ましてください。

〈お知らせ〉

●「その他」メニューの「オートパワーオフ」(□2-24)を「有効」に設定していると、電源を切る操作を行わなくても自動的 に本機の電源が切れることがあります。

音量を調節する

音量を調節するには、**音量 + /** – ボタンを使います。 音量の調節中は画面上にダイアログが表示されます。何も操作が行われないと、 ダイアログが数秒後に自動的に消えます。

〈お知らせ〉

- ●「オーディオ」メニューの「音声入力設定」(□2-18)で「冰」が選択され ている端子からの入力信号を選択しているときには、音量は調節できません。
- また、「設置」メニューの「スタンバイ出力」の音声出力に「OFF」以外 が選択され、「設置」メニューの「スタンバイモード」(□2-15)が「通常」 または「高速起動」に設定されている場合は、スタンバイ時でも音量を 調節できます。
- ●「その他」-「特別な設定」-「オーディオ 音量ロック」が「オン」に設定 されている場合は、音量は調節できません。

音声出力を消す

消音ボタンを押すと、音声を消したことを示すダイアログが画面に表示されます。 音声を復帰させるためには、消音、音量+または音量-ボタンを押してください。 何も操作が行われないと、ダイアログが数秒後に自動的に消えます。

〈お知らせ〉

- 「オーディオ」メニューの「音声入力設定」(□2-18)で「承」が選択されている端子からの入力信号を選択しているときには、音声は常に消えています。
- 音声が消音になると、「スクリーン」メニューの「C.C.」ー「ディスプレイ」に「オート」 を選択している場合、C.C. を含む入力信号(ビデオ端子からの NTSC 信号 または、コンピュータ入力 1 またはコンピュータ入力 2 端子からの 480i@60 信号)を受信した時、自動的に C.C. 機能が有効と なります。

入力信号を選ぶ

本機の操作パネルまたはリモコンの入力切替ボタンを押します。 入力一覧メニューが表示されますので、目的の入力を選択してください。

●「その他」メニューの「オートサーチ」(□2-23)が「有効」に設定されて いる場合は、正常な入力信号を検出するまで、各端子を自動的に検索 します。

「オートサーチ」機能による検索では、端子を無視するように設定できます。







入力切替 ボタン

アスペクト(画面の縦横比)を選ぶ

リモコンのアスペクトボタンを押します。 ボタンを押すごとに、本機のアスペクト(画面の縦横比)が切り替わります。

■コンピュータ信号、HDMI[®]、ビデオ信号またはコンポーネント映像信号を 表示しているとき

ノーマル → 4:3 → 16:9 → 16:10 → 14:9 → ズーム → リアル ↑

■ LAN、USB タイプ A 端子からの信号を表示しているとき、または 信号の入力がないとき

フルスクリーン(固定)

〈お知らせ〉

- 正常な信号の入力がないときは、アスペクトボタンは動作しません。
- ●「ノーマル」を選択すると、受信中の映像信号そのままの縦横比で表示されます。
- アスペクト、キーストンまたはコーナーフィットの設定によっては、メニューが画面からはみ出る場合があります。 そのときは、各設定を変えて適正に表示されるようにしてください。

OSD の表示を制限する

以下の手順で本機能を切り替えます。

- 1. リモコンの OSD メッセージボタンを約3秒間押します。
- 2.「禁止」の OSD が表示されます。
 表示中にもう一回 OSD メッセージボタンを押します。
- 3. ダイアログが表示され、切り替わります。

詳細は、(2-17)をご参照ください。

	アスペクト ボタン	·


傾きを調節する

各アジャスタ脚の長さを調節して、本機の投写位置と投写角度を 調節してください。 ねじのように回すとそれぞれの長さを調節できます。







● 不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない アジャスタ脚は伸ばし過ぎると外れますので、22mm以上には伸ばさないでください。本機が落ちたり 倒れたりすると、けがや故障の原因となります。

ズーム(表示倍率)とフォーカス(焦点)を調節する

- 1. 投写画面を見ながら、ズームリングで画面サイズを調節してください。
- 2. 投写画面を見ながら、フォーカスリングで映像の焦点を合わせてください。



画面の自動調整機能を使う

リモコンのオートボタンを押すと、以下の自動調整が実行されます。

■コンピュータ信号を表示しているとき

画面の垂直位置、水平位置、クロック位相が自動的に調整されます。 コンピュータで、アプリケーションのウィンドウを最大化表示して 実行してください。また、暗い映像では正しく調整されない場合が ありますので、明るい映像を表示して実行してください。

■ビデオ信号を表示しているとき

入力信号に最も合うビデオフォーマットが自動的に選択されます。この機能は、 「入力」メニューの「ビデオフォーマット」(¹²2-10)が「オート」に設定され ているときのみ有効になります。画面の水平位置と垂直位置が自動的に初期 設定に戻ります。

■コンポーネントビデオ信号を表示しているとき

画面の垂直位置、水平位置が自動的に初期設定に戻ります。 クロック位相は自動的に設定されます。

〈お知らせ〉

- 自動調整には10秒程度の時間がかかることがあります。また、入力信号によっては正しく調整できないことがあります。
- ビデオ信号を表示しているときに画面の自動調整を実行すると、映像の外側に線などが表示される場合があります。
- コンピュータ信号を表示しているときに画面の自動調整を実行すると、コンピュータの機種によっては、画面の縁に黒い枠が 表示されることがあります。
- ●「その他」メニューの「特別な設定」 「オートアジャスト」(□2-29)で、「詳細」または「無効」が設定されていると、 自動調整される項目が変わります。

画面のひずみを補正する

「キーストン」または「コーナーフィット」のいずれかを選択して画面のひずみを 補正することができます。**幾何学補正**ボタンを押してください。幾何学補正メニュー が表示されますので、カーソルボタン▲ / ▼で選択してください。

- ■「キーストン」: 垂直、水平方向の調節ができます。
- ■「コーナーフィット」: 画面の四隅の位置、および四辺のたわみをそれぞれ独立 して調節することができます。

* 2 つのうち 1 つを選択すると、もう一方は使えません。

〈お知らせ〉

- 何も操作をしないと、数秒後にメニューもしくはダイアログが自動的に消えます。
 または、幾何学補正ボタンを再度押すか、「終了」にカーソルを合わせカーソルボタン ▶または ENTERボタンを押すと、同様にメニューもしくはダイアログが閉じます。
- 状態監視が有効の場合、この機能は使用できません。





★ オート ボタン	$\Big)$

■「キーストン」:

「キーストン」でカーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、 キーストンダイアログが表示されます。

- カーソルボタン▲ / ▼でマニュアルを選択し、 ▶または ENTER ボタンを 押してください。垂直もしくは水平キーストン (四 / 図) をカーソルボタン ▲ / ▼で選択します。 カーソルボタン◀ / ▶でキーストンのゆがみを調節します。
- 2. カーソルボタン▲ / ▼でオートを選択し、 ▶または ENTER を押してください。
- 2.1 カーソルボタン▲ / ▼で実行を選択し、▶を押して自動でキーストン調節を行ってください。 本機は、(前方 / 後方) セットアップ角度による垂直キーストーン歪みを自動的に修正します。 この機能は、メニューで選択されたときに一度だけ実行されます。 プロジェクターの傾きが変わったときには、この機能を再度実行してください。
- 2.2 カーソルボタン▲ / ▼でオン / オフを選択し、 ►または ENTER ボタンを押します。
 - オン:自動キーストン歪み補正が、プロジェクターの傾きを変更するたびに実行されます。
 - オフ:この機能は無効です。 自動キーストン調整は、自動(□□上記)を実行してください。

〈お知らせ〉

- この機能の調整可能な範囲は、入力によって異なります。入力によっては、この機能がうまく動作しない場合があります。
- 設定メニューの設置方法で背面投写 / 天吊りまたは前面投写 / 天吊りが選択されているときに、スクリーンが下向きまたは 斜めに傾いている場合、自動の垂直キーストン調整は正しく動作しないことがあります。
- ズーム調節が TELE(小さく表示)側に調節されていると、過補正となることがあります。できるだけズーム調節を WIDE (大きく表示) に調節してお使いください。
- プロジェクターを水平(約±4°)に置くと、自動キーストーン歪み補正が機能しない場合があります。
- この機能による調節範囲は、表示信号によって異なります。また、表示信号によっては正しく動作しないことがあります。
- 本機の傾きが約± 30°以上に設置されているとき、キーストンは正しく動作しません。
- キーストン切替時に一瞬画面が暗くなりますが故障ではありません。

■「コーナーフィット」:

「コーナーフィット」でカーソルボタントまたは ENTER ボタンを押すと、 コーナーフィットダイアログが表示されます。本機は、テストパターンを備えています。 カーソルボタン▲ / ▼でパターンを選択し、カーソルボタン◀ / トで調節します。

- 1. カーソルボタン▲ / ▼で「設定」を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押します。
- 2. カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、調節する隅または辺を選択し、 ENTER ボタンまたは - ズタンを押してください。
- 3. 以下の選択箇所を調節します。
 - 隅はカーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で位置が移動します。
 - •上下辺はカーソルボタン▲ / ▼でひずみを調節します。
 - 左右辺はカーソルボタン◀ / ▶でひずみを調節します。
- 4. 本機は、コーナーフィットの調節設定を3つまでメモリに保存することができます。

■ □-ド-1~3:

メモリに保存されている調節設定を読み出すには、カーソルボタン▲ / ▼で、ロード -1 ~ 3 のどれかにカーソルを移動し、 カーソルボタン▶、ENTER ボタンまたは ④ ボタンを押してください。設定を読み出すと、「現在の設定」は読み出された設定に 上書きされます。現在の設定を残したい場合は、保存をしてから他の設定を読み出してください。

■ セーブ - 1~3:

コーナーフィットの調節設定を保存するには、カーソルボタン▲ / ▼でセーブ -1 ~ 3 のなかから 1 つ選択し、カーソルボタン ▶、 ENTER ボタンまたは - ズタンを押します。保存先に設定が保存されている場合は、上書きされます。

〈お知らせ〉

- 設定を保存していないメモリのロード番号は、選択できません。
- 設定をメモリから読み出す時に画面が乱れる場合がありますが、故障ではありません。



	ⓒ: 選択
∢ 戻る	
パターン	オフ
設定	0 (+0) 0
□	
ロード-2 ロード-3	(+0) (*) (*) (*) (*)
セーブ-1	
セーブ-2 セーブ-3	0 [+0] 0
終了	(ENTER), Đ

画面を拡大する

▲__

A

- 1. リモコンの**拡大 ON** ボタンを押すと、画面が拡大表示され、「拡大」ダイアログが 表示されます。電源を入れて初めて**拡大 ON** ボタンを押した場合、画面は 1.5 倍に 拡大表示されます。ダイアログには各方向を示す三角マークが表示されます。
- 2. ダイアログが表示されている間、**拡大 ON**ボタンを押すたびに、以下の順序で 表示画面の倍率が切り替わります。 MP-JU4001J
 - 1.5 倍 → 2 倍 → 3 倍 → 4 倍 → 等倍

MP-JW4001J/MP-JW3501J

● コンピュータ信号、HDMI[®] (RGB) 信号、および LAN または USB タイプ A 端子からの映像信号を表示しているとき 1.5 倍 → 2 倍 → 3 倍 → 4 倍 → 等倍

● ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号、および HDMI[®] (コンポーネント) 信号を表示しているとき 1.5 倍 → 2 倍 → 等倍

- 1

- 3. カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で拡大位置を移動することができます。 ダイアログ内に表示される三角マークの方向に、拡大画面を移動することができます。
- 4. 画面の拡大を終了するには、リモコンの拡大 OFF ボタンを押してください。
 - ●「拡大」ダイアログは、数秒間何も操作をしないと消えます。拡大画面を操作するには、 もう一度**拡大 ON** ボタンを押してください。
 - 入力信号が変化したときや表示状態を変更する操作(画面の自動調整やアスペクトの 切替えなど)を実行したときには、画面の拡大は終了します。
 - 画面を拡大すると、画面のひずみ補正の状態が正しく表示されないことがありますが、 拡大を解除すると、元の状態に戻ります。
 - 画面を拡大すると、水平の縞模様が現れることがあります。
 - 対応していない信号が入力されている、または信号の入力が無いときには、この機能で 画面を拡大することはできません。

映像を静止させる

リモコンのフリーズボタンを押すと「静止」ダイアログが表示され、映像が静止します。

「設置」メニューの「OSD メッセージ」(2-17)を「限定」または「禁止」に 設定していると、「静止」ダイアログは表示されません。映像の静止を解除するには、 もう一度**フリーズ**ボタンを押してください。

〈お知らせ〉

- 操作パネルのボタンを押したときにも、映像の静止を終了します。
- ●本機は同じ映像を長時間表示し続けると、液晶パネルが焼きついて、その映像が残像として残ることがあります。 映像を静止させたまま放置したり、終了するのを忘れたりしないようご注意ください。
- 静止している映像が劣化して見えることがありますが、故障ではありません。





映像を一時的に消す

リモコンの**ブランク**ボタンを押すと、映像が消えてブランク画面が表示されます。 ブランク画面は「スクリーン」メニュー(22-19)の「ブランク」で設定できます。 もう一度**ブランク**ボタンを押すと元の映像表示に戻ります。

● その他のボタンを押したときに、自動的にブランク画面の表示を終了します。





〈お知らせ〉

● ブランク画面を表示しても音声は消えません。あらかじめ音量を調節するか、音声を消してからブランク画面の表示を実行 してください。

点検とお手入れ

エアーフィルターを掃除/交換する

本機内部の換気と正常な動作を維持するため、定期的な確認とお手入れをお勧めします。

エアーフィルターの掃除や吸気口のチェックをお願いするメッセージが表示された場合や、インジケータが点灯した場合は、すぐに エアーフィルターの掃除、または交換を行ってください。

フィルターはフィルターカバーの内側に取り付けられています。フィルターが傷んでいたり、ひどく汚れている場合は、フィルター全体を新 しいものと交換してください。新しいフィルターを購入するには、下記の型名を販売店に指定してください。

型名:**UX44211**

お手入れ手順

- 1. 本機の電源を切って電源プラグを抜き、放置して十分冷ましてください。
- 2. フィルターカバーとその周辺を、掃除機で掃除してください。
- 3. フィルターカバーつまみを引き上げ、フィルターカバーをプロジェクター本体から 外してください。
- 4. フィルターを掃除機で掃除して、本体から外してください。
- 5. 本機のフィルター吸気口を、掃除機で掃除してください。
- 6. フィルターを掃除機で掃除してください。フィルターが傷んでいたり、汚れがひ どい場合は、フィルター全体を新しいものと交換してください。
- 7. フィルターを元のようにプロジェクター本体に取り付けてください。
- 8. フィルターカバーを元のようにプロジェクター本体に取り付けてください。
- 9. 本機の電源を入れ、「簡単メニュー」の「フィルター時間」(□□2-4)を 使って、フィルター時間を初期化してください。
 - 1) メニューボタンを押します。
 - 2) カーソルボタン▲ / ▼で「フィルター時間」を選択し、 カーソルボタン▶を押します。
 - 3)カーソルボタン ▶で「OK」を選択し、フィルター時間の リセットを実行します。







● フィルターを交換する前に、電源プラグを抜き、十分冷ます

フィルターを交換する前に、必ず電源を切って電源プラグを抜き、本機内部を十分に冷ましてください。電源 プラグを接続したままでお手入れすると、火災や感電の原因になります。また、高温状態での取扱いはやけど の原因となります。



● フィルターは正しく使用し、定期的に交換する

- ▶フィルターは必ず指定のフィルターを正しくご使用ください。
- ▶フィルターがほこりや汚れで詰まったり、正しく取り付けられていなかったりすると、内部温度が上がり過ぎて 本機の電源が自動的に切れたり、火災、故障の原因となることがあります。

お守りください

● フィルター時間の初期化は正しく行ってください

フィルターを交換または掃除したら必ずフィルター時間を初期化してください。フィルター時間は、初期または前回フィルター時間を初期化した時から現在までの本機の稼働時間を1時間単位で表示します。フィルター時間の初期化を正しく行わないと 実際のフィルターの稼働時間とフィルター時間の値が一致しません。

〈お知らせ〉

- 本機の「その他」メニューの「フィルター掃除通知」機能をご使用になると、交換または掃除時期をお知らせするメッセージ を表示することもできます。(□2-14)
- ●「吸気口をチェックしてください」メッセージが表示されたときは、いったん本機の電源を切って、内部の温度を冷ましてください。

その他のお手入れ

内部の点検とお手入れ

内部にほこりがたまった状態で本機を使用し続けると、火災や感電、故障や映像不良の原因となることがあります。安全なご使用のため、1年に1度を目安に、販売店に内部の清掃・点検をご依頼ください。

内部のお手入れは湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。お手入れの費用などについては販売店にご相談ください。

レンズのお手入れ

レンズが傷ついていたり、くもったり、汚れたりすると、映像不良の原因となります。

- 1. 本機の電源を切って電源プラグを抜き、しばらく待って冷ましてください。
- 2. 本機が十分に冷えていることを確認し、市販のレンズクリーニングペーパー(カメラやメガネの清掃用)でレンズを軽く拭いてください。 レンズを傷つけないように、また、素手で触らないようにご注意ください。

本体とリモコンのお手入れ

- 1. 本機の電源を切って電源プラグを抜き、しばらく待って冷ましてください。
- 2. 本機が十分に冷えていることを確認し、ガーゼなどのやわらかい布で軽く拭いてください。 汚れがひどい場合は、水または水で薄めた中性洗剤に浸してよく絞ったやわらかい布で軽く拭いた後、別の乾いたやわらかい 布で軽く拭いて仕上げてください。



仕様

一般仕様

項目	仕様
投写方式	透過型液晶パネル3板式
表示素子 (液晶パネル)	MP-JU4001J : 2,304,000 画素(1920 × 1200) MP-JW4001J/MP-JW3501J : 1,024,000 画素(1280 × 800)
光源	レーザーダイオード
スピーカー	16W モノラル
電源/消費電力	MP-JU4001J : AC100V、50/60Hz、2.9A/280W MP-JW4001J : AC100V、50/60Hz、2.8A/270W MP-JW3501J : AC100V、50/60Hz、2.5A/240W
使用温度範囲	0 ~ 40 ℃ (動作時) 35 ~ 40 ℃ (光源の明るさは自動的に低下します。)
標準外形寸法	330 (W) x 69 (H) x 271 (D) mm(突起部含まず) * 次ページをご参照ください。
質量	MP-JU4001J : 約 3.6kg MP-JW4001J/MP-JW3501J : 約 3.5kg
端子	コンピュータ入力 1
別売品	 ・交換用エアーフィルター: UX44211 ・天井用取付け金具: HAS-E100 (天吊り用ブラケット) HAS-104S (低天井用薄型金具) HAS-204L (低天井用金具) HAS-304H (高天井用パイプ金具) ・USB ワイヤレスアダプター: USB-WL-5G ※その他については販売店にご相談ください。

 \square

外形寸法

MP-JU4001J/MP-JW4001J/MP-JW3501J





[mm]

取扱説明書

プロジェクター

MP-JU4001J/MP-JW4001J/MP-JW3501J

(形名:MP-JU4001/MP-JW4001/MP-JW3501)

【応用編】

メニュー機能を使用する詳細な設定や調節などについて説明します。



ご使用の前に、必ず本書を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

もくじ

設定・調節	2 -	- 2
	<u>ר</u>	2
	Ζ	- 2
簡単メニュー	2	- 4
映像メニュー	2	- 5
表示メニュー	2	- 8
入力メニュー	2 -	10
設置メニュー	2 -	13
オーディオメニュー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2 -	18
スクリーンメニュー	2 -	19
その他メニュー	2 -	23
ネットワークメニュー・・・・・・・・・・・・・・・	2 -	35
セキュリティメニュー	2 -	36
プレゼンテーションツール	2 -	42
仕様	2 -	48

設定・調節

メニュー機能の使いかた

本機には、「映像」「表示」「入力」「設置」「オーディオ」「スクリーン」「その他」「ネットワーク」「セキュリティ」「簡単メニュー」のメニュー があります。

本機には、よく使われる機能をまとめた「簡単メニュー」と、その他のメニューに関しては「詳細メニュー」があります。どのメニューも 基本操作は同様です。メニュー表示中に操作パネルの **MENU** ボタン (カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶)は、カーソルボタンとして ご使用いただけます。下記をご参考に操作してください。





- 1. はじめに、操作パネルの MENU ボタンまたはリモコンのメニューボタンを押してください。「簡単メニュー」または「詳細メニュー」 のどちらか、前回ご使用になっていた方のメニューが表示されます。電源を入れた後は必ず「簡単メニュー」が表示されます。
- 2. 簡単メニューの操作
 - (1) カーソルボタン▲ / ▼で操作したい項目を選んでください。「詳細メニュー」に切り替えたいときは、「詳細メニュー」を選びます。
 - (2) カーソルボタン◀ / ▶で選択した項目を設定、調節および実行することができます。

詳細メニューの操作

- (1) カーソルボタン▲ / ▼で操作したい項目を選んでください。「簡単メニュー」に切り替えたいときは、「簡単メニュー」を選びます。
- (2) カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、選択カーソルが右側に移ります。操作したい項目をカーソルボタン▲ / ▼ で選択してください。カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、選択した項目を実行、もしくは操作するためのダイ アログやサブメニューが表示されます。
- (3) 画面表示に従って操作してください。
- 3. メニュー操作を終了するには、もう一度リモコンのメニューボタンを押すか、「終了」を選んでカーソルボタン◀または ENTER ボタンを押します。また、何も操作しない状態が約 30 秒間続くと、自動的に終了します。

〈お知らせ〉

- 受信信号によっては、実行できない機能があります。
- 操作中の項目を元に戻したいときには、**リセット**ボタンを押してください。ただし、いくつかの項目(「表示言語」、「音量」など) はリセットできません。
- 詳細メニューを操作中に前の表示に戻りたいときには、カーソルボタン◀または ESC ボタンを押してください。

メニューやダイアログなどのオンスクリーン表示の単語について

♥ 明るさ ▼+0 終了	② フィルター時間 ○ ○ か期化 Oh ○ 小切期化しない ○K ○ ③ ひはい
表示	動作
終了	メニュー操作を終了します。メニューボタンを押すことと同じになります。
戻る	前のメニューに戻ります。
初期化しない/いいえ	現在の操作をキャンセルして、前のメニューに戻ります。
OK / はい	用意された機能を実行するか、次のメニューに移行します。

メニュー項目

メニューに含まれる項目は以下です。

設定項目	項目
簡単メニュー	アスペクト、キーストン、コーナーフィット、映像モード、光出力、設置方法、初期化、フィルター時間、 表示言語、詳細メニュー、終了
映像メニュー	明るさ、コントラスト、色の濃さ、色あい、画質、ピクチャークオリティ、ダイナミック ブラック、マイメモリー
表示メニュー	アスペクト、オーバースキャン、垂直位置、水平位置、クロック位相、水平サイズ、 オートアジャスト実行
入力メニュー	プログレッシブ、ビデオ NR、色空間、ビデオフォーマット、デジタルレンジ、コンピュータ入力、フレームロック、 解像度
設置メニュー	画像表示位置、幾何学補正、光源&フィルター、設置方法、スタンバイモード、OSD メッセージ、 スタンバイ出力、USB スタンバイ給電
オーディオ メニュー	音量、スピーカー、音声入力設定
スクリーン メニュー	表示言語、メニュー位置、ブランク、オートブランク、初期画面、マイスクリーン、マイスクリーンロック、 入力チャンネル名、テンプレート、タイマー、C.C.
その他 メニュー	サーチスキップ、オートサーチ、ダイレクトパワーオン、オートパワーオン、オートパワーオフ、マイボタン、 スケジュール、特別な設定
ネットワーク メニュー	ネットワークインフォメーション、無線ネットワーク、ネットワーク設定、マイ イメージ、外部機器接続、 その他操作
セキュリティ メニュー	セキュリティパスワード変更、マイスクリーンパスワード、暗証コードロック、状態監視、マイテキストパスワード、 マイテキスト表示、マイテキスト入力、クローニングロック(MP-JU4001J 除く)

簡単メニュー

簡単メニューでは、下表の項目を操作することができます。 カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、下表およびメニュー表示に 従って操作してください。

1 簡単メニュー	④: 選択
回 アスペクト	▲ノーマル ▶
🗥 キーストン	
🌄 コーナーフィット	オフ
遼 映像モード	
🐥 光出力	標準モード
ᅠ❷ 設置方法	
ぬ期化	実行する
🕙 フィルター時間	0h
● 表示言語 (Language)	日本語
■ 詳細メニュー	
▶ 終了	
# 1234567890ABCDEF	1920 × 1200 @60Hz

設定項目	操作内容
アスペクト	カーソルボタン◀ / ▶で、アスペクト(画面の縦横比)を選択できます。
(画面の縦横比)	詳細は、「表示」メニューの「アスペクト」(□□2-8)をご参照ください。
キーストン	カーソルボタン▶を押すと、キーストンゆがみを調節するためのダイアログが表示されます。
コーナーフィット	カーソルボタン▶を押すと、それぞれの隅と辺の画像の形状を調節するためのダイアログを表示します。詳細は、 「画面のひずみを補正する」の「コーナーフィット」(□□1-37)をご参照ください。
映像モード	 カーソルボタン◀ / ▶で、映像モードを選択できます。 映像モードは、ガンマモード、色温度モードの組み合わせです。映像に合わせてお選びください。 ユーザー -1、-2、-3の詳細は、「ピクチャー クオリティ」(□2-6)をご参照ください。 映像モードを選択した瞬間に、ノイズが発生することがありますが故障ではありません。 「DICOM SIM.」は、本機における、DICOM[®] (Digital Imaging and Communication in Medicine) 近似表示モードです。このモードは DICOM 規格での規定に近似して表示します。本機 は医療用機器ではなく、また、DICOM 規格に準拠しておりませんので、実際の診断などの医療行為にはご利用いただけません。
光出力	カーソルボタン▶を押すと、光出力のダイアログが表示されます。 詳細は、「設置」メニューの「光源 & フィルター」-「光出力」(□□2-14)をご参照ください。 ● 周囲温度が 35 ~ 40℃付近になると、光源の明るさは自動的に低下します。 ● 投写方向によっては、光源の明るさが低下することがあります。
設置方法	カーソルボタン▶を押すと、「設置方法」のダイアログが表示されます。 詳細は、「設置」メニューの「設置方法」(□□2-15)をご参照ください。
初期化	「簡単メニュー」の設定を一括して初期化できます。 カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、確認のダイアログが表示されます。 初期化しない ⇔ OK 初期化を実行するときは、カーソルボタン▶を押して「OK」を選択してください。 ●「フィルター時間」と「表示言語」は初期化されません。
フィルター時間	メニューに表示されている数字は、エアーフィルターの使用時間です。 カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、フィルター時間初期化確認のダイアログが表示されます。 フィルター時間の初期化については、「設置」メニューの「光源 & フィルター」の「フィルター時間」(□□2-14) をご参照ください。
表示言語	カーソルボタン◀ / ▶で、メニューなどのオンスクリーン表示の表示言語を選択できます。 詳細は、「スクリーン」 メニューの「表示言語」(□□2-19)をご参照ください。
詳細メニュー	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、「簡単メニュー」を「詳細メニュー」(「映像」、「表示」、「入 カ」、「設置」、「オーディオ」、「スクリーン」、「その他」、「ネットワーク」、「セキュリティ」メニュー)に切り 替えられます。
終了	カーソルボタン◀または ENTER ボタンを押すと、操作を終了し、メニューを閉じます。

映像メニュー

「映像」メニューでは、表示中の映像設定について下表の項目を操作することができます。 カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、 操作を開始または実行できます。 下表およびメニュー表示に従って操作してください。

■ <u>詳細メニュー</u>		(): 選択
two weights two weights		+0 +0 +13 -3 4
 スクソーン 金 その他 品 ネットワーク ♥ セキュリティ 目 簡単メニュー 図 終了 	 ▲ ヒクチャー クオリティ 鄭 ダイナミック ブラック ◆ マイメモリー 	
	 コンピュータ入力1	1920 × 1200 @60Hz

設定項目	操作内容
明るさ	カーソルボタン◀ / ▶で、映像の明るさを調節できます。
	暗< ⇔ 明る<
コントラスト	カーソルボタン◀ / ▶で、コントラストを調節できます。
	弱く ⇔ 強く
色の濃さ	カーソルボタン◀ / ▶で、色の濃さを調節できます。
	淡< ⇔ 濃<
色あい	カーソルボタン◀ / ▶で、色あいを調節できます。
	赤っぽく ⇔ 緑っぽく
画質	カーソルボタン◀ / ▶で、画質を調節できます。
	やわらかく ⇔ くっきり
	● 調節した瞬間にノイズが発生したり、画面が一瞬消えたりすることがありますが、故障ではありません。

設定項目	操作内容
	本項目を選択しますと、「ピクチャー クオリティ」のメニューが表示されます。 カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、操作を開始また は実行できます。
	 映像モード ユーザー -1、-2、-3 を選択後、以下の機能調節が可能です。 ガンマ、色温度
	 ガンマ ユーザー -1/-2/-3 が選択されていることで調節可能です。 カーソルボタン▲ / ▼でガンマモードを切り替えます。 カスタムモード ("カスタム" のつくモード)を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、 調節メニューが表示されます。この機能を使うと、特定の階調の明るさを変更できます。 カーソルボタン◀ / ▶で調節したい項目を選択し、カーソルボタン▲ / ▼でレベルを調節してください。 調節した瞬間に ノイズが発生することがありますが故障ではありません。
ピクチャー クオリティ	 ● 副組内のため相助にクインバッルエク あとこがありますが はん年 ではありまこん。 色温度 ユーザー -1/-2/-3 が選択されていることで調節可能です。 カーソルボタン▲ / ▼で色温度モードを切り替えます。 カスタムモード ("カスタム"のつく各モード)を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、選択したモードのオフセットとゲインを調節するメニューが表示されます。 この調節機能を使うと、オフセット調節は、テストパターンの全階調の色温度を変更できます。またゲイン調節は、主にテストパターンの明るい階調の色温度を変更できます。 カーソルボタン◀ / ▶で各色のオフセットまたはゲインを選び、カーソルボタン▲ / ▼でレベルを調節してください。 ● 調節した瞬間にノイズが発生することがありますが故障ではありません。
	ACCENTUALIZER (MP-JU4001Jのみ) 読みやすさを向上させるための機能です。 カーソルボタン◀ / ▶で調節します。 弱く ⇔ 強く ● 調節した瞬間にノイズが発生することがありますが故障ではありません。
	ロレベ (MP-J040013000) 明るい部屋でよりはっきりとした映像にするための機能です。 カーソルボタン◀ / ▶で調節します。

設定項目	操作内容
ダ ダイナミック ブラック ア	ジイナミックブラック機能の有効 / 無効を設定できます。 しカ画像のコントラストを自動的に調整するように設定します。 暗いビデオ信号が入力されると、画像のコ ・トラストを自動的に調整します。 マナログ信号にノイズが含まれていると、正しく機能しない場合があります。
マイメモリー マイメモリー ・ 「 で を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	 k機は1から4の番号のついた4つのメモリを備えており、「映像」メニューの設定を最大4組まで記憶保ますることができます。 ローソルボタン▲/▼で項目を選択し、カーソルボタン▶またはENTERボタンを押すと、選択した項目の機能を実行します。 ヨード操作: ロード・1」、「ロード・2」、「ロード・3」、「ロード・4」を実行すると、対応する番号のメモリからデータで呼び出し、そのデータに応じて映像を自動調整します。 対応する番号のメモリに設定データが記憶されていない場合は選択できません。 ロード操作を行うと、メモリに記憶されている設定が現在の設定に上書きされますので、ご注意ください。現在の設定を保存したいのであれば、ロード操作を行う前にセーブ操作を行ってください。 ロード操作を行った瞬間にノイズが発生したり、画面が一瞬消えたりすることがありますが故障ではありません。 マイボタン(1/2)を押してロード操作を行うこともできます。詳細は「その他」メニューの「マイボタン」(ロ2-25)をご覧ください。 オニューの全設定データを記憶します。 既にデータが記憶されているメモリにセーブ操作を行うと、メモリにデータが上書きされますのでご注意くださ

表示メニュー

「表示」メニューでは、表示画面に関する下表の項目を操作することができます。 カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、 操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。

■ 詳細メニュー		(): 選択
使 映像	 アスペクト オーバースキャン 垂直位置 水平位置 クロック位相 水平サイズ オートアジャスト実行 	ノーマル 5 39 535 0 2592
品 ネットリーク ■ セキュリティ 目 簡単メニュー 図 終了	コンピュータ入力1	1920 × 1200 @60Hz

設定項目	操作内容
	カーソルボタン▲ / ▼で、アスペクト(画面の縦横比)を選択できます。
アスペクト (画面の	 ■ コンピュータ信号、HDMI[®] 信号、ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号を表示しているとき ノーマル ⇔ 4:3 ⇔ 16:9
が此作用よしり	■ LAN、USB タイプ A 端子からの信号を表示しているとき、または信号の入力がないとき フルスクリーン(固定)
	●「ノーマル」は入力信号そのままの縦横比です。
	カーソルボタン◀ / ▶で、オーバースキャン(表示率)を調節できます。
オーバースキャン	小さく(画像は大きくなります) ⇔ 大きく(画像は小さくなります)
	● コンピュータ入力、USB タイプ A または LAN 端子からのコンピュータ信号を受信しているときは調節 できません。
	カーソルボタン◀ / ▶で、画面の位置を上下に調節できます。
	下へ ⇔ 上へ
垂直位置	● 位置を動かし過ぎると、画像のふちにノイズが現れることがあります。このような場合には、 リセット ボタン を押して初期設定に戻してください。
	 ● ビデオ信号を受信しているときの調節範囲は、「オーバースキャン」(□ 上記)の設定に依存します。「オーバースキャン」が10に設定されている場合は、調節できません。
	● LAN 端子、USB タイプ A 端子、HDMI 1 端子、HDMI 2 端子からの映像信号を受信している ときは調節できません。
	カーソルボタン◀ / ▶で、画面の位置を左右に調節できます。
	右へ ⇔ 左へ
水平位置	● 位置を動かし過ぎると画面のふちにノイズが現れることがあります。このような場合には、 リセット ボタンを 押して初期設定に戻してください。
	 ● ビデオ信号を受信しているときの調節範囲は、「オーバースキャン」(□□上記)の設定に依存します。「オーバースキャン」が10に設定されている場合は、調節できません。
	● LAN 端子、USB タイプ A 端子、HDMI 1 端子、HDMI 2 端子からの映像信号を受信している ときは調節できません。
クロック位相	カーソルボタン◀ / ▶で、クロック位相を調節し、画面のちらつきを低減できます。
	$ 右 \land \Leftrightarrow $
	● コンピュータ信号、コンポーネントビデオ信号を受信しているときのみ調節が可能です。 LAN 端子、USB タイプ A 端子、HDMI 1 端子、HDMI 2 端子からの映像信号を受信している ときは調節できません。

設定項目	操作内容
	カーソルボタン◀ / ▶で、画面の横幅を調節できます。
水平サイズ	小さく ⇔ 大きく コンピュータ信号を受信しているときのみ調節が可能です。LAN 端子、USB タイプ A 端子、HDMI 1 端子、HDMI 2 端子からの映像信号を受信しているときは調節できません。 大きくし過ぎたり小さくし過ぎたりすると、映像が正しく表示されない場合があります。このような場合には、リセットボタンを押して初期設定に戻してください。 調節時に映像が劣化してみえる場合がありますが、故障ではありません。
	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、画面の自動調整を実行できます。
オート	 ■コンピュータ信号を受信している場合 「垂直位置」(□2-8)、「水平位置」(□2-8)、「クロック位相」(□2-8)が自動的に調整されます。コンピュータで、アプリケーションのウィンドウを最大化表示して実行してください。また、暗い映像では正しく調整されない場合がありますので、明るい映像を表示して実行してください。 ■ビデオ信号を受信している場合 「入力」メニューの「ビデオフォーマット」(□2-10)が「オート」に設定されていると、受信している信号に最適な信号方式が自動的に選択されます。 「垂直位置」「水平位置」が自動的に初期設定に戻ります。
アジャスト 実行	 コンポーネントビデオ信号を受信している場合 「垂直位置」「水平位置」が自動的に初期設定に戻ります。 クロック位相は自動的に調整されます。 自動調整には 10 秒程度の時間がかかることがあります。また、入力信号によっては正しく調整できないことがあります。 ビデオ信号を受信している時に画面の自動調整を実行すると、画面の端に線などが映る場合があります。 コンピュータ信号を受信している時に画面の自動調整を実行すると、コンピュータのモデルによっては画面の線に黒いフレームが映る場合があります。 「その他」メニューの「特別な設定」-「オートアジャスト」(ロ2-29)で、「詳細」または「無効」が設定されていると、自動調整される項目が変わります。

入力メニュー

「入力」メニューでは、入力信号に関する下表の項目を操作することができます。 カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、 操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。

プログレッシブ	
 ● こうかい ● こうかい ● ごうかいレンジ ■ コンピュータ入力 ● フレームロック ■ 解像度 	
	 ■ テンタルレンジ ■ コンピュータ入力 ● フレームロック ■ 解像度

設定項目	操作内容
プログレッシブ	 カーソルボタン▲ / ▼で、プログレッシブモードを選択できます。 TV ⇔ フィルム ⇔ オフ 企 この機能は、ビデオ信号と480i@60、576i@50、1080i@50/60を受信している場合に動作します。 「TV」、「フィルム」を選択すると、より鮮明な映像になります。「フィルム」は2-3 プルダウン変換システムに適応しますが、物体がすばやく移動するシーンで線がギザギザになるなど、表示に不具合が出ることがあります。このような場合には「オフ」を選択してください。
ビデオ NR	 カーソルボタン▲ / ▼で、映像ノイズの低減レベルを選択できます。 強 ⇔ 中 ⇔ 弱 ¹() この機能は、ビデオ信号と 480i@60、576i@50、1080i@50/60 を受信している場合に動作します。
色空間	 カーソルボタン▲ / ▼で、色空間モードを選択できます。 オート ⇔ RGB ⇔ SMPTE240 ⇔ REC709 ⇔ REC601
ビデオ フォーマット	ビデオ端子から受信する映像信号のビデオフォーマット (信号方式)を設定できます。 カーソルボタン / トで、選択した端子から受信する映像信号 のビデオフォーマットを選択してください。 オート ⇔ NTSC ⇔ PAL ⇔ SECAM ⇔ NTSC 4.43 ⇔ M-PAL ⇔ N-PAL (1) ① ① ① ① カーソルボタン ● ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

設定項目	操作内容	
	HDMI 1とHDMI 2端子からのデジタル入力映像信号のレンジを選択できます。	
	(1) カーソルボタン▲ / ▼で、端子を選択します。 ◎ テシタルンシシ	
	(2) カーソルボタン◀ / ▶で、選択した端子から受信 する映像信号のデジタル信号モードを選択します。	
	オート ⇔ ノーマル ⇔ 拡張 ⁽)	
デジタル レンジ	オート : 自動的に最適なモードに合わせます。	
	ノーマル: DVD 信号に適したモード(16-235)に合わせます。	
	加坂: コンピュータ信号に適したモード(0-255)に合わせます。	
	 ● 映像のコントラストが強過ぎたり弱過ぎたりするときに、この設定を切り替えると改善される場合があります。 	
	コンピュータ入力1とコンピュータ入力2端子から入力される映像信号(コンピュータ信号)の信号受信モードを設定できます。	
	(1) カーソルボタン▲ / ▼で、設定する コンピュータ入力 端子を選択します。	
	(2) カーソルボタン◀ / ▶で、選択した端子から入力 される映像信号の受信モードを選択してください。	
	コンピュータ入力 1 オート ひ SYNC ON C オフ オート ひ SYNC ON C オフ コンピュータ入力 1 コンピュータ入力 2 マーク入力 2 マーク入力 2 マーク入力 2 マーク入力 2 マーク入力 2 マーク入力 3 マーク入力 3 マーク マーク マーク入力 3 マーク マーク マーク マーク マーク マーク マーク マーク	
コンピュータ入力		
	コンピュータ人力 2 オート ⇔ SYNC ON G オフ ⇔ モニタ出力	
	●「オート」モードに設定すると、その端子からの SYNC ON G 信号、およびコンポーネントビデオ信号 を受信できるようになります。	
	● 正常な入力信号が検出されないときに「SYNC ON G オフ」 モードに設定する場合は、いったん信 号ケーブルを外して無信号の状態にし、「SYNC ON G オフ」に設定してから、信号を再入力してく ださい。	

机合环口	提作古穷
設正項日	/////////////////////////////////////
フレームロック	各端子から入力される映像信号のフレームロック機能の有効 / 無効 が設定できます。 (1) カーソルボタン▲ / ▼で、設定する入力端子を選択します。 (2) カーソルボタン◀ / ▶で、フレームロック機能の有効 / 無効を 選択してください。 有効 ⇔ 無効 ● この機能は、垂直周波数が 49 ~ 51、59 ~ 61Hz の信号を受信しているときのみ有効です。 ●「有効」を選択すると、動画がよりスムーズに表示されます。 MP-JW4001J/MP-JW3501J ● この機能は、HDMI 1 と HDMI 2 端子から 480i@60、576i@50、1080i@50/60 を受信して いる場合は無効になります。
解像度	 コンピュータ入力1とコンピュータ入力2端子から入力される映像信号の解像度を設定できます。 (1)「入力」メニューから「解像度」をカーソルボタン▲/▼で選択し、カーソルボタン▶を押します。「解像度」メニューが表示されます。 (2)カーソルボタン▲/▼で、メニューから設定したい解像度を選択します。 (2)カーソルボタン▲/▼で、メニューから設定したい解像度を選択します。 (3)「標準」選択の場合は、設定された解像度にあわせて「水平位置」、「毎直位置」、「クロック位相」、「水平サイズ」が自動的に調整されます。 (3)「標準」選択の場合は、「解像度」カスタム」設定ダイアログが表示されます。 (4)「カスタム」選択の場合は、「解像度」カスタム」設定ダイアログが表示されます。 (5)入力が終わりましたら、カーソルを「の大平」と、「水平」と「垂直」の解像度をサポートしていません。 (5)入力が終わりましたら、カーソルを「OK」に置き、カーソルボタン▲/▼で、「水平」と「垂直」の解像度を大力してください。本機能は、全ての解像度をサポートしていません。 (5)入力が終わりましたら、カーソルを「の人」に置き、カーソルボタン▲/▼で、「水平」と「垂直」の解像度設定を変存するには、カーソルボタン▶を押してください。設定された解像度にあわせて「水平位置」、「重直」の解像度に長わせて「水平位置」、「重直」の第2×744 (回) (6)設定を保存せずに以前の解像度に戻る場合は、カーソルを「取消」に置き、カーソルボタン▲ または ENTER ボタンを押してください。設定は変更されず、「解像度」メニューに戻ります。 ● すべての解像度が保証されているわせではかりません。信号によっては正しく動作しない場合があります。

設置メニュー

「 設置 」 メニューでは、設置状態に関する下表の項目を操作することができます。 カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、 操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。

_			
I	<u>詳細メニュー</u>		. 選択
-00-	映像	🗵 画像表示位置	
	表示	🔀 幾何学補正	
- 💿	入力	🜇 光源 & フィルター	
I i	設置 ト	🛚 設置方法	
\$	オーディオ	🔏 スタンバイモード	通常
		🔲 OSDメッセージ	
	その他	🌄 スタンバイ出力	
몲		🛃 USBスタンバイ給電	無効
18	簡単メニュー		
网	終了		
		コンピュータ入力1	1920 × 1200 @60Hz

設定項目	操作内容	
画像表示位置	 カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、画像の表示位置を選択できます。 本機能は以下のときには動作しません。 ● 画面の中に映像非表示エリア(黒画面 / 背景画面)が無い、もしくは表示されないとき。 ● 以下のいずれかのメッセージが表示されているとき。 「信号が入力されていません」 「信号が同期範囲外です」 「入力信号が不安定です」 ● ブランク画面、またはテンプレート画面が表示されているとき。 	
幾何学補正	 キーストン 本項目を選択すると、「キーストン」ダイアログが表示されます。 詳細は「画面のひずみを補正する」の「キーストン」(□1-37)をご参照ください。 本機能の調節範囲は入力信号によって異なります。入力信号によっては、本機能がうまく動作しないことがあります。 可能なかざりズーム調節を WIDE (大きく表示)に調節してお使いください。ズーム調節が TELE (小さく表示) 側に調節されていると、過補正となることがあります。 本項目は、「状態監視」(□2-39)が有効の場合または画面が「コーナーフィット」で調節されている場合は有効になりません。 コーナーフィット 本項目を選択すると、「コーナーフィット」ダイアログが表示されます。 詳細は、「画面のひずみを補正する」の「コーナーフィット」(□1-37)をご参照ください。 本項目は、「状態監視」(□2-39)が有効の場合または画面が「キーストン」で調節されている場合は有効になりません。 バターン カーソルボタン▲ / ▼ でパターンを選択します。 パターン1: フレーム パターン2: 格子(赤) パターン2: 格子(赤) パターン5: 垂直 9 ステップ パターン5: 垂直 9 ステップ パターン6: 水平 9 ステップ のFF: こ入力信号を表示します。	

設定項目		操作内容
		カーソルボタン▲ / ▼で、光出力を切り替えます。
		標準モード ⇔ ロングライフ 1 ⇔ ロングライフ 2 ⇔ 静音モード
	光出力	 周囲温度が35~40℃付近になると、光源の明るさは自動的に低下します。 「標準モード」を選択すると、明るさを任意の明るさに変更できます。 「ロングライフ1」および「ロングライフ2」は光源の長寿命化に特化したモードです。光源の明るさを制限し、長寿命化に最適な冷却を行います。 「静音モード」は低騒音に特化したモードです。光源の明るさも制限されます。 投写方向によっては、光源の明るさが低下することがあります。
	点灯時間	現在までの光源の点灯時間を表示します。
光源 & フィルター	フィルター 時間	初期、または前回フィルター時間を初期化した時から現在までの使用時間を1時間単位で表示 します。 リセット ボタンまたはカーソルボタン▶を押すと、フィルター時間初期化確認ダイアログが表 示されます。 カーソルボタン▶を押して「OK」を選択すると、フィルター時間を初期化することができます。 初期化しない ⇔ OK ● エアーフィルターを掃除または交換したときは必ずフィルター時間を初期化してください。エアーフィ ルターの掃除または交換に合わせて初期化しないと、実際の稼働時間とフィルター時間の値が 一致せず、また、エアーフィルターの掃除時期をお知らせするメッセージが正しく表示されません。 ● エアーフィルターの掃除または交換については、「エアーフィルターを掃除/交換する」(□1-40, 41)をお読みください。
	フィルター 掃除通知	 カーソルボタン▲ / ▼で、エアーフィルターの掃除時期をお知らせするメッセージが表示されるまでの時間を設定できます。 エアーフィルターを清潔に保てるよう、本機のご使用環境に合わせて設定してください。「無効」以外を設定すると、フィルター時間の値が設定した時間に達したとき、エアーフィルターの掃除をお願いするメッセージが表示されます。「無効」が設定されていると、このお知らせメッセージは表示されません。「フィルター掃除通知」をご使用環境にあわせて設定することで、フィルターをきれいに保つことができます。 お掃除メッセージが表示されなくても、エアーフィルターは定期的に掃除してください。エアーフィルターがほこりなどでつまると、本機の内部温度が上がり過ぎて、故障や本機の寿命を縮める原因となることがあります。 ご使用環境やエアーフィルターの状態に気を付けてご使用ください。

-ソルボタン▶を押すと、設置方法の設定を選択するダイアログが表示されます。 ^② ^③ ^③ ^③ ^③ [●] [●] [●] [●]
「▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲
-ソルボタン▲ / ▼で、本機がスタンバイ状態の時の動作を選択します。 速起動:高速起動用(待機電力が上がります)。高速起動設定でスタンバイ状態の場合は電源/ ステータス1インジケータが3秒に2回緑点滅します。30分経過すると高速起動は無効と なり、通常スタンバイ状態となります。この場合には、電源/ステータス1インジケータが橙点 灯となります。高速起動で起動した場合は、起動画面が表示されません。高速起動が有効 な期間はファンが動作します。
常:スタンバイ時に各種通信機能を使用する場合 ットワーク (WOL):消費電力を抑えながら有線ネットワークの Wake on LAN(WOL) 機能を使用する 場合
電力:最も消費電力を抑えたい場合に使用します。スタンバイ時にネットワーク機能は動作しません。 ネットワーク(WOL)または省電力を選択すると、スタンバイ中の機能は以下のように制限されますが、 これらの機能をご使用にならない場合には、本機の消費電力を抑えることができます。お客様のご使用 方法に合わせて選択してください。 パワーオン、スタンバイモードの切替以外のRS-232Cコマンドの送受信ができなくなります。「その他」 メニューの「特別な設定」 – 「通信設定」 – 「通信タイプ」(単2-31)が「ネットワークブリッジ」に 设定されている場合は、全てのRS-232Cコマンドが送受信できません。 スタンバイ出力機能が使用できなくなります。 イクシバイ出力機能が使用できなくなります。 イクジュール機能(例:電源 – オン)は動作しなくなります。 スタンバイ時に USB タイプ A が給電できず、「USB スタンバイ給電」メニューも操作できません。 本機が起動してから利用可能になるまでに、しばらく時間がかかります。 スタンバイモード時のクローニングロード機能が動作しません。 ネットワーク(WOL)を選択すると、スタンバイ状態での消費電力を抑えながら有線ネットワークの
「 犬」」 遅 「 」 「 『 」 、 『 パ と 没 く 十 ス く 本 く 、 」

Wake-On LAN (WOL) 機能

設置メニューのスタンバイモード設定でネットワーク(WOL)を選択することで、スタンバイ状態での消費電力を抑えながら有線 ネットワークのWake-On-LAN(WOL)機能を使うことができます。

動作

スタンバイ状態でWOLマジックパケットを受信すると、通常のスタンバイモード状態に遷移することで、各種通信機能が使用できるようになります。

但し、WOLマジックパケットを使用して通常のスタンバイモードに遷移しても、スタンバイ状態のまま10分以上経過すると自動で 消費電力を抑えたネットワーク(WOL)のスタンバイモードに戻ります。

なお、WOLマジックパケット受信後、各種通信機能が動作可能となる時間の目安は、有線ネットワークで1分、無線ネットワークでは約2分となります。

WOLマジックパケット

項目	仕様
ネットワーク	有線ネットワークのみ
プロトコル	UDP
宛先アドレス	ブロードキャストアドレス
宛先ポート番号	任意
WOL マジックパケット	プロジェクタの有線 LAN 側の MAC アドレスを使ったパケット (FF:FF:FF:FF:FF:FF(6Byte)に続き、MAC Address(6Byte) を 16 回繰り返した 102Byte のデータ)

(例) MAC Address: 01:02:03:04:05:06の場合のWOLマジックパケット

お知らせ

対応するWOLマジックパケットは、ブロードキャストアドレスに対して送信するパケットです。

一般的なルーターの初期設定では、異なるネットワークアドレスの機器に対してブロードキャストアドレスのパケットを転送しない場合があります。

このようなルーターをご使用の場合、同一のネットワークアドレスに存在しないプロジェクターに対しては、WOL機能を使うことができません。

ルーターの設定に関しましては、ネットワーク管理者にご相談ください。

本機能は有線ネットワークのみ有効であり、無線ネットワークには対応しておりません。

設定項目	操作内容	
OSD メッセージ	カーソルボタン▲ / ▼で、メッセージ機能を切り替えます。 OSD メッセージボタンについては、「OSD の表示を制限する」(単1-34) をご参照ください。 ノーマル ⇔ 限定 ⇔ 禁止 (/-マル : OSD メッセージが通常どおり表示されます。 限定 : 以下のメッセージが表示されません。 ・「オート 実行中」 ・「福号が入力されていません」 ・「福号が入力されていません」 ・「信号が入力されていません」 ・「信号が同期範囲外です」 ・「入力信号が不安定です」 ・「操作できないボタンが入力されました」 ・「検索中…」 ・「積雪検出中…」 ・入力切替による入力信号表示 ・アスペクトの変更による表示 ・「マイメモリー」の変更による表示 ・「マイメモリー」の変更による表示 ・「アンルート」の変更による表示 ・「光出力」の変更による表示 ・「光出力」の変更による表示 ・「光出力」の変更による表示 ・「光出力」の変更による表示 ・「光出力」の変更による表示 ・「光出力」の変更による表示 ・「光出力」の変更による表示 差止 : 全てのメッセージが表示されません。 以下のボタンのみが機能します。 STANDBY/ON,点灯/消灯	
スタンバイ出力	 音声出力 スタンバイ状態のときの音声出力を選択します。 この項目は、スタンバイモードが「省電力」または「ネットワーク (WOL)」設定となっている場合には選択できません。 	
USB スタンバイ 給電	 カーソルボタン▲ / ▼で、USB スタンバイ給電の有効 / 無効を切り替えます。 有効 ⇔ 無効 本機能を「無効」に設定した場合、スタンバイ状態で USB 給電されません。 「スタンバイモード」を「省電力」または「ネットワーク (WOL)」に設定した場合、USB スタンバイ給 電は無効となり、本メニューも操作できません。 本機能を「有効」に設定した場合、スタンバイ状態でファンが回転することがあります。 	

オーディオメニュー

「オーディオ」メニューでは、音声に関する下表の項目を操作することができます。 カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、 操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。



設定項目	操作内容
立旦	カーソルボタン◀ / ▶で、オーディオ出力の音量を調節できます。
	小さく(- 側) ⇔ 大きく(+ 側)
	カーソルボタン▲ / ▼で、内蔵スピーカーのオン/オフを切り替えます。
スピーカー	オン ⇔ オフ
	オフが選択されているときは、内蔵スピーカーから音声が出力されません。
	(1) で選択した入力端子からの画像信号が表示されているあいだ、(2) で選択した入力端子からの音声 信号が本機の内蔵スピーカーと 音声出力 端子の両方から出力されます。ただし、スピーカーがオフに設定さ れている場合は内蔵スピーカーは動作しません。
	(1) カーソルボタン▲ / ▼で、映像の入力端子を選択してください。
	(2) カーソルホタン◀ / ▶で、 台声人力端子または消音のアイコンを選択してくたさい。 No.1 : 辛吉1カ1 端子 No.2 : 辛吉1カ2 端子
	No.3:HDMI 1 端子 No.4:HDMI 2 端子
	No.5: LAN 端子
	● No.3 から 5 の端子からの音声は、各映像入力端子にのみ選択できます。
	● 消音「ඥ」が選択され、C.C. を含む入力信号を受信した時、自動的に C.C. 機能が有効となります。 なお、この機能は、NTSC 方式のビデオ信号またはコンピュータ入力 1、コンピュータ入力 2 に入力される 480i @ 60を受信し、「スクリーン」メニューの「C.C.」の「ディスプレイ」に「オート」を選択しているときのみ有効になります。

スクリーンメニュー

「スクリーン」メニューでは、スクリーン表示に関する下表の項目を操作することができます。

カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、 操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。

■ 詳細メニュー	(2): 選択
ゆ 映像	● 表示言語 (Language)日本語
 ■ 入力 ● 入力 	
◆ 設置 ♪ オーディオ	 ぶ オートフランク 育 □ 初期画面 オリジナル
 □ スクリーン □ ▲ その他 	 マイスクリーン 実行する マイスクリーン エック エー マイスクリーン エック エー エー
品 ネットワーク ● セキュリティ	 ▲ 入力チャンネル名 ☑ テンプレート テストパターン
 ・ ・ ・ ・ 	ම \$1マ− ම C.C.
10 1 10 L	
	コンピュータ入力 1920 × 1200 @60Hz

設定項目	操作内容		
<u>カ</u> -	ーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、メニュー等の画面表示言語を選択できます。		
事册言語	ENGLISH ⇔ FRANÇAIS ⇔ DEUTSCH ⇔ ESPAÑOL		
我小吉丽	└━(表示言語ダイアログに表示される各言語)━┘		
選	訳した表示言語を適用するには、 ENTER ボタンまたは 🗗 ボタンを押してください。		
メニュー位置 ^{カ-} ボ	カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、メニュー位置を調節できます。操作を終了するには、リモコンのメニュー ボタンを押すか、約 10 秒間何も操作しないと終了します。		
<u>ל</u>	ーソルボタン▲ / ▼で、ブランク画面を選択できます。		
כז	ブランク画面」は一時的に表示される画面です。リモコンの プランク ボタンを押すことで表示されます。		
	マイスクリーン ⇔ オリジナル ⇔ 青 ⇔ 白 ⇔ 黒		
— " — > —			
ノランクマ・	イスクリーン:「マイスクリーン」(□2-20)で登録したお好みの映像が表示されます。		
7!	リジナル:本機の標準映像が表示されます。		
青	う、白、黒 :各色の無地画面が表示されます。		
•	本機は、同じ映像を長時間投映し続けると残像が残ることがあります。これを防ぐため、「マイスクリーン」 または「オリジナル」は数分で無地の画面に変わります。		
カ-	ーソルボタン▲ / ▼で、オートブランク画面を選択できます。		
	青⇔白⇔黒		
オート			
ブランク	・本機は、同じ映像を長時間投映し続けると残像が残ることがあります。これを防ぐため、以下の条件で「オートブランク」で指定のブランク画面色に数分後に画面が変わります。		
	- 「マイスクリーン」もしくは「オリジナル」がブランク画面として表示されたとき。		
	- 初期画面が表示されたとき。		
カ- -	ーソルボタン▲ / ▼で、初期画面を選択できます。		
	初期画面」は起動時の信号が安定するまでの間や、正常な信号が見つからない(入力信号が無い、 、力信号が本機の仕様に合わないなど)ときに投映される映像です。		
	マイスクリーン ⇔ オリジナル ⇔ 表示しない		
	企		
初期画面	イスクリーン:「マイスクリーン」(□2-20)で登録したお好みの映像が表示されます。		
7!	リジナル:本機の標準映像が表示されます。		
表	ほっしない :黒の無地画面が表示されます。		
•	・本機は、同じ映像を長時間投映し続けると残像が残ることがあります。これを防ぐため、「マイスクリーン」 または「オリジナル」画面は「オートブランク」画面へ数分後に切り替わります。		
•	「セキュリティ」メニューのマイスクリーンパスワード機能(□□2-37)が有効に設定されているときは、初 期画面は「マイスクリーン」に固定されます。		

設定項目	操作内容
マイスクリーン	ブランク画面や初期画面用に、お好みの画像(マイスクリーン)を登録することができます。あらかじめ、登録したい映像信号を入力・選択してください。
	「マイスクリーン」を選択すると、「この画像の取り込みを 開始しますか?」ダイアログが表示されます。 登録したい映像が画面に表示されるのを待って ENTER ボタン(または一〇ボタン)を押してください。 画像を元に戻したい、または前のダイアログに戻りたい場 合はリモコンのリセットボタンを押してください。 登録には数分ほどかかります。 登録が完了すると、登録した画像と「マイスクリーンの画 像登録が完了しました」のメッセージが数秒間表示され、 通常画面に戻ります
	登録に失敗すると、「画像の取り込みエラーです。もう一度やり直してください。」のメッセージが数秒間表示されて通常画面に戻りますので、最初からやり直してください。
	 ・ この項目は、「マイスクリーンロック」(□□下記)が「有効」に設定されているときは選択できません。 ・この項目は、「マイスクリーンパスワード」(□□2-37)が「有効」に設定されているときは選択できません。 ・LAN 端子、USB タイプ A 端子、HDMI 1 端子、HDMI 2 端子からの映像信号は、マイスクリーンに登録できません。
	カーソルボタン▲ / ▼で、マイスクリーンの上書き防止機能を設定できます。
マイスクリーン ロック	有効 ⇔ 無効 「有効」に設定すると、「マイスクリーン」の登録操作を禁止し、登録済みの映像を保護することができます。 ● この項目は、「セキュリティ」メニューの「マイスクリーンパスワード」(□2-37)が有効に設定されている ときは選択できません。

設定項目	操作内容	
テンプレート	カーソルボタン▲ / ▼で、テンプレート画面のパターンを選択できます。 選択したテンプレート画面を表示させるには、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押してください。カーソ ルボタン◀を押すと、表示画面からパターン選択画面に戻ります。	
タイマー	タイマーを表示します。 タイマーの表示位置はメニュー位置に連動します。 タイマー表示中は PAGE UP/PAGE DOWN 以外の簡易マウス/キーボード機能は無効になります。	
	この項目を選択してカーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、 「C.C.」メニューが表示されます。 クローズドキャプション(C.C.)は、ビデオやテレビ番組、 ファイルなどの、音声情報やその他の付加的な文字情報を、 表示ガイドや字幕などの視覚的な情報として画面に写す 機能です。この機能をお使いいただくためには、C.C. に対応した NTSC 方式のテレビ(ビデオ)信号や 480i@60 コンポーネントビデオ信号が必要です。接続している機器や信号源によっては適切に動作しない 場合があります。この場合は C.C.をオフにしてください。	
C.C.	 ディスプレイ カーソルボタン▲ / ▼で、クローズドキャプションの表示設定を切り替えられます。 オート ⇔ 有効 ⇔ 無効 (1	
	 モード カーソルボタン▲ / ▼で、クローズドキャプションの表示モードを選択できます。 キャプション ⇔ テキスト <u>キャプション</u>: 音声情報の字幕を表示します。 <u>テキスト</u>: 報道内容や番組ガイド等の文字情報を、スクリーン全体を使って表示します。 C.C. 機能に 対応したすべての映像信号が「テキスト」に対応しているわけではありません。 	
	 チャンネル カーソルボタン▲ / ▼で、クローズドキャプションの言語チャンネルを設定できます。 1 ⇔ 2 ⇔ 3 ⇔ 4 1 : チャンネル 1 第 1 チャンネル / 主言語 2 : チャンネル 2 3 : チャンネル 3 4 : チャンネル 4 使用するチャンネル、言語は、ご覧になるビデオやテレビ番組などによって異なります。 	

その他メニュー

「その他」メニューでは下表の項目を操作することができます。

カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを 押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作し てください。

	<u>詳細メニュ</u> ー		(): 選択
÷	映像	🎖 サーチスキップ	
۲	表示	🗟 オートサーチ	無効
•	入力	🧲 ダイレクトパワーオン	無効
- 4	設置	🕾 オートパワーオン	
♪	オーディオ	🐼 オートパワーオフ	20min
	スクリーン	😵 マイボタン	
	その他 🕨 🕨	📋 スケジュール	
몲		▶ 特別な設定	
	セキュリティ		
1	簡単メニュー		
困	終了		
		コンピュータ入力1	1920 × 1200 @60Hz

設定項目	操作内容	
	入力信号の自動検索機能(オートサーチ)で信号を検索する対象となる端子を選択できます。	
サーチ スキップ	パロ・サーチスキップ ノーマル スキップ コンピュータ入力 1 ● 〇 コンピュータ入力 2 ● 〇 HDM1 1 ● ○ HDM1 2 ● ○ ビデオ ● ○ LAN ● ○ USBタイプA ○ ● 反 ※ ※	
	 (1) カーソルボタン▲ / ▼で、設定する端子を選択します。 (2) カーソルボタン◀ / ▶で、選択した端子の検索設定を選択します。 	
	ノーマル ⇔ スキップ	
	「スキップ」に設定した端子は、信号の自動検索機能での対象から外れます。	
	● 全ての端子を スキッフ」に設定することはできません。	
	カーソルボタン▲ / ▼で、入力信号の自動検索機能の有効 / 無効を設定できます。	
	有効 ⇔ 無効	
	「有効」を選択すると、信号を受信できなくなったとき、本機は自動的に他の端子からの入力信号を検索 し始めます。正常な入力信号が見つかると、検索をやめ、その映像が表示されます。	
オートサーナ	検索実行前に選択されていた入力端子から、正常な入力信号を検出するまで、次の順序で繰り返し行 われます。	
	コンピュータ入力 1 \Rightarrow コンピュータ入力 2 \Rightarrow HDMI 1	
	USB タイプ A ⇔ LAN ⇔ ビデオ ⇔ HDMI 2	

設定項目	操作内容	
	カーソルボタン▲ / ▼で、ダイレクトパワーオン機能の有効/無効を設定できます。	
	有効 ⇔ 無効	
	「有効」に設定すると、本機の使用中(光源点灯中)に、テーブルタップのスイッチやブレーカーをご使用になっ て電源を切ったあと、再度電源に接続したときにボタン操作無しで電源が入り、光源が自動的に点灯します。	
ダイレクト パワーオン	 以下のいずれかの手順で電源を切った場合は、電源に接続しても光源は自動的に点灯しません。通常の手順(□1-31)で電源を入れてください。 ・通常の手順で光源を消灯したとき。 ・オートパワーオフ機能(□2-24)で電源が切れたとき。 ダイレクトパワーオン機能で電源が入ってから約 20 分間、何も信号が入力されなかったり、何も操作をされなかった場合は、オートパワーオフ機能が無効設定になっていても、自動的に光源が消灯します。 	
	▲ 警告	
	▶ 自動的に電源が入っても安全が保たれるよう本機が設置および接続されていることを確認してください。	
オート	この機能は本機がスタンバイ時に外部機器から映像信号が入力されたことを検知した場合、光源を点灯し 自動的に映像を表示するものです。 メニュー上から対象の端子を選択し機能を有効にすることでご使用になれます。 ●「ネットワーク(WOL)」および「省電力」スタンバイ時は本機能を使うことはできません。 ● 接続されている外部機器によって意図しない時に本機能が動作する場合があります。	
パワーオン	 ・本機能を有効とすると、本機に接続されている機器を操作することで、お客様が気づかないうちに、 本機が起動することがあります。本機の周辺や本機の上に物を置かないように気を付けてください。 ・自動的に電源が入っても安全が保たれるよう本機が設置および接続されていることを確認してください。 	
	カーソルボタン▲ / ▼で、入力信号が検出されなくなってから自動的に電源を切る(光源を消灯し、冷却 動作を始める)までの待ち時間を設定できます。	
オート	長く(最長 99 分) ⇔ 短く(最短 1 分、0 分:無効) e オーレ 19-オフ (e) オーレ 19-オフ (c) 戻る (c) 戻る (c) 戻る (c) 戻る (c) 戻る (c) 戻る (c) 戻る (c) 戻る (c) 戻る (c) 除了 (c) 除了	
<i>NJ-7J</i>	オートパワーオフ機能は 1 ~ 99 分に設定されているときのみ有効です。0 に設定すると無効になります。 有効に設定(待ち時間を設定)すると、入力信号が検出されない場合、設定時間経過後に自動的に 電源が切れます。	
	リモコンまたは操作パネルのボタンを押すか、または、Getコマンド以外のコマンドを送受信すると、その時点から再び設定時間が経過するまでオートパワーオフ機能は動作しません。	
	ナ野で电源で切る力法については「電源で切る」(□□1-32)をこ変照くにさい。	



(次ページにつづく)




設定項目	操作内容
特別な設定	この項目を選択してカーソルボタン▶または ENTER ボタンを押す と、「特別な設定」メニューが表示されます。 カーソルボタン▲/▼で操作したい項目を選択してください。 カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、その項目のサブ メニュー、またはダイアログが表示されます。 ¹ 特別な設定 3 ポートアジャスト 高速 3 ポートアジャスト 高速 3 ポートアジャスト 高速 3 ポートアジャスト 高速 3 ポート 9 ポート 9 ポートアジャスト 高速 3 ポート 9 ポート 9 ポートアジャスト 高速 3 ポート 9 ポート
	 高地モード カーソルボタン▲ / ▼で、冷却ファンの回転速度モードを選択できます。 高地 ⇔ オート 標高約 1600m 以上の高地でご使用の場合は「高地」、標高約 1600m 未満でご使用の場合は「オート」にしてください。 「高地」ではファンによる騒音が大きくなります。
	オートアジャスト カーソルボタン▲ / ▼で、画面の自動調整を実行する際に自動的に調整、あるいは初期設定に戻す項目 を設定できます。 詳細 ⇔ 高速 ⇔ 無効
	 自動的に調整される項目は、受信中の信号によって異なります。 詳細: 画面の自動調整を実行すると、各項目が自動的に調整されます。 高速: 画面の自動調整を実行すると、自動的に調整される項目のうち、「水平サイズ」は初期設定に戻り、 残りの項目は自動的に調整されます。 無効: 画面の自動調整を実行すると、各項目が初期設定に戻ります。 入力信号、信号ケーブル、接続機器の状態によっては正常に機能しない場合があります。その場合は、 「無効」に設定してから、手動で調節してください。
	ゴースト カーソルボタン▲ / ▼で、ゴースト消去設定を調節できます。

設定項目	操作内容
設定項目	はいていないました。 はいていないため、 はいたが、 はいたいでは、 はいていては、 はいたいでは、 はいていては、 はいていては、 はいていては、 はいていては、 はいていては、 はいていては、 はいていては、 はいていては、 はいていては、 はいていては、 はいていては、 はいていては、 はいていては、 はいていては、 はいていていは、 はいていては、 はいていては、 はいていては、 はいていては、 はいていては、 はいていては、 はいていては、 はいていては、 はいていては、 はいていては、 はいていては、 はいていてい、 はいていてい、 はいていてい、 はいていてい、 はいていてい、 はいていてい、 はいていてい、 はいていてい、 はいていていてい、 はいていてい、 ないていてい、 ないていてい、 ないていてい、 ないていてい、 ないていてい、 ないていてい、 ないていてい、 ないていてい、 ないていてい、 ないていてい、 ないていてい、 ないていていい、 ないていていい、 ないていていいでいていい、 ないていていい、 ないていていい、 ないていていい、 ないていていいいでいいいいいい、 ないていいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい
	と「2:高」の両方を無効にすることはできません。

設定項目		操作内容
		この項目を選択してカーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、「通信設定」メニューが表示されます。「通信設定」メニューでは、RS-232C 端子を経由する通信の設定を行うことができます。
		 % 特別は設定_通信設定 通信タイプ オフ ト シリアル設定 通信方式 半二重通信 応答データ受信期間 オフ ④:戻る
		 カーソルボタン▲ / ▼で設定したい項目を選択してください。カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、その項目のサブメニュー、またはダイアログが表示されます。または、 カーソルボタン◀を押しますと、設定を変更せずに一つ前のメニューに戻ります。 シリアルブターを押しますと、設定を変更せずに一つ前のメニューに戻ります。
		● シリアル通信機能に関しては、【イットワーク編】をこ参照くにさい。
		カーソルボタン▲ / ▼で、 RS-232C 端子を経由する伝達通信タイフを選択できます。
		<u>ネットワークブリッジ</u> : コンピュータから本機を経由して、外部機器をネットワーク端末として制御したい時に選択して ください。 RS-232C 端子は、RS-232Cコマンドを受け付けません。 詳細は、【ネットワーク編】「ネットワークブリッジ」(□□3-72 ~ 74)をご参照ください。
		<u>オフ</u> : RS-232C 端子をコンピュータに接続して RS-232C 通信を行うときに選択してください。
特別な設定 (つづき)	通信設定	 ● 工場出荷時は、「オフ」に設定されています。 ●「ネットワークブリッジ」を選択するときは、「通信方式」(□2-31)をご確認ください。
		シリアル設定 RS-232C 端子の通信状態を選択することができます。
		ボーレート
		4800 bps ⇔ 9600 bps ⇔ 19200 bps ⇔ 38400 bps
		ثــــــــــــــــــــــــــــــــــــ
		パリティ
		は ⇔ 奇数 ⇔ 偶数
		通信万式 この項目は、「通信タイプ」(単2-31)で「ネットワークブリッジ」が選択されている時のみ 設定できます
		カーソルボタン▲ / ▼で、ネットワークブリッジでの、RS-232C 端子からの伝達用の通信方 式を選んでください。
		半二重通信 ⇔ 全二重通信
		<u>半二重通信</u> :データの送信、受信を交互に行います。
		全二重通信:データの送受信を同時に行います。
		● 工場出荷時は、「半二重通信」に設定されています。
		●「半二重通信」を選択する時ときは、「応答データ受信期間」(□2-32)をご確認ください。

設定項目		操作内容
特別な設定 (つづき)	通信設定 (つづき)	 応答データ受信期間 カーソルボタン▲ / ▼で、外部機器からの応答待機時間を選択してください。 オフ ⇔ 1s ⇔ 2s ⇔ 3s ¹/₂ =
		信方式」(□2-31)が「半二重通信」に設定されている時にのみ有効となります。 ● 工場出荷時は、「オフ」に設定されています。
	クローニング *	プロジェクターの各設定を USB メモリーを介して他のプロジェクターへコピーすることができます。 保存:プロジェクターの各設定を USB メモリーに保存します。 ロード:プロジェクターの各設定を USB メモリーに保存します。ロードが完了すると、メッセージが表示され、5 分経過またはカーソルボタン▶を押すと電源が切れます。 (ロードが失敗すると、メッセージが数秒間表示され、通常画面に戻ります。) 保存もしくはロード後に USB メモリを外してください。 以下の項目は対象外です。 設置:点灯時間、フィルター時間 その他:スケジュール_日付と時刻の設定、特別な設定(ゴースト) ネットワーク:プロジェクター名 無線 LAN 設定 (SIMPLE ACCESS POINT)、 無線 LAN 設定 (INFRASTRUCTURE)、 有線の設定 (IP アドレス、サブネットマスク)、マイイメージ、その他操作 セキュリティ:マイテキスト表示 ● セキュリティ_クローニングロックが有効のときは操作できません。 ● スクリーン マイスクリーンはロードのみ可能です。

* : MP-JW4001J/MP-JW3501J のみ (次ページにつづく)

設定項目		操作内容
		スタンバイ状態でのクローニング ロード機能
特別な設定 (つづき)	クローニング * (つづき)	 本機がスタンバイ状態のときに、先ずは操作パネルの ・ ボタンとカーソルボタン ▶ を 同時に押した後、次に カーソルボタン ▲を押すと、クローニングのロード機能が動作します。 ロード中は、電源/ステータス1インジケータが橙色、ステータス2インジケータが赤色に 点灯します。 ロードが完了すると、電源/ステータス1インジケータが 10 回点滅し、ステータス2 インジケータが消灯します。 ロードに失敗(「クローニングロック」が「有効」)すると、電源/ステータス1インジケー タが 10 回点滅し、ステータス2インジケータが 3 回点滅します。 ロードに失敗(「クローニングロック」が「無効」)すると、電源/ステータス1インジケー タが 10 回点滅し、ステータス2インジケータが 2 回点滅します。 ロードに失敗(「クローニングロック」が「無効」)すると、電源/ステータス1インジケー タが 10 回点滅し、ステータス2インジケータが 2 回点滅します。 以下の場合、クローニングは動作しません。 「クローニングは動作しません。 「クローニングは動作しません。 「クローニングリック」が「有効」に設定されているとき 「スタンバイモード」が「省電力」/「ネットワーク(WOL)」に設定されているとき 「暗証コードロック」または「状態監視」のロックが解除されていないとき システムエラー時 USB スタンバイ給電が無効に設定されている時 ロード完了後、下記いずれか一つの操作を行ってください。 操作パネルの ・ ボタンとカーソルボタン ◆を同時に押してください。 一度電源ケーブルを外した後、再起動してください。
		ロードするマイスクリーンデータについて
		 USB メモリに pj_logo.bmp または pj_logo.gif という名称でイメージデータをセーブしてく ださい。 対応するフォーマットは下記のみですので、ご注意ください。 ファイルフォーマット Windows BMP bit/pixel: 4/8/16/24/32bit 圧縮形式: 圧縮なし /RLE GIF 画像サイズ: 36 × 36 以上、1280 × 800 以下 2 種類のファイルがセーブされている場合は、pj_logo.bmp をマイスクリーンデータに登録 します。 「マイスクリーンロック」および「マイスクリーンパスワード」の設定が有効になっていた場合、 マイスクリーンデータのロードはできませんので、ご注意ください。 設定データについて クローニングの保存機能を実行すると、USB メモリに pj_data.bin という名称でファイルが 作成されます。 ファイル名称やフォルダ構成を変更しないようご注意ください。 USB メモリに 同名のファイルがある場合、保存機能を実行すると、上書きされますので
		マイスクリーンデータのロードはできませんので、ご注意ください。 設定データについて • クローニングの保存機能を実行すると、USB メモリに pj_data.bin という名称でファイ 作成されます。 ファイル名称やフォルダ構成を変更しないようご注意ください。 • USB メモリに同名のファイルがある場合、保存機能を実行すると、上書きされますの ご注意ください。

* : MP-JW4001J/MP-JW3501J のみ (次ページにつづく)

設定項目		操作内容	
はスシスロ 特別な設定 (つづき)	ローニング * (つづき) ・	 ード機能について 別の機種でセーブしたファイルは、ロードできませんので、ご注意ください。 「セキュリティ」メニューのセキュリティパスワードは工場出荷時から一度でも変更すると、 セーブしたデータをロードすることができません。 「セキュリティ」メニューの「マイスクリーンパスワード」、「暗証コードロック」、「状態監視」、 「マイテキストパスワード」および「スクリーン」メニューの「マイスクリーンロック」については、 設定が「有効」になっていた場合は、それぞれのデータはロードできませんので、ご注意ください。 「状態監視」が有効に設定されている場合、「設置方法」、「キーストン」と「コーナーフィット」の設定はロードできませんので、ご注意ください。 「セキュリティ」メニューの「マイスクリーンパスワード」が「有効」に設定されている場合、 「スクリーン」メニューの「マイテキストパスワード」が「有効」に設定されている場合、 「セキュリティ」メニューの「マイテキストパスワード」が「有効」に設定されている場合、 「マイテキスト入力」はロードできませんので、ご注意ください。 	
	インフォメーション この項目を選択すると「入力 _ インフォメーション」のダイアログが表示されます。このダイアログには現在受信中の映像信号についての情報が表示されます。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
	 "フレームロック"と表示されている場合は、フレームロック機能が動作していることを示します。 正常な信号を受信していない状態では、この項目は選択できません。 「セキュリティ」メニューの「マイテキスト表示」(□2-40)が「有効」に設定されていると、「入力 _ インフォメーション」ダイアログには、登録したマイテキストも一緒に表示されます。 		
	工場出荷設定 カーソルボタン▶を排 初期化しない ⇔	₱して、「OK」を選択すると、メニューの各項目を一括して初期設定に戻すことができます。 ・ OK	
	●「スタンバイモード 「ネットワーク」、	、」、「オートブランク」、「点灯時間」、「フィルター時間」、「表示言語」、「フィルター掃除通知」、 「スケジュール」、「通信設定」 および「セキュリティ」の各項目の設定は初期化されません。	

*: MP-JW4001J/MP-JW3501J のみ

<u>ネットワークメニュー</u>

ネットワーク機能の詳細については、【ネットワーク編】をご参照ください。

本機をネットワークに接続するには、あらかじめご使用になるネットワーク環境に合わせた設定が必要です。本機をネットワークに接続する前に、必ずご使用になるネットワークの管理者へご相談ください。誤った接続や設定はネットワーク障害などの原因となることがあります。

セキュリティメニュー

「セキュリティ」メニューでは、本機のセキュリティ機能の設定を行うことができます。 パスワード、暗証コードのお問い合わせの際に必要となりますので、<u>保証書は大</u> 切に保管してください。

「セキュリティ」メニューを操作するには、以下の手順に従い、セキュリティパスワードを入力してください。

- 「パスワードを入力してください。」を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押してください。「パスワードを入力してください」ダイアログ が表示されます。
- カーソルボタン
 ケでカーソルを移動させながら、カーソルボタン
 ▼で、登録されているセキュリティパスワードを入力してください。
 工場出荷時のセキュリティパスワードは以下です。

MP-JU4001J: 3723
MP-JW4001J/MP-JW3501J: 5710

セキュリティパスワードは変更できます。

カーソルを「OK」に移動して、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、「セキュリティ」 メニューが表示されます。間違ったパスワードを入力すると、ダイアログが再度表示されます。

- 工場出荷時のパスワードはできるだけ早く変更してください。
- 間違ったパスワードを3回入力すると、電源が切れます。それ以降は、 パスワードの入力を間違えるたびに電源が切れます。
- 3. 下記表の項目が操作できます。

セキュリティパスワードを忘れた場合

- 1. 「パスワードを入力してください」ダイアログが表示されている間に、**リセット**ボタン、 または操作パネルのカーソルボタン ▶ と - ご ボタンを同時に 3 秒間押すと、 「セキュリティ/照合コード」ダイアログが表示されます。このダイアログには 10 桁の セキュリティパスワード照合コードが表示されています。
- 2. 10 桁のセキュリティパスワード照合コードを、お客様のお名前、電話番号とあわせて、 「お客様ご相談窓口」(□□4-44)までご連絡ください。確認後、パスワードをご連絡いたします。
 - ●「セキュリティパスワード / 照合コード」ダイアログが表示されているときに一定時間何も入力しないと、ダイアログが閉じます。

設定項目	操作内容
設定項日 セキュリティ パスワード変更	は来すドウム セキュリティパスワードを変更することができます。 (1)「セキュリティ」メニューで「セキュリティパスワード変更」を選択し、 「新パスワードを入力してください」ダイアログを表示させます。 (2) カーソルボタン▲ / ▼で新パスワードを入力してください。 (3) カーソルを「OK」に移動し、カーソルボタントまたは ENTER ボタンを押すと、「新パスワードを再良入力してください」ダイアログ が表示されます。同じパスワードを再度入力してください。 (4) カーソルを「OK」に移動して、カーソルボタントまたは ENTER ボタンを押すと、新しいセキュリティパスワードが設定・ 登録され、「新パスワードをメモしてください」ダイアログが 約 30 秒間表示されます。 このダイアログにはパスワードが表示されています。この間に新しいパスワードをメモしてください。 ENTER ボタンまたはカーソルボタントを押すと、ダイアログが閉じます。
	● セキュリティパスワードを忘れないようにしてください。
	(次ページにつつく)





設定項目	操作内容
マイスクリーン パスワード	マイスクリーンパスワード機能でマイスクリーンへのアクセスを禁止し、登録されている映像の上書きを防ぐことができます。
	1. マイスクリーンパスワード機能を有効にする(パスワードを設定・登録する) 1-1) カーソルボタン▲ / ▼で、「セキュリティメニュー」の「マイスクリーン パスワード」を選択し、マイスクリーンパスワード 有効 / 無効メニューを 表示させます。 1-2) カーソルボタン▲ / ▼で、マイスクリーンパスワード 有効 / 無効メニューを 表示させます。 1-2) カーソルボタン▲ / ▼で、マイスクリーンパスワード 有効 / 無効メニューを で「有効」を選択してください。「新パスワードを入力してください」(小) ダイアログが表示されます。 1-3) カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶でカーソルを移動させながら、パスワー ドを入力してください。カーソルを「OK」に移動し、カーソルボタン▶ または ENTER ボタンを押すと「新パスワードを再入力してください」 ダイアログが表示されます。 1-4) 同じパスワードを再度入力してください。カーソルを「OK」に移動 し、カーソルボタン▶ または ENTER ボタンを押すと、マイスクリーンパ スワードが設定・登録され、「新パスワードをメモしてください」ダイアロ グが約 30 秒間表示されます。このダイアログにはパスワードが表示さ れています。この間にパスワードをメモしてください。 カーソルボタン▶ または ENTER ボタンを押すと、マイスクリーンパスワード 有効 / 無効メニューに戻ります。 ● マイスクリーンパスワードを設定すると、「スクリーン」メニューの「マイスクリーン」(単2-20)、および「マ イスクリーンパスワード」を「無効」にすることで、上記の操作ができるようになります。
	 マイスクリーンパスワードを忘れないようにしてくたさい。 2. マイスクリーンパスワード機能を無効にする 2-1)上記の1-1をご参照のうえマイスクリーンパスワード有効/無効メニューを表示させます。 2-2)メニューで「無効」を選択すると、「パスワードを入力してください」(大)ダイアログが表示されます。 登録されたマイスクリーンパスワードを入力すると、マイスクリーンパスワード構能は無効になり、マイスクリーンパスワード有効/無効メニューに戻ります。

設定項目	操作内容
	暗証コードロックは、登録された暗証コードが入力されない限り、本機を使用できないようにする機能です。
暗証コードロック	 1. 暗証コードロック機能を有効にする(暗証コードを設定・登録する) 1-1) カーソルボタン▲ / ▼で「セキュリティメニュー」の「暗証コード ロック」を選択し、暗証コードロック 有効 / 無効メニューが表示されます。 1-2)「有効」を選択すると、「暗証コードを入力してください」ダイアログが表示されます。 1-3) カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶、入力切替または-の ボタンで、 4 つのパートからなる暗証コードを入力してください。「暗証コード を再入力してください。」ダイアログが表示されます。同じ暗証コード を再入力してください。暗証コードの登録が完了します。 「暗証コードを入力してください」ダイアログ、および「暗証コード を再入力してください」 ダイアログは、表示されてから約 55 秒/何 も入力しないと閉じます。 暗証コードロック機能を有効にすると、本機を電源につないで最初に電源を入れるたびに、暗証コードを確認 するダイアログが表示され、登録された暗証コードを5分間以内に入力しない限り本機を使用できなくなります。 暗証コードを忘れないようにしてください。
	 2. 暗証コードロック機能を無効にする 2-1) 上記の 1-1 をご参照のうえ暗証コードロック 有効 / 無効メニューを表示させます。 2-2) カーソルボタン▼で、暗証コードロック有効 / 無効メニューで「無効」を選択すると、「暗証コードを入力してください」ダイアログが表示されます。登録された暗証コードを入力すると、暗証コードロック機能は無効になります。間違った暗証コードが入力されると、ダイアログが再度表示されます。間違った暗証コードを 3 回入力すると、本機の電源が切れます。
	 3. 暗証コードを忘れた場合 3-1)本機の電源を入れ、暗証コードを確認するダイアログが表示されている間に、リセットボタン、または操作パネルのカーソルボタン、 トと ● ボタンを同時に、3 秒間押してください。 「暗証コードメニュー/照合コード」ダイアログが表示されます。この ダイアログには 10 桁の暗証コード照合コードが表示されています。 3-2) 10 桁の暗証コード照合コードを、お客様のお名前、電話番号とあわせて、「お客様ご相談窓口」 (□4-44)までご連絡ください。 確認後、暗証コードをご連絡いたします。

設定項目	操作内容
	本機の設置状態が変更されたときに、状態監視のアラームを表示し、この機能を無効にしない限り本機を使用できないようにすることができます。
状態監視	の機能を無効にしない限り本機を使用できないようにすることかできます。
	確認後、状態監視パスワードをご連絡いたします。

設定項目	操作内容
マイテキスト パスワード	マイテキストの上書きや表示設定の変更を防止することができます。 ● 表示設定の変更を防ぐため、「マイテキスト表示」メニューが使用できなくなります。 ●「マイテキスト」の上書きを防ぐため、「マイテキスト入力」が使用できなくなります。
	1. マイテキストパスワード機能を有効にする(パスワードを設定・登録する) 1-1) カーソルボタン▲/▼で、「セキュリティメニュー」の「マイテキ ストパスワード」を選択し、マイテキストパスワード有効/無効 メニューを表示させます。 1-2) カーソルボタン▲で、マイテキストパスワード有効/無効メニュー で「有効」を選択してください。 「新パスワードを入力してください」(小)ダイアログが表示され ます。 1-3) カーソルボタン▲/▼/◀/ ▶でカーソルを移動させながら、 パスワードを入力してください。カーソルを「OK」に移動し、カー ソルボタン▶を押すと、「新パスワードを再入力してください」ダ イアログが表示されます。 同じパスワードを再度入力してください。 1-4) カーソルを「OK」に移動し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、マイテキストパスワードが設定・登録され、「新 パスワードをメモしてください」ダイアログが約 30 秒間表示され ます。この樹にパスワードをメモしてください。
	カーソルボタン ▶または ENTER ボタンを押すと、マイテキストパスワード 有効 / 無効メニューに戻ります。 2. マイテキストパスワード機能を無効にする 2-1) 上記の 1-1 をご参照のうえ、マイテキストパスワード 有効 / 無効メニューを表示させます。 2-2) カーソルボタン▼で、マイテキストパスワード 有効 / 無効メニュー で「無効」を選択すると、「パスワードを入力してください」(大) ダイアログが表示されます。 登録されたマイテキストパスワードを入力すると、マイテキストパ スワード機能は無効になり、マイテキストパスワード 有効 / 無 効メニューに戻ります。 間違ったパスワードを入力すると、メニューが閉じます。
	 3. マイテキストパスワードを忘れた場合 3-1)上記の1-1をご参照のうえマイテキストパスワード有効/無効メニューを表示させます。 3-2)カーソルボタン▲/▼で、マイテキストパスワード有効/無効メニューで「無効」を選択し、「パスワードを入力してください」(大)ダイアログを表示させてください。このダイアログには、10桁のマイテキストパスワード照合コードが表示されています。 3-3)10桁のマイテキストパスワード照合コードを、お客様のお名前、電話番号とあわせて、「お客様ご相談窓口」(□4-44)までご連絡ください。 確認後、マイテキストパスワードをご連絡いたします。
マイテキスト 表示	マイテキストの表示/非表示を切り替えられます。 有効 ⇔ 無効 「有効」に設定すると、初期画面 (単2-19)と「入力_インフォメーショ ン」ダイアログ (単2-34)に、登録したマイテキストが表示されます。 ●「マイテキストパスワード」(単上記)が「無効」に設定されている ときのみ、「マイテキスト表示」の設定を変更できます。

設定項目	操作内容		
	(1) カーソルボタン▲ / ▼で、「セキュリティメニュー」の「マイテキスト入力」を選択し、マイテキスト入力ダイ アログを表示させます。		
マイテキスト 入力	 (2) マイテキストを入力する 最初の3行(下線付き)に現在のマイテキストが表示 されます。マイテキストを法だ登録していないときは、最初 の3行は空白です。カーソルボタン▲/▼/▲/ ▶で 名文字を選択し、ENTERボタンまたは - のボタンを押 して入力してください。 リセットボタンを押して、またはカーソルボタン▲と - のボタン を同時に押して、もしくは「消去」にカーソルを合わせて ENTERボタンまたは - のボタンを押すと、1 文字削 除することができます。 また、「全て消去」にカーソルを合わせて ENTER ボタン または - のボタンを押すと、表示されている文字を全て削 除することができます。 マイテキストを編集する カーソルボタン▲/▼/▲/▶で、マイテキストが表示さ れている行の、変更/削除する文字へカーソルを各動比、 ENTERボタンまたは - のボタンを押して選択します。 選択した文字を、マイテキストを入力するときと同じ手順 で編集してください。 (4) マイテキストを保存する テキストの入力・編集が終わったら、1 番下の行 の「OK」にカーソルボタン ▲/ ▼/▲/ ▶で、マイテキストが表示さ で「OK」にカーソルボタン▲/ ▼/▲/ ▶で、NTER ボタンを押して選択します。 変更を保存せずに入力を終えるには、「取消」にカーソ ルを合わせてカーソルボタン▲/ ★、ENTER ボタンまたは - のボタンを押してください。 (4) マイテキストを入力するときと同じ手順 の一のののでは、123 第15 12000000000000000000000000000000000000		
クローニング ロック *	有効を選択すると「その他」メニューの「特別な設定」のクローニンク操作が禁止されます。		

* : MP-JW4001/MP-JW3501 のみ

プレゼンテーションツール

PC レス プレゼンテーション

USB タイプ A 端子からの映像信号を選択すると、PC レス プレゼンデーションを開始します。 PC レス プレゼンテーションでは、本機の **USB タイプ A** 端子に挿入された USB メモリの画像データを、以下の 3 つの表示モード で表示させることができます。

- ■サムネイルモード (□2-43) メモリに保存された画像ファイル、フォルダを並べて縮小表示します。 PC レス プレゼンテーション開始時は、サムネイルモードで表示します。
- ■フルスクリーンモード (□2-45) 1 つの画像を画面にいっぱいに表示します。
- ■スライドショーモード (□2-46) フォルダ内の画像を順繰りに表示します。

対応記録メディアとファイル形式

■対応記録媒体

- USB メモリ(USB フラッシュメモリ、USB ハードディスク、USB メモリカードリーダ)
- ■対応記録媒体フォーマット
 - FAT12 / FAT16(FAT) / FAT32 (NTFS フォーマットおよび exFAT には対応しておりません。)

■対応ファイル形式

- JPEG(.jpeg, jpg) : プログレッシブエンコード JPEG には対応していません。
- Bitmap (.bmp): 16bit、および圧縮形式の BMP には対応していません。
- PNG (.png) : インターレース PNG には対応していません。
- GIF (.gif) :動画ファイルは再生できません。

- 解像度が下記より大きい、または 36 × 36 より小さいファイルは表示されません。
 また、解像度が 100 × 100 より小さいファイルは表示されない場合があります。
 1920 × 1200 (静止画)
- 対応しているファイル形式でも、一部のファイルは表示できない場合があります。
- サムネイルモードで画像データの内容(サムネイル画像)を表示できない場合は、枠のみ表示されます。

サムネイルモード

サムネイルモードでは、USB メモリに保存された画像をサムネイル表示し、画面の上下にサムネイルメニューが表示されます。 1 画面に最大 20 の画像ファイルまたはフォルダを表示します。

PC レス プレゼンテーションは、サムネイルモードで開始されます。サムネイルモードからは、フルスクリーンモード、およびスライドショー モードに移ることができます。



サムネイル画面

■サムネイルモードの操作

サムネイルモードでは、操作パネル、リモコン、WEB コントロールの各ボタンで以下の操作が可能です。

操作ボタン			146 45	
リモコン	操作パネル	Web コントロール	1茂月6	
▲ / ▼ / ◀ / ►	▲ / ▼ / ◀ / ►	$[\blacktriangle]/[\checkmark]/[\checkmark]/[\checkmark]/[\blacktriangleright]$	カーソルを移動します。	
PAGE UP PAGE DOWN	_	[前ページ] [次ページ]	ページを切り替えます。	
ENTER	入力切替	[決定]	 ・フォルダを選択していた場合は、フォルダを開き、フォルダ内の ファイルやフォルダをサムネイル表示します。 ・サムネイル画像を選択していた場合は、画像をフルスクリーン モードで表示します。 ・画像番号を選択していた場合は、画像の設定メニューを表示 します (〇) 下記)。 	

■画像の設定メニュー

カーソルボタン◀ / ▶で各設定を切り替えるか、カーソルボタン▶を使って以下の機能を実行します。

設定項目	操作内容
戻る	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、サムネイル画面に戻ります。
スタート	カーソルボタン◀ / ▶でオンに設定すると、選択した画像がスライドショーの最初の画像になります。
ストップ	カーソルボタン◀ / ▶でオンに設定すると、選択した画像がスライドショーの最後の画像になります。
スキップ	カーソルボタン◀ / ▶でオンにすると、選択した画像はスライドショーモードでは表示されなくなります。
回転	カーソルボタン▶または ENTER ボタン を押すと、選択された画像が 90 度時計回りに回転します。
消去	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、選択された画像を削除します。 削除を実行した後、サムネイルメニューに表示されている画像番号を更新します。削除した画像がスライド ショーの最初または最後に設定されていた場合、スタート / ストップの設定も更新します。

プレゼンテーションツール - PC レス プレゼンテーション (つづき)

サムネイルメニュー

サムネイル画面の上下に表示される、サムネイルメニューから、PC レス プレゼンテーションを操作することができます。

	設定項目	操作内容
	t=	上位のフォルダに移動します。
	並び替え	ファイルやフォルダを並び替えます。
	戻る	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、サムネイル画面に戻ります。
	名称昇順	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、名称の昇順に並べ替えます。
	名称降順	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、ファイル名称の降順に並べ替えます。
	日付昇順	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、ファイルの日付の昇順に並べ替えます。
	日付降順	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、ファイルの日付の降順に並べ替えます。
	▲ / ▼	ページを切り替えます。
	スライドショー	スライドショーを設定、または開始します。
	戻る	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すとサムネイル画面に戻ります。
	プレイ	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すとスライドショーを開始します。
	スタート	カーソルボタン◀ / ▶で、スライドショーを開始する画像番号を設定します。
	ストップ	カーソルボタン◀ / ▶で、スライドショーを終了する画像番号を設定します。
	インターバル	カーソルボタン◀ / ▶で、スライドショーでの画像 1 枚あたりの表示期間(1s ~ 999s)を設定します。
	プレイモード	カーソルボタン◀ / ▶でスライドショーの再生モードを設定します。 ■「ワンタイム」: スライドショーを 1 回再生します。 ■「エンドレス」: スライドショーの終了の画像を表示すると再び最初に戻り、繰り返して再生を続けます。
	入力	入力ソース一覧が表示されます。
	メニュー	本機のメニューを表示します。
USB メモリ取外し		本機から USB メモリを取り外すときに使用します。 カーソルボタン▶を押して「OK」を選択すると、安全に USB メモリを取り外せるようになります。 いったん「USB メモリ取外し」を実行すると、再度 USB タイプ A 端子に USB メモリを挿入するまで、 本機は USB メモリを認識しなくなります。

- 前ページの操作は、本機のメニュー画面表示中は実行できません。
- サムネイルモードでは1ページに20ファイルまで表示可能です。
- PC レスプレゼンテーション中は、 ボタンで入力端子を切り替えることはできません。いったん本機のメニューを表示させるか、 サムネイルメニュー (□2-44)の「入力」を使用してください。
- ファイルに問題があり、画像が読み込めないなどの問題が発生した場合、サムネイル画像の代わりに、以下のエラーアイコンを 表示します。



フルスクリーンモード

フルスクリーンモードでは、本機の画面いっぱいに1つの画像を表示します。

フルスクリーンで表示するには、サムネイル画面で画像を選択し、 - シ ボタンか ENTER ボタンを押すか、 Web コントロールの リモートコントロールで ENTER をクリックしてください。



■フルスクリーンモードの操作

フルスクリーンモードでは、操作パネル、リモコン、WEB コントロールのリモートコントロールの各ボタンで以下の操作が可能です。

操作ボタン			松台
リモコン	操作パネル	Web コントロール	178.86
▼ / ► / PAGE DOWN	▼ / ►	[▼]/[▶]/ [次ページ]	次の画像を表示します。
▲ / ◀ / PAGE UP	▲ / ◄	[▲]/[◀]/ [前ページ]	前の画像を表示します。
ENTER	入力切替	[決定]	サムネイルモードに戻ります。

スライドショーモード

スライドショーモードでは、1 つのフォルダに保存された一連の画像を、フルスクリーン表示で、順繰りに表示します。スライドショーでは、 サムネイル画面で表示される、画像番号の順に画像が表示されます。スライドショーの表示設定は、サムネイルモードでの画像の 設定メニュー (単2-43) またはサムネイルメニュー (単2-44)、およびプレイリスト (単2-47) から変更できます。設定は、プレイ リストに保存されます。



スライドショーモード

■スライドショーモードの操作

スライドショーモードでは、操作パネル、リモコン、WEB コントロールのリモートコントロールの各ボタンで以下の操作が可能です。

操作ボタン			「松谷口
リモコン	操作パネル	Web コントロール	1双月6
ENTER	入力切替	[決定]	サムネイルモードに戻ります。

〈お知らせ〉

- 上記の操作は、本機のメニュー画面表示中は実行できません。
- PC レス プレゼンテーション中は、 ボタンで入力端子を切り替えることはできません。いったん本機のメニューを表示させるか、 サムネイルメニュー (□2-44)の「入力」を使用してください。
- ●「プレイモード」(□2-44)が「ワンタイム」に設定されていると、スライドショーが終了すると、ENTER ボタン、または ・

 ・ ボタンが押されるまで、最後の画像を表示し続けます。

スライドショーは好みの設定で再生できます。 サムネイルでスライドショー項目を設定します。

1) 戻る:サムネイルモードに戻ります。

- 2) プレイ:スライドショーを再生します。
- 3) スタート:スライドショーの開始画像番号を設定します。
- 4) ストップ:スライドショーの終了画像番号を設定します。
- 5) インターバル:スライドショー中に静止画を表示する間隔を設定します。
 - 非常に深い階層のディレクトリに格納されていたり、同じディレクトリにたくさんのファイルが格納されている場合、 画像ファイルの読み出しと表示に数秒かかることがあるため、インターバル時間を数秒のように非常に短く設定する ことはお勧めできません。
- プレイモード:スライドショーのモードを選択します。
 ワンタイム:スライドショーを1回だけ再生します。
 エンドレス:スライドショーをエンドレスで再生します。

- スライドショーの設定は、記録メディアに保存されている "playlist.txt" ファイルに保存されます。ファイルが存在しない場合は、 自動的に生成されます。
- スタート、ストップ、インターバル、プレイモードの設定はプレイリストに保存されます。
- 記録メディアが書き込み禁止になっている、または "playlist.txt" が読み取り専用のファイルの場合は、スライドショーの設定 を変更することはできません。

🕃: 選択
実行する・
実行する
#1
#1
Os

プレイリストについて

プレイリストは、表示される画像ファイルとその表示設定を決める、DOS 形式のテキストファイルです。

プレイリストのファイル名は "playlist.txt" です。プレイリストは、PC レス プレゼンテーションを開始したとき、またはスライドショーを 設定したときに選択していた画像ファイルがあるフォルダに自動的に作成されます。

プレイリスト、およびそのファイル名はコンピュータ上で編集することができます。

プレイリストの記述の順番、内容は、以下の通りです。

それぞれの情報は「:」で区切られます。また、各行の最後にも「:」が必要です。2行目以降は、1ファイルにつき1行で記述します。

 1行目
 START * :STOP * :INTERVAL * :MODE * :

 2行目
 [ファイル名]:[表示期間]:[回転設定]:[スキップ]:

 :
 :

START(「スタート」)、STOP(「ストップ」)、INTERVAL(「インターバル」)、MODE(「プレイモード」)、回転設定(「回転」)、 スキップ(「スキップ」)は、画像の設定メニュー (□2-43)、またはサムネイルメニュー (□2-44) で設定できます。

START *	:スライドショーで最初に表示する画像番号を指定します。		
STOP *	:スライドショーで最後に表示する画像番号を指定します。		
INTERVAL *	:スライドショーでの画像1枚あたりの表示期間を、1~999(秒)の範囲で指定します。		
MODE *	:スライドショーの再生モードを指定します。		
	0 = ワンタイム 1 = エンドレス		
[表示期間]	:スライドショーでの表示期間を個別に指定します。		
	0 ~ 999900(ミリ秒) の範囲で、100 ミリ秒単位で指定します。		
[回転設定]	:画像の回転を設定します。		
	rot1 = 時計方向に 90 度回転 rot2 = 180 度回転		
	rot3 = 時計方向に270度回転		

[スキップ] : SKIP を設定すると、スライドショーで表示されません。

(プレイリストの記述例)

START 2: STOP 5: INTERVAL 3: MODE 0:

←時計方向に 90 度回転、スライドショーでは表示されません
←スライドショーで最初に 0.6 秒間表示されます。
←時計方向に 90 度回転、スライドショーでは 0.7 秒間表示されます。
←スライドショーでは表示されません
← 180 度回転、スライドショーで最後に 3 秒間表示され、002.jpg に戻ります。
←スライドショーでは表示されません。

- プレイリストの 1 行に書ける文字数は、改行コードを含めて 255 文字までです。これを超えるとプレイリストは無効になり、 プレイリストのエラーで表示できなくなります。
- プレイリストに登録できる画像ファイルは最大で 999 個です。999 を超える場合は、先頭から 999 個のファイルを登録します。 フォルダ内にフォルダがある場合は、最大ファイル数はフォルダの数の分少なくなります。
- USB メモリが保護されているか、十分な空き容量が無い場合はプレイリストを作成できません。

設定・調節 - 仕様

仕様

仕様は、【基本編】をご参照ください。

プロジェクターソフトウェアのライセンス情報について:

プロジェクターに組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアモジュールで構成され、個々のソフト ウェアモジュールは、それぞれに弊社または第三者の著作権が存在します。

取扱説明書

プロジェクター

MP-JU4001J/MP-JW4001J/MP-JW3501J

(形名:MP-JU4001/MP-JW4001/MP-JW3501)

【ネットワーク編】

本製品のネットワーク機能について説明します。



ご使用の前に、必ず本書を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

もくじ

はじめに	3 - 2
使用上のご注意	3 - 2
ネットワーク機能	3 - 3
ネットワークへの接続	3 - 7
無線 LAN で接続する	3 - 8
有線 LAN で接続する	3 - 12
ネットワークメニュー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3 - 15
Webコントロール	3 - 26
プロジェクター Web コントロール・・・・・	3 - 26
Crestron e-Control [®] ······	3 - 26
ネットワークプレゼンテーション・・	3 - 65
マイ イメージ	3 - 68
メッセンジャー	3 - 69
ネットワークブリッジ ・・・・・・・・・・	3 - 72
その他の機能	3 - 75
ネットワークからのコマンド制御	3 - 82
トラブルシューティング	3 - 86

はじめに

使用上のご注意 <必ずお読みください>



- ●下記の機器、施設の近くでは使用しないでください。 電子レンジ / 産業・科学・医療機器 / 特定小電力無線局 / 構内無線局 電波の干渉により、通信速度が遅くなったり通信できなくなる可能性があります。
- ●お使いになる場所によっては電波の状態が悪くなり、通信速度が遅くなったり通信できなくなることがあります。 特に鉄筋、金属、コンクリートなどは電波を通さないため、ご利用の際はご注意ください。
- ●本機は5 GHz 帯域および 2.4GHz 帯域で使用することができます。
- 5 GHz 帯のチャンネル W52 は屋外で使用することを禁止されています。
- ●本機は、国外に持ち出すとその国の電波法に抵触する恐れがあります。

ネットワーク機能

ネットワーク機能の概要について説明します。

Web コントロール

ネットワークで接続したコンピュータの Web ブラウザを使用して、本機を制御したり、各種設定の確認や変更をすることが出来ます。

" プロジェクター Web コントロール " および "Crestron e-Control" の 2 つのインタフェースを使用できます (□3-26)。

Þ	プロジェクターWebコントロール	C ()
ネットワークインフォメーション		
共通インフォメーション		
プロジェクター名	PRJ_XXXXXXXXXXXXXXXX	
無線LANインフォメーション		
無線ネットワーク	オン	
モード	Simple Access Point	
DHCP		
IPアドレス	192.168.10.1	
サブネットマスク	255.255.255.0	
デフォルトゲートウェイ		
DNSサーバー		
масрбия	XX:XX:XX:XX:XX:XX	
SSID	SimpleAccessPoint	
SSIDプロードキャスト	オン	
暗号方式	<i>オ</i> フ	
無線周波数	2.4 GHz	
パンド幅	20 MHz	
チャンネル	11	
通信速度		
有線LANインフォメーション		
DHCP	オン	
IPアドレス	192.168.1.10	
サプネットマスク	255.255.255.0	
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0	
DNSサーバー	0.0.0.0	
масрбия	XX:XX:XX:XX:XX:XX	



Crestron e-Control

プロジェクター Web コントロール

ネットワークプレゼンテーション

コンピュータの画面や音声をネットワーク経由で本機に転送し、表示または再生することができます。 ネットワークプレゼンテーション機能を使用するには、以下の専用アプリケーションが必要です。

OS	アプリケーション
Windows®	LiveViewer for Windows
Мас	LiveViewer for Mac
Chrome OS [™]	LiveViewer for Chrome
iOS(iPhone/iPad)	Projector Quick Connection
Android [™]	Projector Quick Connection, LiveViewer for Android



マイ イメージ

コンピュータからネットワーク経由で静止画像(マイイメージ)を本機に転送し、表示することができます。 最大4つの画像データを本機に転送、登録することができます。

マイイメージの転送には、コンピュータに専用のアプリケーションをインストールする必要があります。



メッセンジャー

テキストデータをネットワーク経由で本機に転送し、表示させることができます。 本機には最大 12 個のテキストデータを登録することができます。



ネットワークブリッジ

本機は、ネットワークプロトコルとシリアルインタフェースの相互変換を行うネットワークブリッジ機能に対応しています。

ネットワークブリッジ機能を使うと、本機とRS-232C 通信で接続した外部機器を、本機とネットワーク(有線 / 無線 LAN)で接続したコンピュータから、ネットワーク機器と同様に制御することができます。



その他の機能

電子メール機能による自動通知

本機にメンテナンスが必要な場合やエラーが発生したとき、指定したメールアドレスに自動的に警告メッセージを送信させることができます(□3-75,76)。

SNMP によるプロジェクター管理

SNMP (Simple Network Management Protocol) により、本機のエラー / 警告情報をネットワークに 接続されたコンピュータから管理することができます。本機能を使用するには、SNMP マネージャがコンピュータ にインストールされている必要があります(¹¹3-76, 77)。

スケジュール設定

スケジュール機能により電源オン / オフなどのイベントを設定することができ、本機の " 自己管理 " を可能にします。

スケジュールは、プロジェクター Web コントロールまたは本機の「その他」 - 「スケジュール」 メニューで設定することができます(QQ3-78~81)。

ネットワークからのコマンド制御

ネットワーク経由で RS-232C コマンドを使用し、本機を操作、設定することができます(□□3-82~85)。

無線 LAN と有線 LAN の接続方法は以下の通りです。

無線 LAN(USB-WL-5G)(オプション)

項目	説明
標準規格	IEEE802.11a/b/g/n/ac
チャンネル*1	2.4 GHz : 1~11ch
	5 GHz : 36/40/44/48ch (W52)
	149/153/157/161/165ch (W58)
暗号方式*2	WPA2-PSK(AES/TKIP), WPA-PSK(AES/TKIP),
	WEP(64/128bit)
帯域幅	2.4 GHz : 20/40MHz
	5 GHz : 20/40/80MHz

*1: 利用可能なチャンネルは地域によって異なります。

***2:** WEP 方式は INFRASTRUCTURE モードのみです。

有線 LAN

項目	説明
標準規格	100BASE-TX / 10BASE-T
ポート	RJ-45

- ●「設置」メニューの「スタンバイモード」(□2-15)が「低電力」または「ネットワーク(WOL)」に設定されていると、本 機がスタンバイ状態のときにネットワーク機能は使用できません。ネットワークに接続する前に、「スタンバイモード」を「通常」 または「高速起動」に設定してください(□□【応用編】「設置メニュー」)。
- スタンバイモードで無線ネットワークを使用する場合は、「USB スタンバイ給電」を「有効」に設定する必要があります (□□【応用編】「設置メニュー」)。
- コンピュータに無線 LAN 機能が搭載されていても、本機と、一部の無線 LAN モジュールやコンピュータとの間で正常に通 信できない場合があります。通信問題の発生を防ぐために、Wi-Fi[®] 認定の無線 LAN モジュール/アダプターをご使用くだ さい。
- 無線 LAN を使用するときは、別売の無線アダプター(USB-WL-5G)を本機の USB タイプ A 端子に接続してください。 (□□1-23)
- ネットワークをご使用になるには、あらかじめご使用になるネットワーク環境に合わせた設定が必要です。本機をネットワークに 接続する前に、必ずご使用になるネットワークの管理者へご相談ください。 誤った接続や設定はネットワーク障害などの原因 となることがあります。
- ●本製品は電気通信事業者(移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等)の通信回線(公衆無線 LAN を含む)に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルータ等を経由し接続してください。

<u>無線 LAN で接続する</u>

無線 LAN での接続には Simple Access Point 接続と Infrastructure 接続の 2 種類の接続方法があります。



アクセスポイントを使用しない通信 (Simple Access Point)



アクセスポイントを使用する通信(Infrastructure)

- * Simple Access Point モードは、コンピュータと直接接続するモードです。本機は、最大 10 台の機器 に IP アドレスを割り当てることができます。
- * Infrastructure モードは、アクセスポイントを使用して通信する接続モードで、多数の機器を接続する場合に便利です。

〈お知らせ〉

- 無線ネットワーク機能をご使用の場合は、「ネットワーク」メニューの「無線ネットワーク」を「オン」に設定してください。
- ネットワークの設定はプロジェクター Web コントロールの " ネットワーク設定 " からも変更することができます。
- 本機の無線 LAN 設定は、工場出荷時、以下のようになっています。

モード: Simple Access Point IP アドレス: 192.168.10.1 サブネットマスク: 255.255.255.0 SSID: SimpleAccessPoint SSID ブロードキャスト:オン 暗号方式:オフ 無線周波数: 2.4 GHz チャンネル: 11

- 無線 LAN と有線 LAN は同じネットワークアドレスではご使用になれません。
- Simple Access Point モードで使用している場合、接続機器の台数によって、プロジェクターの通信速度が低下することがあります。

無線 LAN の接続設定

Simple Access Point で接続する

Simple Access Point でプロジェクターとコンピュータを接続する場合は、以下の設定を行います。

プロジェクターの設定

- 1) プロジェクターの電源をオンにします。
- 2) リモコンのメニューボタンまたは本機の操作パネルの MENU ボタンを押します。前回使用したメニューが 表示されます。

カーソルボタンで以下を選択してください。

簡単メニュー > 詳細メニュー > ネットワーク > ネットワーク 設定 > 無線 LAN 設定

- 3)「無線 LAN 設定」で以下を設定してください。
 - $\cdot \in$: SIMPLE ACCESS POINT
 - ・IP アドレス
 - · SSID
 - ・SSID ブロードキャスト
 - ・暗号方式

「登録」を選択し、ENTER ボタンを押して設定を反映してください。

ネットワーク設定について

・プロジェクターの IP アドレスの第 4 オクテットは 1 に固定されています。

・プロジェクターのサブネットマスクは 255.255.255.0 に固定され ています。

コンピュータの設定

- 1) プロジェクターの DHCP サーバー機能は常に有効です。コンピュータの DHCP 機能を有効に設定してくだ さい。
- 2) コンピュータの無線接続手順に従い、プロジェクターに設定した SSID を選択します。 暗号の設定をして いる場合は、コンピュータの指示に従い、暗号キーを入力してください。

- コンピュータのネットワーク設定手順および無線接続手順については、コンピュータまたは無線 LAN デバイスのマニュアルを参照してください。
- Simple Access Point モードでの最大接続台数は 10 台です。

•	詳細メニュー		①: 選択
÷¢	映像	🚳 ネットワークインフォメーション	
۲	表示	🐠 無線ネットワーク	
- 🔊	入力	🚭 ネットワーク設定	
- 4	設置	😰 マイ イメージ	
₽		🛃 外部機器接続	
		晃 その他操作	
-	その他		
品	ネットワーク 🕨 🕨		
1	簡単メニュー		
因	終了		
		コンビュータ入力1 1920	I × 1200 @60Hz



<u>Infrastructure で接続する</u>

Infrastructure でプロジェクターをアクセスポイントへ接続する場合は、以下の設定を行います。

プロジェクターの設定

- 1) プロジェクターの電源をオンにします。
- 2) リモコンのメニューボタンまたは本機の操作パネルの MENU ボタンを押します。前回使用したメニューが 表示されます。

カーソルボタンで以下を選択してください。

簡単メニュー > 詳細メニュー > ネットワーク > ネットワーク設定 > 無線 LAN 設定

- 3) 「無線 LAN 設定」で以下を設定してください。
 - $\cdot \in$: INFRASTRUCTURE
 - \cdot DHCP
 - ・IP アドレス
 - ・サブネットマスク
 - ・デフォルトゲートウェイ
 - ・DNS サーバー
 - · SSID
 - ・暗号方式

IP アドレスの設定に関しては、"IP アドレスについて"(□3-13)をご覧ください。

「登録」を選択し、ENTER ボタンを押して設定を反映してください。

	詳細メニュー		(): 選択
* ⊕ ● ↓ ↓ □ ⊕ ₩ ■	映像 表示 入力 設置 オーディオ スクリーン その他 本 <u>ネットワーク</u> セキュリティ 簡単メニュー	 ▲ ネットワークインフォメーション ● 無意2/トワーク ▲ ネットワーク設定 空 マイイメージ 雪 外部機器接続 氧 その他操作 	
困	終了	 コンピュータ入力1 192() × 1200 @60Hz

♥。無線LAN設定		Ø
SSID検索リスト		
	INFRASTRUCTURE	•
🍓 DHCP	オフ	
🕋 IP アドレス	192. 168. 10. 254	
👷 サブネット マスク	255. 255. 255. 0	
😰 デフォルト ゲートウエイ	0. 0. 0. 0	
👫 DNS サーバー	0. 0. 0. 0	
👷 SSID	wireless	
😺 SSID ブロードキャスト		
😫 暗号方式		
🎽 登録		

SSID 検索リストから接続する

無線 LAN 設定で SSID および暗号方式を設定しなくても、SSID 検索リストから選択して接続を行うことが できます。SSID 検索リストからの接続手順は以下の通りです。

- 1) 「ネットワーク」 メニューの「ネットワーク設定」 「無線 LAN 設定」 で SSID 検索リストを選択します。 無線ネットワークの SSID が一覧表示されます。
- 2) SSID 検索リスト画面で接続する無線ネットワークの SSID を選択します。暗号設定されている場合は、 暗号キー入力画面が表示されますので、ソフトウェアキーボードを使用して、暗号キーを入力します。

3) 接続が完了すると、SSID 検索リスト画面に接続状態を示すアイコン (🔟) が表示されます。

- アクセスポイントの設定によっては通信速度が遅くなる場合があります。
- 本機とコンピュータを同じネットワークに接続する場合(ネットワークアドレスが同じ場合)は、デフォルトゲートウェイを設定す る必要はありませんので、空白のままにしてください。
- ●本機とコンピュータが異なるネットワーク上にある場合は、デフォルトゲートウェイを設定する必要があります。詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 既存のネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従い、プロジェクターの無線 LAN 設定を行ってください。
- WEP 暗号化にはオープンシステム認証を使用しており、共有キー認証には対応しておりません。オープンシステム認証を使用するため、不正な暗号キーを入力した場合でもアクセスポイントとの認証は成功し、接続が正常に行われたと判断しますが、 実際にはデータの送信は行えません。
- DHCP が無効の場合、あらかじめ IP アドレス, サブネットマスク および デフォルトゲートウェイ を設定してください。
- DHCP OFF 時の DNS サーバーが「0.0.0.0」以外に設定されていると、DHCP が ON に設定されていて、DHCP サー バーから DNS サーバーアドレスを自動で取得できたとしても、DHCP OFF 時のユーザー設定を DNS サーバーアドレスとして 使用します。

<u>有線 LAN で接続する</u>

本機を既存のネットワークに接続する時は、ネットワーク管理者に確認の上、プロジェクターの有線 LAN の設定を行ってください。



有線 LAN の接続設定

- 1) LAN ケーブル(CAT-5e 以上)を使用し、ハブを介して本 機とコンピュータを接続します。
- 2) リモコンのメニューボタンまたは本機の操作パネルの MENU ボタンを押します。

前回使用したメニューが表示されます。カーソルボタンで以下 を選択してください。

簡単メニュー > 詳細メニュー > ネットワーク > ネットワーク 設定 > 有線 LAN 設定

- 3) 「有線 LAN 設定」 で以下を設定してください。
 - · DHCP
 - ・IP アドレス
 - ・サブネットマスク
 - ・デフォルトゲートウェイ
 - ・DNS サーバー

IP アドレスの設定に関しては、"IP アドレスについて"(□3-13)をご覧ください。

「登録」を選択し、ENTER ボタンを押して設定を反映してください。



DHCP	オン	
😰 IP アドレス	192. 168. 1. 254	
👷 サブネット マスク		
Ҏ デフォルト ゲートウエイ		
🗜 DNS サーバー		

[IP アドレスについて]

■手動設定

コンピュータに設定する IP アドレスのネットワーク部分、およびサブネットマスクは、本機と同じとなるようにしてください。ただし、コンピュータの IP アドレス全体が、本機を含む他のネットワーク機器と同じになるようには設定しないでください。

例)本機の有線 LAN 設定が次のようになっている場合。
IP アドレス: <u>192.168.1.</u>254
サブネットマスク: 255.255.255.0
このときのネットワークアドレスは、IP アドレスの下線部分、「192.168.1」です。
従って、以下のようにコンピュータの IP アドレスを設定します。
IP アドレス: 192.168.1.xxx (xxx の部分は 10 進数)
サブネットマスク: 255.255.255.0

IP アドレスの "xxx" 部分には、本機を含め、他のネットワーク機器と重複しない 1 ~ 254 の数値(10 進数)を指定します。例の場合、プロジェクターの IP アドレスが 192.168.1.254 に設定されているので、 コンピュータには 1 ~ 253 の間の数値を設定します。

■自動設定

接続しているネットワーク内に DHCP サーバーが存在する場合は、コンピュータとプロジェクターに、 IP アドレスを自動的に割り当てることができます。 DHCP サーバーが存在しない場合は、 IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、 DNS サーバーを設定してください。

- 工場出荷時は有線 LAN の DHCP 設定が ON に設定されています。 IP アドレスをネットワークから自動で取得しない場合 は、有線ネットワークの DHCP 設定を OFF に設定し、ネットワーク管理者に確認のうえ、 IP アドレス、サブネットマスク、デフォ ルトゲートウェイを手動で設定してください。
- 無線 LAN と有線 LAN は同じネットワークアドレスではご使用になれません。
- 本機とコンピュータを同じネットワークに接続する場合(ネットワークアドレスが同じ場合)は、デフォルトゲートウェイを設定す る必要はありませんので、空白のままにしてください。
- ●本機とコンピュータが異なるネットワーク上にある場合は、デフォルトゲートウェイを設定する必要があります。詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- DHCP OFF 時の DNS サーバーが「0.0.0.0」以外に設定されていると、DHCP が ON に設定されていて、DHCP サーバーから DNS サーバーアドレスを自動で取得できたとしても、DHCP OFF 時のユーザー設定を DNS サーバーアドレスとして 使用します。

<u>アプリケーション</u>

各種アプリケーションソフトの最新版は、弊社のホームページ(□□4-44)より、ダウンロードしてご利用ください。

iOS/Android™ 用のネットワークプレゼンテーションソフト Projector Quick Connection の詳細およびダウンロード先については、弊社のホームページ(□□4-44)をご参照ください。

[アプリケーション動作環境]

アプリケーション名	動作環境
LiveViewer	詳細はアプリケーションのマニュアルを参照してください。
Projector Quick Connection	
Projector Image Tool (PJImg)	
Projector Messenger Tool (PJMessenger)	
ネットワークメニュー

誤った接続や設定はネットワーク障害などの原因になることがあり ます。本機をネットワーク内の既存のアクセスポイントに接続する 前に、必ずご使用になるネットワークの管理者へご相談ください。 「ネットワーク」メニューでは、ネットワーク機能に関する下表の項 目を操作することができます。

〈お知らせ〉

- 本機は、無線 LAN と有線 LAN で同じネットワークに接続することは できません。
- ご利用のネットワークが SNTP に非対応の場合は、日時を設定する必要があります(□□3-47)。
- ●「設置」メニューの「スタンバイモード」(□□2-15)が「低電力」または「ネットワーク(WOL)」に設定されていると、本 機がスタンバイ状態のときネットワークの通信はできません。スタンバイモードを「通常」または「高速起動」に設定してから 本機をネットワークに接続してください(□□【応用編】「設置メニュー」)。
- 無線ネットワーク機能をご使用の場合は、「ネットワーク」メニューの「無線ネットワーク」を「オン」に設定してください。
- スタンバイモードで無線ネットワークを使用する場合は、「USB スタンバイ給電」を「有効」に設定する必要があります (□□【応用編】「設置メニュー」)。



項目	説明
ネットワーク インフォメーション	以下の情報が表示されます。 ・ 無線 LAN インフォメーション ・ 有線 LAN インフォメーション ・ その他インフォメーション (お知らせ) ●「DHCP」(ロ3-22)を「オン」に設定しているのに、本機が DHCP サーバーからアドレスを 取得できていない場合、「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」は、それ ぞれ "0.0.0.0" と表示されます。
無線 ネットワーク	無線ネットワーク機能のオン / オフの設定を行います。 オン ⇔ オフ



項目		説明
ネットワーク 設定 / 無線 LAN (つづき)	SSID 検索 リスト (つづき)	 (2) 接続したい SSID を選択し、カーソルボタントか ENTER ボタンを押します。暗号設定されている場合、暗号キー入力画面が表示されます。ソフトウェアキーボードを使用して、文字を入力してください。 入力が終わりましたら、OK にカーソルを合わせて、カーソルボタントもしくは ENTER もしくは入力切替ボタンを押してください。 ※ ¹¹ ¹¹ ¹¹ ¹¹ ¹¹ ¹¹ ¹¹ ¹¹

項日		説 明	
項 日 ネットワーク 設線 LAN 設定 (つづき)	SSID 検索 リスト (つづき)	 説明 (3) 接続処理中は以下のOSDが表示されます。 返付● 接続処理中は、リセットボタン以外のキー操作を行うことができません。 	

項目		説明	
		SIMPLE ACCESS POINTとINFRASTRUCTUREの切り替えを行います。 ご利用の接続構成に合わせてネットワーク通信方式を選択してください。	
		SIMPLE ACCESS POINT ⇔ INFRASTRUCTURE	
	モード	 (お知らせ) ● [登録]を選択せずにモードの選択を切り替えると、直前までに変更した設定はキャンセルされます。 ● モードを切り替えた場合、無線 LAN が使用できるまでに約 60 秒かかります。その間、動作速度が低下しネットワークインフォメーションが正しく表示されないことがあります。 	
ネットワー	DHCP	IP アドレスを自動で取得するかどうかの設定を行います。 カーソルボタン ▲ / ▼ で、DHCP のオン / オフを選択してください。 オン ⇔ オフ SIMPLE ACCESS POINT モードの場合、本機能は使用できません。	
ク設定 / - 無線 LAN 設定 (つづき)	IP アドレス	[SIMPLE ACCESS POINT] (叫3-9)を参照してください。	
		[INFRASTRUCTURE] DHCP が無効の場合、IP アドレスを設定します。	
	サブネット マスク	[SIMPLE ACCESS POINT] 本設定は、255.255.255.0 で固定です。	
		[INFRASTRUCTURE] DHCP が無効の場合、サブネットマスクを設定します。	
	デフォルト ゲートウェイ	DHCP が無効の場合、デフォルトゲートウェイを設定します。 SIMPLE ACCESS POINT モードの場合、本機能は使用できません。	
	DNS サーバー	DHCP が無効の場合、DNS サーバーのアドレスを設定します。 SIMPLE ACCESS POINT モードの場合、本機能は使用できません。	

項目		説明		
	SSID	SSID の設定を行います。 ソフトウェアキーボードを使用して SSID を入力します。ソフトウェアキーボー ドの使い方は、「プロジェクター名」(叫3-23)の項目をご参照ください。		
	SSID ブロードキャスト	SSID ブロードキャストの設定を行います。 コンピュータなどでプロジェクターの SSID を無線接続リストに表示しないよう にする場合は、本設定をオフにしてください。 INFRASTRUCTURE モードの場合、本機能は使用できません。		
ネットワー ク設定 / 無線 LAN 設定 (つづき)	暗号方式	使用する暗号方式を選択してください。 WPA2-PSK(AES) ⇔ WPA2-PSK(TKIP)		

項目		説明
	有線ネットワー 設定変更後は 登録を実行した 反映されません (お知らせ) ● 登録を実 ● 設定を変	クの設定を行います。 登録を実行してください。 ないと入力した設定値が い。 ぞうする前にメニューが消えると、入力した設定値は反映されません。 デーリた場合は、必ず登録を実行してください。
ネットワー ク設定 / 有線 LAN	DHCP	IP アドレスを自動で取得するかどうかの設定を行います。 オン ⇔ オフ
設定	IP アドレス	DHCP が無効の場合、IP アドレスを設定します。
	サブネット マスク	DHCP が無効の場合、サブネットマスクを設定します。
	デフォルト ゲートウェイ	DHCP が無効の場合、デフォルトゲートウェイを設定します。
	DNS サーバー	DHCP が無効の場合、DNS サーバーのアドレスを設定します。

項目		説明		
ネットワーク 設定 / SNTP セットアップ	SNTP サーバー	ネットワーク経由で時刻を取得する場合、SNTP サーバーを IP アドレスかドメ イン名で指定します。ドメイン名は 255 文字まで入力可能です。 入力はソフトウェアキーボードを用いて行います。ソフトウェアキーボードの使 い方は、プロジェクター名(23-23)の項目をご参照ください。		
	時差	時差の設定を行います。 ご利用のコンピュータと同じ時差を設定してください。コンピュータの設定が不 明な場合はネットワーク管理者にお尋ねください。 設定後にカーソルボタン▶でメニューに戻ります。		
ネットワーク 設定 / プロジェクター 名	プロジェクトでは、「「「「「」」」」。 プロジェクトでは、「「「」」」。 プロジェクトでは、「「」」。 「「」」」。 「「」」」。 「「」」」。 「「」」」。 「「」」」。 「「」」」。 「「」」」。 「「」」」。 「「」」」。 「「」」」。 「「」」」。 「「」」」。 「「」」」。 「「」」」。 「「」」」。 「「」」。 「「」」。 「「」」。 「「」」。 「」)。 「」、 「」)。 「」、 「」)。 「」)。 「」)。 「」)。 「」)。 「」、 「」)。 「」)。 「」)。 「」)。 「」)。 「」、 「」)。 「」)。 「」、 「」)。 「」。 「」)。 「」)。 「」。 「」)。 「」)。 「」)。 「」)。 「」)。 「」)。 「 「」)。 「」)。 「 「」)。 「 「」。 「」)。 「 「」)。 「 「」)。 「 「 「 「」。 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	-に任意の名前を設定することで、ネットワーク上のプロジェクターを識別するこ。 (-CPP-A] を選択し、カーソルボタント ます。「プロジェクターA」画面が表示さ。 $(-2PP-A & A) 力するためには、表示さ (-2PP-A & A) 力するためには、表示さ (-2PP-A & A) 力 = A & A & A & A & A & A & A & A & A & A$		

項目		説明	
マイ イメージ	マイイメージメニューを表示します。 画像データの転送には、ホームページからダウン ロードしたアプリケーションを使用してください。 マイイメージについての詳細は、マイイメージ (Q 3-68)をご参照ください。 表示したい画像データを選択し、カーソルボタン トまたは ENTER ボタンを押すと、画像を表示 できます。 ・静止画像が登録されていない項目は選択できません。 ・表示できる画像ファイル名は半角で 16 文字以内です。 マイイメージの切り替え カーソルボタン $ / \nabla$ を使用してください。 メニューに戻る リモコンのカーソルボタン $ < $ を押してください。 マイイメージの削除 (1)画像表示中にリセットボタンを押すと、マイイメージ消去確認ダイアログが表示されま す。 (2)カーソルボタン $ > $ を押すと、削除できます。 削除したくない場合は、カーソルボタン $ < $ を押してください。		
外部機器 接続	AMX D.D. (AMX Device Discovery)	カーソルボタン▲ / ▼で、AMX デバイスディスカバリーのオン / オフを切り 替えます。 オン ⇔ オフ オンに設定すると、同じネットワークに接続した AMX コントローラで本機 を検出することができるようになります。AMX デバイスディスカバリーにつ いての詳細は、以下の AMX ホームページをご覧ください。 URL: <u>http://www.amx.com/</u> カーソルボタン▲ / ▼で、Crestron Connected®のオン / オフを切り替 えます。 オン ⇔ オフ オンに設定すると、同じネットワークに接続した Crestron 機器を使	
	CRESTRON	オンに設定すると、同じネットワークに接続した Crestron 機器を使用してプロジェクターの管理、制御を行うことができるようになります。 Crestron Connected [®] についての詳細は、以下のホームページをご覧ください。 URL: <u>http://www.crestron.com/</u>	

項目	説 明	
	ネットワークス	プレゼンテーションを使用するには、専用アプリケーションが必要です。
	ネットワークス 67)をご参	プレゼンテーションについての詳細は、ネットワークプレゼンテーション(叫3-65 ~ ·照ください。
	プレゼンター モード解除	本機をプレゼンターモードで使用しているコンピュータがある場合、他のコンピュー タから本機へのアクセスはブロックされます。 本機能を使用すると、プレゼンターモードを解除し、他のコンピュータからアクセ スできるようにします。 本項目を選択するとダイアログが表示されます。 カーソルボタン▶で「OK」を選択すると、プレゼンターモードを解除し、メッセー ジを表示します。
その他操作	マルチ PC モード	1 台以上のコンピュータをマルチ PC モードに設定し、本機に画像を送信する 場合、以下の 2 通りの表示モードを選択することができます。 - シングル PC モード:選択したコンピュータからの映像をフルスクリーンで表示します。 - マルチ PC モード:最大 4 台のコンピュータからの映像を、4 分割した画面 に表示します。 本項目を選択するとダイアログが表示されます。 以下の説明に従い、ダイアログで表示モードを切り替えてください。 • マルチ PC モードからシングル PC モードに切り替えるには、カーソルボタン▲ /▼/ ◀ / ▶ で 1 台のコンピュータを選択し、ENTER ボタンまたは入力切 替ボタンを押します。 カーソルボタン▶で「OK」を選択し、再度 ENTER ボタンまたは入力切替 ボタンを押します。選択されたコンピュータの映像がフルスクリーンで表示され ます。 • シングル PC モードからマルチ PC モードに切り替えるには、カーソルボタン で「OK」を選択し、ENTER ボタンまたは入力切替 ボタンを押します。選択されたコンピュータの映像がフルスクリーンで表示され ます。 • 表示モードが切り替わります。 • 表示モードをシングル PC モードに変更する と、選択されたコンピュータでのプレゼンター モード設定が有効になります。また、表示 モードがマルチ PC モードに変更されると、コ ンピュータでの設定にかかわりなくプレゼンター モード設定は無効になります。
	ユーザー名 表示	本項目を選択するとユーザー名を表示します。 この機能により、現在の画像 がどのコンピュータのものか判別できます。

Web コントロール

同じネットワークに接続したコンピュータから、Web ブラウザを使用して本機の設定または制御を行うことができます。

■プロジェクター Web コントロール プロジェクター Web コントロール画面では、 プロジェクターの制御、入力選択状態などの状態取得、 Eメール、スケジュールなどの設定を行うことができます。

推奨ブラウザ

- Internet Explorer[®] 11
- Microsoft[®] Edge

ブラウザの古いバージョンでは表示できません。最新バージョンを使用してください。

〈お知らせ〉

- 推奨ブラウザ以外の Web ブラウザをご使用の場合、正しく動作しないことがあります。
- Web ブラウザの設定で、JavaScript[®]を有効にしてください。 JavaScript[®]が無効になっていると、Web コントロールの画面が 正しく表示されないことがあります。JavaScript[®]を有効にする 方法については、Web ブラウザのヘルプをご覧ください。
- Web ブラウザの更新プログラムは、すべて適用してください。
- 無線 LAN と有線 LAN から同時にデータが送信された場合、 本機でデータを正常に処理できない場合があります。

			_
Cr	estron	e-Control [®]	R)

Crestron e-Control[®] は、Crestron 社の提供する Web ブラウザを使用した制御インタフェースです。

Crestron e-Control[®] を使用して、プロジェクターの制御、 監視を行うことができます。

b :	ブロジェクターWebコントロール C 💿
ネットワークインフォメーション	
共通インフォメーション	
プロジェクター名	PR1_XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
無線LANインフォメーション	
無線ネットワーク	オン
モード	Simple Access Point
DHCP	
IPアドレス	192.168.10.1
サブネットマスク	255.255.255.0
テフォルトゲートウェイ	
DNSサーバー	
MACアドレス	XXXXXXXXXXX
SSID	SimpleAccessPoint
SSIDフロードキャスト	A2
暗号方式	7)
無線内波数	Z.4 GHZ
パンド幅	20 MHz
ナヤンイル	11
101232502	
有線LANインフォメーション	
DHCP	<i>х</i> >
IPアドレス	192.168.1.10
サプネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
DNSサーバー	0.0.0.0
MACアドレス	XXXXXXXXXXXXX



〈お知らせ〉

- Crestron e-Control[®] は、Flash[®] を使用して作成されています。Crestron e-Control[®] を使用するには、ご使用の コンピュータに Adobe[®] Flash[®] Player をインストールしてください。 Flash[®] に対応していないブラウザでは表示されません。
- 以下のいずれかの場合、Crestron e-Control[®] は使用できません。
- プロジェクター Web コントロールの「ネットワーク設定」-「その他の設定」-「Crestron e-Control」(□3-37)が無効 に設定されている。
- プロジェクター Web コントロールの「ネットワーク設定」-「共通設定」-「Crestron」(43-32)が「オフ」に設定されている。
- ネットワークメニューの「外部機器接続」-「CRESTRON」(□□3-24)が「オフ」に設定されている。

Web ブラウザより接続する

- 1) 機器の Web ブラウザを起動してください。
- 2) 以下の例のように、プロジェクターの IP アドレスを Web ブラウザの URL バーに入力し、ENTER キーを 押してください。
- 例) 本機の IP アドレスが "192.168.1.10" の場合 Web ブラウザの URL 入力ボックスに

http://192.168.1.10/

を入力し、ENTER キーを押してください。

3) 正しい URL が入力され、本機とコンピュータが同じネットワークに接続されている場合、選択画面が表示 されます。



〈お知らせ〉

- 本機のメニュー、リモコンと、Web コントロールは同時に使用しないでください。同時に使用すると誤動作するおそれがあります。
- プロジェクター Web コントロールは、本機に設定された OSD の表示言語と同じ言語で表示されます。プロジェクター Web コントロール画面の表示言語を変更するには、本機の「簡単メニュー」(□2-4)または「スクリーン」メニューの「表示言語」 (□2-19)を変更するか、Web コントロールの「プロジェクター制御」(□3-53)で、[表示言語]を変更してください。

<u> プロジェクター Web コントロール</u>

ログイン

本機を購入後、はじめてプロジェクター Web コントロールをご使用になる場合、ユーザーアカウントの設定画面が表示されます。

プロジェクター Web コントロールにログインするためのユーザー名と パスワードを設定してください。

設定を変更し、[適用]ボタンをクリックした後、[ネットワークリスタート] ボタンをクリックすると、変更した設定をプロジェクターに反映します。

ユーザー名とパスワードは、忘れないように大切に管理してください。

ユーザー名	
パスワード	

ユーザー名	Administrator	
パスワード		
パスワード再入力		
ネットワークリスタート	SESSION STO SSAP PRODUCED	

〈お知らせ〉

● 2回目以降のご使用では、ユーザーアカウントの設定画面は表示されません。ユーザー名またはパスワードを変更したい場合は、「セキュリティ設定」 – 「ユーザーアカウント」の画面で行ってください。

設定が完了すると、ログイン画面が表示されます。

ユーザ名とパスワードを入力し、[OK]をクリックしてください。 ログインが成功すると、下図の画面が表示されます。

ד די די	コジェクターWebコントロール C 💿
ネットワークインフォメーション	
共通インフォメーション	
プロジェクター名	PRJ_XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
無線LANインフォメーション	
無線ネットワーク	わ
€−ド	Simple Access Point
DHCP	
IPアドレス	192.168.10.1
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	
DNSサーバー	
MACアドレス	XX:XX:XX:XX:XX
SSID	SimpleAccessPoint
SSIDプロードキャスト	<i>t</i> >
暗号方式	77
無線周波数	2.4 GHz
パンド幅	20 MHz
チャンネル	11
通信速度	
有線LANインフォメーション	
DHCP	オン
IPアドレス	192.168.1.10
サプネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
DNSサーバー	0.0.0.0
MACアドレス	XXXXXXXXXXXXXXXXX

Windows セキュリティ	×		
Microsoft Edge			
サーバー 192.168.1.10 がユーザー名とパスワードを要求しています。サー バーの報告によると、これは Web control からの要求です。			
ユーザー名			
パスワード			
ОК	キャンセル		

ログイン画面

メインメニューとオプションメニューについて説明します。
 画面上部のヘッダーエリアでは、以下の操作が可能です。

項目	説明
(-ב=צ)	メインメニューを表示します。 メイン画面の項目をクリックすると詳細画面が表示されます。 メインメニューは、閉じるボタンまたはメインメニューの外側の領域をクリックして閉じる ことができます。
2 (再読み込み)	画面を更新します。
(オプション)	オプションメニューを開閉します。 コンピュータ画面またはモバイル画面は、オプションメニューで選択できます。





目的の操作または設定項目をクリックしてください。

ネットワークインフォメーション

本機のネットワーク設定情報を表示します。

	コジェクターWebコントロール 📿 🛞
ネットワークインフォメーション	
共通インフォメーション	
プロジェクター名	PRJ_XXXXXXXXXX
無線LANインフォメーション	
無線ネットワーク	オン
τ−ド	Simple Access Point
DHCP	
IPアドレス	192.168.10.1
サプネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	
DNSサーバー	
MACアドレス	XX:XX:XX:XX:XX
SSID	SimpleAccessPoint
SSIDプロードキャスト	オン
暗号方式	オフ
無線周波数	2.4 GHz
パンド幅	20 MHz
チャンネル	11
通信速度	
有線LANインフォメーション	
DHCP	オン
IPアドレス	192.168.1.10
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	0.0.0
DNSサーバー	0.0.0.0
ΜΑርアドレス	XXXXXXXXXXXXXX

ネットワーク設定

共通設定

無線 LAN と有線 LAN で共通の機能の設定を行います。

	プロジェクターWebコントロール	C ©
共通設定		
無線ネットワーク	オン ~	
プロジェクター名	PRJ_XXXXXXXXXXXXXXX	
sysLocation (SNMP)		
sysContact (SNMP)		
AMX D. D.	~ てた	
Crestron	オン 〜	
イットリーク設定の変更を週用するには、	週用ボダンをクリックし、ネットリークリスタートを実行してくたさい。	
ネットワークリスタート		

設定を変更し、[適用]ボタンをクリックした後、[ネットワークリスタート]ボタンをクリックすると、変更した設定をプロジェクターに反映します。

〈お知らせ〉

- 本機を既存のネットワークに接続する場合は、サーバーのアドレスを設定する前にネットワーク管理者にご相談ください。
- 本機は、無線 LAN と有線 LAN で同じネットワークに接続することはできません。無線 LAN と有線 LAN に同じネットワークアドレスを設定しないでください。

項目	説明
無線ネットワーク	本機の無線ネットワーク機能のオン / オフの設定を行います。
プロジェクター名 *1	プロジェクター名を設定します。
sysLocation (SNMP)*2	SNMP 使用時に参照する設置場所情報を入力します。
sysContact (SNMP)*2	SNMP 使用時に参照する連絡先情報を入力します。
AMX D.D. (AMX Device Discovery)*3	AMX デバイスディスカバリーの ON/OFF の設定を行います。この項目をオンに設定 すると、同じネットワークに接続した AMX 機器で、本機を検出し操作することができ るようになります。
Crestron*4	Crestron [®] 機能 のオン / オフの設定を行います。この項目をオンに設定すると、同 じネットワークに接続した Crestron [®] コントローラで、本機を操作することができるよう になります。

- *1 最大 64 文字まで設定できます。使用できるのは、英数字、スペース、および以下の記号のみで、全て半角で入力してください。!"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[¥]^_`{|}~
- *2 半角英数字で 255 文字まで入力できます。英数字 "0 ~ 9"、"a z" および "A Z" のみ使用できます。
- *3 AMX デバイスディスカバリーについての詳細は、以下のホームページをご覧ください。 URL: <u>http://www.amx.com</u>
- *4 Crestron についての詳細は、「Crestron Connected®」(Q3-85)をご覧ください。

無線 LAN 設定

本機の無線 LAN 設定を行います。

	ブロジェクターWebコントロール 📿 💿		
無線LAN設定			
τ−۶	Simple Access Point -		
暗号ロック	× C		
Simple Access Point設定			
IP設定	IPアドレス 192 - 168 - 10 - 1 サプネットマスク 255.255.0		
SSID	SimpleAccessPoint		
SSIDプロードキャスト	、		
暗号方式	× 74		
WPAバスフレーズ			
無線周波数	2.4 GHz 👻		
パンド幅	20 MHz V		
チャンネル	11 *		
Infrastructure設定			
IP設定	○ dhcpオ>		
	● DHCPオフ		
	IPアドレス 192.168.10.254		
	サブネットマスク 255.255.0 デフォルトゲートウェイ 0.0.0.0		
	DN59-//- 0.0.0.0		
SSID	wireless		
暗号方式	77 ×		
WEP+-			
WPAバスフレーズ			
適用			
ネットワーク設定の変更を適用するには、適用ホタンをクリックし、ネットワークリスタートを実行してください。 ネットワークリスタート			
	•		

設定を変更し、[適用]ボタンをクリックした後、[ネットワークリスタート]ボタンをクリックすると、変更した設定をプロジェクターに反映します。

項目	説明		
モード	"Simple Access Point" もしくは "Infrastructure" を選択します。		
暗号ロック	暗号ロックのオン / オフを切り替えます。 暗号ロックをオンに設定した場合、プロジェクター本体のメニューでこれらの設定は 変更できません。 モード /SSID/SSID ブロードキャスト / 暗号方式 / 暗号キー(WEP キー、 WPA パスフレーズ)		

1.Simple Access Point 設定

項目	説明		
TD 設定	Simple Access Point モードでの本機の IP アドレスを設定します。		
	本モードでのサブネットマスクは 255.255.255.0 に固定されています。		
SSID*1	Simple Access Point モードでの SSID を設定します。		
SCID	SSID ブロードキャストのオン / オフを切り替えます。		
ブロードキャスト	この項目をオフに設定すると、コンピュータなどでプロジェクターの SSID が無線接続リストに表示されません。		
暗号方式	暗号方式を選択します。		
WPA パスフレーズ *2	WPA パスフレーズを設定します。		
無線周波数	無線接続に使用する周波数を設定します。		
	無線の通信に使用する周波数帯域幅を設定します。リンク速度を上げたい場合は、 40MHz または 80MHz に設定を変更してください。		
バンド幅	〈お知らせ〉		
	 ● 接続環境によっては、設定したバンド幅で動作しない場合や、リンク速度が上がらない場合が あります。 		
	無線チャンネルを選択します。		
	使用できるチャンネルは無線周波数帯により異なります。		
チャンネル	〈お知らせ〉		
	● 本機は 5 GHz および 2.4 GHz の無線周波数帯を使用していますが、お住まいの国または 地域によっては使用できるチャンネルが制限される場合があります。使用可能なチャンネルにつ いては、販売店にお問い合わせください。		

1 SSID は最大 32 文字まで設定できます。英数字、スペース、および以下の記号のみ使用できます。 全て半角で入力してください。!"#\$%&'()+,-./:;<=>?@[¥]^_`{|}~

2 8 文字以上、63 文字以下の間で設定することができます。英数字、スペース、および以下の記号の み使用できます。全て半角で入力してください。!"#\$%&'()+,-./:;<=>?@ [¥]^_`{|}~

2.Infrastructure 設定

項目	説明		
IP 設定	Infrastructure モードでの本機のネットワーク設定を行います。 [DHCP オン] DHCP を有効にします。 [DHCP オフ] DHCP を無効にします。 本機の IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイおよび DNS サーバー を設定します。		
SSID*1	Infrastructure モードでの SSID を設定します。		
暗号方式	暗号方式を選択します。		
WEP ‡-	WEP キーを設定します。 WEP キーには、ASCII 文字、または 16 進数を使用できます。ただし、ASCII 文字と 16 進数を組み合わせて使用することはできません。 暗号方式 ASCII 文字 16 進数 WEP 64bit 5 文字 10 文字 WEP 128bit 13 文字		
WPA パスフレーズ *2	WPA パスフレーズを設定します。		

- *1 SSID は最大 32 文字まで設定できます。英数字、スペース、および以下の記号のみ使用できます。 全て半角で入力してください。!"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[¥]^_`{|}~
- *2 8 文字以上、63 文字以下の間で設定することができます。英数字、スペース、および以下の記号の み使用できます。全て半角で入力してください。 !"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@ [¥]^_` {|}~

〈お知らせ〉

- 暗号ロックがオンの時は、現在の設定を変更せずに接続できる時に限り、無線接続が行われます。
- お住まいの国または地域によっては使用できるチャンネルが制限される場合があります。また、規格によってはご利用のコンピュータに、別途ワイヤレスネットワークカードが必要になる場合があります。
- 本機を既存のネットワークに接続する場合は、サーバーのアドレスを設定する前にネットワーク管理者にご相談ください。
- 本機は、無線 LAN と有線 LAN で同じネットワークに接続することはできません。 無線 LAN と有線 LAN に同じネットワー クアドレスを設定しないでください。

有線 LAN 設定

本機の有線 LAN 設定を行います。.

	プロジェクターWebコントロール		C (0)
有線LAN設定			
IP設定	●DHCPオン		
	○рнср≯⊃		
	IPアドレス	192.168.1.254	
	サブネットマスク	255.255.255.0	
	デフォルトゲートウェイ	0.0.0	
	DNSサーバー	0.0.0	
適用			
ネットワーク設定の変更を適用す	るには、適用ボタンをクリックし、ネットワークリン	スタートを実行してください。	
ネットワークリスター	- 5		

設定を変更し、[適用]ボタンをクリックした後、[ネットワークリスタート]ボタンをクリックすると、変更した設定をプロジェクターに反映します。

項目	説 明
IP 設定	ネットワーク設定を行います。 [DHCP オン] DHCP を有効にします。 [DHCP オフ] DHCP を無効にします。 本機の IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイおよび DNS サーバー を設定します。

その他の設定

その他の設定を行います。

	プロジェクターWebコントロール	C ©
その他の設定		
Crestron e-Control	「有効 マ User Password : □ 初開化 Admin Password: □ 初開化	
適用		

設定を保存するには[適用]ボタンをクリックしてください。

項目	説明	
Crestron e-Control*1	 Crestron e-Control[®]の有効 / 無効を設定します。 Crestron e-Control の User Password または Admin Password の設 を初期化する場合、初期化チェックボックスを有効にしてください。 	

*1 Crestron についての詳細は、「Crestron e-Control[®]」(皿3-58) をご覧ください。

ポート設定

通信ポートの設定を行います。

Þ	プロジェクターWebコントロール	C ©	
ポート設定			
ネットワーク制御ボート1 (ボート:23)			
ポートオープン	☑ 有効		
認証	口有効		
ネットワーク制御ボート2 (ボート:9715	;)		
ボートオープン	7 有30		
認証	☑ 133		
PJLinkボート (ボート:4352)			
ポートオープン	☑ 有効		
認証	✓ 有効		
通知アドレス			
マイ イメージボート (ボート:9716)			
ボートオープン	☑ 有効		
認証	☑ 有効		
メッセンジャーポート (ポート:9719)			
#	17 Ann		
ホートオーシン	☑ 有効		
SNMPボート			
ポートオープン	☑ 有効		
トラップアドレス			
MIBファイルのダウンロード			
ネットワークプリッジボート			
ボート番号	9717		
資用			
ボート設定の変更を適用するには、適用ホタンをクリックし、ネットワークリスタートを実行してください。			
ネットワークリスタート			

設定を変更し、[適用]ボタンをクリックした後、[ネットワークリスタート]ボタンをクリックすると、変更した設定をプロジェクターに反映します。

項目	説明
ポートオープン	ポートオープンの有効/無効を設定します。 使用しない機能のポートを無効に設定すると、不正な使用者からのアクセスを防 止することができます。
認証	認証の有効/無効を設定します。
通知アドレス *1	PJLink™の状態通知の宛先を設定します。
	IP アドレスだけでなくドメイン名もお使いいただけます。
 トラッププドレフ *1	SNMP トラップの宛先を設定します。
	IP アドレスだけでなくドメイン名もお使いいただけます。
MIB ファイルの	SNMP 用の MIB ファイルを本機からダウンロードします。
ダウンロード	
ポート番号	ネットワークブリッジポートの番号を設定します。

*1 半角英数字で 255 文字まで入力できます。英数字 "0 ~ 9"、"a - z"、"A - Z"、"-" および "." のみ使用できます。

メール設定

電子メール機能の設定を行います。

ד די	באבראפסבארם-אפאבאנגע C 🕲
メール設定	
メール道信 湾延	● お効 ● オフ ○ SMTPBEE FLAIN ○ POP before SMTP ユーザー名 :
SMTPサーバー	Jan-F :
サーバーアドレス ポート番号	0.0.0.0
РОРサーバー	
サーバーアドレス	0.0.0.0
ポート番号	110
メールアドレス	
遺伝着E-mailアドレス 受信着E-mailアドレス	
テストメール送居 適用	初周化

設定を保存するには [適用] ボタンをクリックしてください。 [初期化] ボタンをクリックすると、メール設定を初期化します。 [テストメール送信] ボタンをクリックすると、テストメールが送信されます。

項目	説明
メール送信	電子メール送信の有効 / 無効を設定します。
	電子メールの内容は障害通知設定の各画面で編集できます。
認証	認証方式を選択します。
ユーザー名 *1	ユーザー名には SMTP サーバーまたは POP サーバーに設定しているユーザー名を入力します。
パスワード *1	パスワードには SMTP サーバーまたは POP サーバーに設定しているパスワードを入力します。

1 最大 63 文字まで設定できます。英数字、スペース、および以下の記号のみ使用できます。全て半角で入力してください。 !"#\$%&'()+,-./:;<=>?@[¥]^_`{|}~

1.SMTP/POP サーバー

項目	説 明
サーバーアドレス *1	SMTP サーバーまたは POP サーバーの IP アドレスを設定します。 IP アドレスだけでなくドメイン名もお使いいただけます。
ポート番号	SMTP サーバーまたは POP サーバーのポート番号を設定します。

*1 半角英数字と"-" または "." の記号を使用して 255 文字まで入力できます。

2. メールアドレス

項目	説明
送信者 E-mail アドレス *1	送信者の電子メールアドレスを設定します。
受信者 E-mail アドレス *1	受信者(最大5名)の電子メールアドレスを設定します。各アドレスの[to] または [cc] を指定することもできます。

*1 半角英数字と "-", ".", "_" または "@" の記号を使用して 255 文字まで入力できます。

〈お知らせ〉

- メール設定が正しく機能するかどうかは、[テストメール送信]ボタンをクリックして確認できます。[テストメール送信]ボタン をクリックする前に、"メール送信"の[有効]チェックボックスをオンにしてください。
- 本機を既存のネットワークに接続する場合は、サーバーのアドレスを設定する前にネットワーク管理者にご相談ください。
- SMTP サーバーまたは POP サーバーのアドレスにドメイン名を使用する場合は、DNS サーバーの設定が必要です。
- ご使用のメールサーバーによってはメールアドレスに設定している文字が使用できない場合があります。

障害通知設定

エラー / 警告通知の設定を行います。

	プロジェクターWebコントロール	C (0)
カバーエラー		
SNMPトラップ	☑ 有効	
メール送信	☑ 有効	
メール件名	Projector Error]
メール本文	Cover Error111	
邊用		初現化

各エラー/警告の詳細については、「電子メール機能による自動通知」を参照してください(Q3-75, 76)。

設定を保存するには [適用] ボタンをクリックしてください。 [初期化] ボタンをクリックすると、設定を初期化します。

項目	説 明
警告時間 *1	警告を通知する時間を設定します。
SNMP 	SNMP トラップによる自動通知を有効にするには、 [有効] チェックボックスをオンに します。
メール送信	電子メール機能による自動通知を有効にするには、[有効]チェックボックスをオン にします。
メール件名 *3	送信する電子メールの件名を設定します。
メール本文 *4	送信する電子メールの本文を設定します。

*1 この項目は、"フィルター時間警告"にのみ表示されます。

*2 "Cold Start" と "Authentication Failure" の設定項目は SNMP トラップのみです。

- *3 半角で 100 文字まで設定できます。全角などの文字を使用する場合、設定できる文字数が 100 文字より少なくなります。スペースおよび以下の記号が使用できます。 !"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[¥]^_`{|}~
- *4 半角で 1024 文字まで設定できます。全角などの文字を使用する場合、設定できる文字数が 1024 文字より少なくなります。スペースおよび以下の記号が使用できます。 !"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[¥]^_`{|}~

スケジュール設定

1) スケジュール管理

スケジュール機能の設定を行います。

Þ	プロジェクターWebコントロ	JL-JL	0	
スケジュール設定				
スケジュール管理				
実行するスケジュールのチェックボックスをオ	ヤンにし、使用するプログラムを選択してく	ださい。		
プログラムリスト	"プログラムリスト" ボタンをクリック	すると、プログラムリストの画面を表示します。		
プログラム編集	"プログラム編集" ボタンをクリックすると、プログラムの登録画面を表示します。			
プログラムコビー	"プログラムコピー" ボタンをクリック	すると、プログラムコピーの画面を表示します。		
	Œ	全て開く 全て閉じる	õ	
□ 日曜日			^	
プログラム - 5 🗸	:	[] 逾用		
☑ 月曜日			^	
プログラム-1 、	08:00 電源	[オ>] 適用		
☑ 火曜日			^	
(プログラム-1)、	08:00 電源	[オン] 道用		
☑ 水曜日			^	
プログラム-1 、	08:00 電源 v	[オン] 道用		
☑ 木曜日			^	
プログラム-1 >	08:00 電源 ▼	[オ>] 適用		
☑ 金曜日			^	
プログラム-1 >	08:00 電源 ▼	[オ>] 適用		
□ 土曜日			^	
プログラム-1 、	08:00 電線	[オ>] 通用		
☑ 特定日1			^	
プログラム-2 、	09:45 電源 ▼	[オン] 適用		
☑ 特定日2			^	
プログラム-3 × 2 : / 2 : (月/日)	10:00 電源	[オン] 適用		
☑ 特定日3			^	
プログラム-4 、	11:00 電源	[オン] 道用		
□ 特定日4			^	
プログラム-1 、	08:00 電源	[オン] 適用		
			~	
プログラム-1 、	08:00 電源	[オン] 道用		
□ 特定日6			^	
プログラム-1 ×	08:00 電源	[オン] 適用		
□ 特定日7			^	
プログラム-1 v	08:00 電源	[オン] 適用		
▲ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●			~	
プログラム-1	08:00 電纜	[オン] 道用		
1 (月/日)			~	
フロクラム-1 × 1 : / 1 : (月/日)	08:00 the second	[オン] 道用		
179万日10			^	
プログラム-1 v 1 : / 1 : (月/日)	08:00 電源 ▼	[オン] 適用		

スケジュール機能に関する詳細は、「スケジュール機能」 (□3-78~81)を参照してください。

特定日やスケジュールを実行する日のチェックボックスを オンにし、使用するプログラムを選択します。

特定日を設定する場合は、日付(月/日)を入力 します。

設定を保存するには [適用] ボタンをクリックしてください。

各プログラムに登録されているイベントの詳細は画面で 確認することができます。

〈お知らせ〉

● スケジュール設定を有効にする前に、必ず日付 / 時刻を設 定してください (□□3-47)。

1. プログラムリスト

プログラムリスト画面に遷移します。

(詳細は「プログラムリスト」(□3-44)を参照してく ださい。)

2. プログラム編集

プログラム編集画面に遷移します。

(詳細は「プログラム編集」(□□3-45)を参照してく ださい。)

3. プログラムコピー

プログラムコピー画面に遷移します。

(詳細は「プログラムコピー」(□3-46)を参照してく ださい。)

プログラムリスト

各プログラムに登録されているイベント情報を表示します。

Þ		プロジェクターWebコ	レトロール		C (ා
スケジュー	ール設定					
プログラム!	リスト					
				_		
					戻る	
			□ 全て開く	E :	全て閉じる	
プログラム・	- 1					\sim
#	時刻		イベント [パラメータ]			
1	08:00	電源	[オン]			
2	17:00	電源	[スタンバイ]			
プログラム・	- 2	1				~
プログラム・	- 3					\sim
プログラム・	- 4					\sim
プログラム・	- 5					\sim
プログラム・	- 6					\sim
プログラム・	- 7					\sim
プログラム・	- 8					\sim
プログラム・	- 9					\sim
プログラム・	- 1 0					\sim
プログラム・	-11					\sim
プログラム・	- 1 2					\sim
プログラム・	-13					\sim
プログラム・	-14					~
プロクラム・	-15					\sim
プロクラム・	-16					\sim

スケジュール管理画面に戻るには [戻る]ボタンをクリックしてください。

プログラム編集

プログラムを編集します。

	プロジェクターWe	ebコントロール	C ()
スケジュール設定			
プログラム編集			
			戻る
プログラム-1 🗸 選択			
時刻		イベント [バラメータ]	
0 : 0 :	 電源 	[スタンバイ	v]
[例]18:05	〇 入カソース	[コンピュータ入力1	~]
	○ マイ イメージ	[表示オフ	·]
	○ メッセンジャー	[表示オフ	~]
	○ 光出力	[ノーマル	~]
	○ ブランク	[オフ	v 1
	〇 スライドショー	[開始	v]
	V	登録	
# 時刻		イベント [バラメータ]	
1 08:00	5.M	[オン]	削除
2 17:00	電源	[スタンバイ]	削除
			全て削除

編集するプログラム番号を選択し、実行するイベントと時刻を設定します。 選択したプログラムに新しいイベントを追加するには、[登録] ボタンをクリックしてください。 イベントを削除するには [削除] ボタンをクリックしてください。 [全て削除] ボタンをクリックすると、全てのイベントを削除します。 [戻る] ボタンをクリックすると、スケジュール管理画面に戻ります。 本機は、スケジュール機能を使用して、以下のイベントの自動制御を行うことができます。

項目	説明
電源	電源制御に関する設定をします。
入力ソース	入力切り替えに関する設定をします。
マイ イメージ	マイイメージのデータ表示に関する設定をします。
メッセンジャー	メッセンジャーのデータ表示に関する設定をします。
光出力	光出力の切り替えに関する設定をします。
ブランク	ブランク画面のオン / オフ制御に関する設定をします。
スライドショー	スライドショーの開始 / 停止パラメータを設定します。

〈お知らせ〉

● スケジュールのプログラムは最大 16 通りまで作成することができます。また、 1 つのプログラムに対して最大 20 個のイベント を登録することができます。

プログラムコピー

プログラムを複製します。

Ì		プロジェクタ	/ーWebコントロール	0 ©
スケジュ	ール設定			
プログラム	ムコビー			
				Es
プログラム	-1) 選択			
#	時刻		イベント [バラメータ]	
1	08:00	電源	[オン]	
2	17:00	电源	[スタンバイ]	
			プログラム-1	
		▼	שב-	
			プロクラム-2	(m.tts
	223.6			梅朱
70956	-2 当我	_		
#	時刻	0.30	イベント [バラメータ]	
2	12:15	H6487	[745]	
2	12.13	4538	[222/71]	

コピー元(画面上部のドロップダウンリスト)と、コピー先(画面下部のドロップダウンリスト)のプログラム番号 を選択してください。

[コピー]ボタンをクリックすると、プログラムの複製を行います。

プログラムの複製を行った後、[編集]ボタンをクリックすると、コピー先プログラムのイベントの編集を行うことができます。

[戻る]ボタンをクリックすると、スケジュール管理画面に戻ります。

〈お知らせ〉

● コピー元のプログラムとコピー先のプログラムの両方に同じプログラム番号を選択することはできません。

日付 / 時刻設定

日付 / 時刻の設定を行います。

ד זי	コジェクターWebコントロール	C ()
日付/時刻設定		
現在日付現在時刻	20 ま / 1 ま / 1 ま 年/月/日 0 き : 0 き : 0 き 時-分-30	
時差	GMT +00:00 V	
D 7-917		
10%	月 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
	選 <u>最初</u> ☆ 日 月 ☆ 時刻 (0 ☆ : (0 ☆ 時:分	
SNTP		
サーバーアドレス	0.0.0.0	
周期	0 18 : 10 12 No.	
通用 日村/時刻論定の変更を意用するには、適用ボタンダ ネットワークリスタート	マクリックし、ネットワークリスタートを実行してください。	

設定を変更し、[適用]ボタンをクリックした後、[ネットワークリスタート]ボタンをクリックすると、変更した設定をプロジェクターに反映します。

項目	説明
現在日付	現在の日付を設定します。
現在時刻	現在の時刻を設定します。
時差	グリニッジ標準時に対する時差(時:分)を設定します。

1. サマータイム

サマータイムを有効にするには、チェックボックスをオンにします。

項	ίĦ	説明		
開始		サマータイムを開始する日時を設定します。		
	月	サマータイムを開始する月を設定します。		
	週	サマータイムを開始する日の曜日が、その月で何週目かを設定します。		
	E	サマータイムを開始する日の曜日を設定します。		
	時刻	サマータイムを開始する時刻を設定します。		
終了		サマータイムを終了する日時を設定します。		
	月	サマータイムを終了する月を設定します。		
	週	サマータイムを終了する日の曜日が、その月で何週目かを設定します。		
	B	サマータイムを終了する日の曜日を設定します。		
	時刻	サマータイムを終了する時刻を設定します。		

2.SNTP

項目	説明
サーバー アドレス *1	SNTP サーバーのアドレスを設定します。 IP アドレスだけでなくドメイン名もお使いいただけます。
周期	SNTP サーバーから日時の情報を受け取る間隔を設定します。

*1 半角英数字で 255 文字まで入力できます。英数字 "0 ~ 9"、"a - z"、"A - Z"、"-" および "." のみ使用できます。

〈お知らせ〉

- SNTP 機能を有効にするには、時差を設定する必要があります。
- 接続したネットワークが SNTP 対応の場合は、タイムサーバーから日付と時刻を受信すると設定が上書きされます。
- 本機の内蔵時計の時間はずれてくる場合があります。正確な時間を維持するためには、SNTPを使用することをお勧めします。
- SNTP サーバーのアドレスにドメイン名を使用する場合は、DNS サーバーの設定が必要です。

セキュリティ設定

1. ユーザーアカウント

プロジェクター Web コントロール 画面へのログインで使用する、ユーザー名とパスワードを設定します。

	プロジェクターWebコントロール	C ©
ユーザーアカウント		
7 46 47	A danini sheaka a	_
ユーリー名		
パスワード再入力		
適用		
セキュリティ設定の変更を適用するには	適用ボタンをクリックし、ネットワークリスタートを実行してください。	
*917-7989-1	-	

設定を変更し、[適用]ボタンをクリックした後、[ネットワークリスタート]ボタンをクリックすると、変更した設定をプロジェクターに反映します。

項目	説明
ユーザー名	ユーザー名を設定します。
パスワード	パスワードを設定します。
パスワード再入力	確認のために、上記のパスワードを再入力してください。

〈お知らせ〉

● ユーザー名とパスワードは、忘れないように大切に管理してください。

2. ネットワーク制御

プロジェクター制御で認証時に使用するパスワードを設定します。

	プロジェクターWebコントロール	C 💿
ネットワーク制御		
		_
パスワード		
バスワード再入力		
海田		
^{10/13} セキュリティ設定の変更を適用するに	は、適用ホタンをクリックし、ネットワークリスタートを実行してください。	
ネットワークリスタート		

設定を変更し、[適用]ボタンをクリックした後、[ネットワークリスタート]ボタンをクリックすると、変更した設定をプロジェクターに反映します。

項目	説明
パスワード	パスワードを設定します。
パスワード 再入力	確認のために、上記のパスワードを再入力してください。

〈お知らせ〉

●このパスワードは、以下の通信ポートを使用する機能に共通に使用されます。 ネットワーク制御ポート1(ポート:23) ネットワーク制御ポート2(ポート:9715) PJLink Port(ポート:4352) マイ イメージポート(ポート:9716) メッセンジャーポート(ポート:9719)
3. ネットワーク プレゼンテーション

ネットワークプレゼンテーションで投写画面上への表示を制限するためのパスワードを設定します。

	プロジェクターWebコントロール	C ()
ネットワークプレゼンラ	テーション	
パスワード		1
パスワード再入力		5
適用 セキュリティ設定の変更を適用す	するには、適用ホタンをクリックし、ネットワークリスタートを実行してください。	
ネットワークリスター	-	

設定を変更し、[適用]ボタンをクリックした後、[ネットワークリスタート]ボタンをクリックすると、変更した設定をプロジェクターに反映します。

項目	説明	
パスワード	パスワードを設定します。 パスワードを空欄に設定している場合、認証が無効です。	
パスワード 再入力	確認のために、上記のパスワードを再入力してください。	

4.SNMP

SNMP 使用時のコミュニティ名を設定します。

	プロジェクターWebコントロール	C (0)
SNMP		
コミュニティ名	public	5
適用 セキュリティ設定の変更を適用する	るには、適用ボタンをクリックし、ネットワークリスタートを実行してください。	
ネットワークリスター		

設定を変更し、[適用]ボタンをクリックした後、[ネットワークリスタート]ボタンをクリックすると、変更した設定をプロジェクターに反映します。

項目	説明
コミュニティ名	コミュニティ名を設定します。

プロジェクター制御

本機のメニューに用意されている各機能の設定を行います。

						~ <u>~</u> /
メイン						
		Ē	全て開く		全て閉じる	
and the second se						
1638						^
オン	スタンバイ					
入力ソース						^
コンビュータ入力1 〜				1	適用	
プランク オン/オフ						^
オン	オフ					
消音						^
オン	オフ					
静止						^
オン	オフ					
拡大						^
值: 8 (0~16)	+				オフ 決定	
拡大位置						^
				l		
テンプレート						~
オン	オフ					
マイ イメージ						^
表示オフ 〜				I	適用	
マイ イメージ削除						^
画像-1 →				I	適用	

モデルによってメニューが異なります。

〈お知らせ〉

●本画面で設定を変更している時に、本機のメニューやリモコンで設定を変更した場合、画面内の表示と実際の設定が一致しないことがあります。その場合には、再読み込み()のボタンをクリックして、画面の表示を最新の状態に更新してください。

リモートコントロール

リモコンを使用するのと同じように、メニュー操作や入力チャンネルの切り替え等の操作を行うことが出来ます。

דעפע לע	クターWebコントロー	٠JL	C ©
リモートコントロール			
スタンバイ		オン	
コンビュータ入力1	コンピュータ入力2	ビデオ	
HDMI 1 USB タイプ A	HDMI 2	LAN	
プランク	静止	消音	
•	決定 ▼		
初期化		-בבא	
前ページ	次ページ	スライドショー	

モデルによってメニューが異なります。

〈お知らせ〉

- ボタンの長押しには対応していません。連続して操作するにはボタンを繰り返しクリックする必要があります。
- ボタンをすばやく連続してクリックすると一部のコマンドが正常に送信されないことがあります。少し間をおいて再度クリックしてく ださい。
- [スタンバイ]または [オン]ボタンをクリックすると、本機の電源を入れる / 切るの確認メッセージが表示されます。そのまま 電源の操作を行うには [OK]ボタンを、元の状態に戻すには [キャンセル]ボタンをクリックしてください。

プロジェクター状態

設定および状態を表示します。

	プロジェクターWebコントロール	0 C
プロジェクター状態		
エラー状態	正常	
点灯時間	10 時間	
フィルター時間	10 時間	
電源状態	オン	
入力選択状態	コンピュータ入力1 (1920 x 1200i @60Hz)	
ブランク オン/オフ	オフ	
消音	オフ	
静止	通常表示	

モデルによってインフォメーションの表示が異なります。

接続テスト

指定した IP アドレスに対する接続テストを行います。

Þ	プロジェクターWebコントロール	C (0)
接続テスト		
接続先IPアドレス	0 . 0 . 0 . 2 実行	
	v 34+	
	ZH	

項目	説 明
接続先 IP アドレス	接続先の IP アドレスを入力し、[実行]ボタンをクリックすると、接続テストを実行します。

接続できた場合の表示例:

PING 192.168.1.200 (192.168.1.200): 56 data bytes 64 bytes from 192.168.1.200: seq=0 ttl=128 time=2.136 ms 64 bytes from 192.168.1.200: seq=1 ttl=128 time=0.524 ms

--- 192.168.1.200 ping statistics ---2 packets transmitted, 2 packets received, 0% packet loss round-trip min/avg/max = 0.524/1.330/2.136 ms

接続できなかった場合の表示例:

PING 192.168.100.200 (192.168.100.200): 56 data bytes

Destination host unreachable.

〈お知らせ〉

- 接続先の IP アドレスの情報は、IT 管理者に問い合わせてください。
- ファイアーウォールやパケットフィルタリングなどの設定により、接続確認用のパケットが接続先に到達する前に破棄された場合、 接続が正しく行われていても接続テストの結果がエラーとなることがあります。
- 接続テストの結果の表示は英語のみとなります。

ネットワーク

ネットワーク接続を再起動します。

Þ	プロジェクターWebコントロール	C ©
ネットワークリ	リスタート	
	確認!	
	リスタートすると、Webプラウザでプロジェクターの制御または設定を行うために、再ログインが必要となり ます。	
	リスタート	

〈お知らせ〉

● ネットワーク接続を再起動した後、再起動する前と同じネットワーク設定で本機と接続することができた場合、再起動完了後、 自動的にネットワークインフォメーション画面に遷移します。ネットワーク設定が変更されるなど接続できなかった場合は、下図の画面が表示されますので、一度ブラウザを終了し、再度アクセスし直してください。

Ш.	プロジェクターWebコントロール	C)
ネットワークリスタート		
	ネットワークはリスタートされました。	
現在のHTTP接続は有	効ではありません。	
Webブラウザでプロミ	ジェクターの制御または設定を行う場合は、30秒以上後に再ログインしてください。	

Crestron e-Control®

Logout Tools Info Contact IT Hole Maxell	
Power Vol - Mute Vol +	Power Vol - Mute Vol +
Sources List	Sources List
Computer in 1	Computer in 1
Computer in 2	Computer in 2
HDMI 1	HDM12
HDMI 2	Video
Video	Reset
- Reset	Freeze Contrast Brightness Color
Freeze Contrast Brightness Color	Consistence connected
Constituted Expansion Options	ユーザーパスワードダイアログ

上図のメイン画面が最初に表示されます。ただし、Tools 画面(¹²3-61, 62)で "User Password" を 有効に設定していると、右図のようにパスワードの入力を要求するダイアログが表示され、入力するまで操作 は有効となりません。設定したパスワード入力後にダイアログが消えて、メイン画面が表示されます。 下記のようにメイン画面の右上にあるタブをクリックして、以下の各画面に表示を切り替えることができます。

タブ	説 明
Log Out	e-Control [®] からログアウトします。 このタブは、Tools 画面で "User Password" が有効に設定されているときのみ、表示されます。
Tools	Tools 画面を開きます(📖 3-61, 62)。
Info	Info 画面を開きます(🛄 3-63)。
Contact IT Help	Help Desk ボックスを開きます(💷 3-64)。

〈お知らせ〉

- 以下のいずれかの場合、Crestron e-Control[®] は使用できません。
- プロジェクター Web コントロールの「ネットワーク設定」-「その他の設定」-「Crestron e-Control」(□3-37)が無効に設定されている。
- プロジェクター Web コントロールの「ネットワーク設定」-「共通設定」-「Crestron」(□□3-32)が「オフ」に設定されている。
- ネットワークメニューの「外部機器接続」-「CRESTRON」(□2-24)が「オフ」に設定されている。

Crestron をオンに設定して Crestron e-Control[®] を有効にし、Web ブラウザを閉じます。次に Web ブラウザを再起動し てから、プロジェクターの IP アドレスを入力します。

- Crestron e-Control[®] は、英語でのみ表示されます。
- Crestron e-Control[®] を使用中に接続が切断されると、"Loading..."の画面が表示されます。本機とコンピュータの接続を確認して、Web 画面を再表示してください。
- Crestron e-Control[®] の制御は、有線 LAN 経由のみの対応となります。

メイン画面



メイン画面では、プロジェクターの基本的な制御を行うことができます。

〈お知らせ〉

● プロジェクターがスタンバイ状態のときは、[Power] ボタンのみ有効です。

1. 各ボタンで以下の操作を行うことができます。

ボタン	説明
Power	本機の電源(光源)のオン / オフを設定します。
Vol - / Vol +	音量を調節します。
Mute	消音のオン/オフを設定します。

2. 入力端子

ボタンをクリックして映像の入力端子を切り替えることができます。 現在選択されている映像入力端子に追従してカーソル位置が移動します。

ボタン	説明
Computer in 1	コンピュータ入力 1 端子からの入力を選択します。
Computer in 2	コンピュータ入力 2 端子からの入力を選択します。
HDMI 1	HDMI 1 端子からの入力を選択します。
HDMI 2	HDMI 2 端子からの入力を選択します。
Video	ビデオ端子からの入力を選択します。
LAN	LAN 端子からの入力を選択します。
USB Type A	USB タイプ A 端子からの入力を選択します。

3. 各ボタンで、以下の操作を行うことができます。表示されていないボタンは、(ボタンの) 左右端にあるアイ コン ◀ / ▶ をクリックすると表示されます。

ボタン	説明			
Freeze	画面の静止のオン / オフを設定します。			
Contrast	コントラストを調節します。			
Brightness	明るさを調節します。			
Color	色の濃さを調節します。			
Sharpness	画質を調節します。			
Magnify	画面の拡大設定を + / - ボタンで操作します。			
Magniny	▲ / ▼ / ◀ / ▶ボタンで、拡大箇所を移動できます。			
Auto	画面の自動調整を実行します。			
Blank ブランクのオン / オフを設定します。				

4. 付属品のリモコンのボタンと同じように操作することができます。

ボタン	説明
Menu	メニューボタンと同様に動作します。
Enter	ENTER ボタンと同様に動作します。
Reset	リセットボタンと同様に動作します。
	カーソルボタン▲と同様に動作します。
▼	カーソルボタン▼と同様に動作します。
•	カーソルボタン◀と同様に動作します。
	カーソルボタン▶と同様に動作します。

Tools 画面



Tools 画面では、本機と Crestron[®] コントロールシステムの設定を行います。 メイン画面に戻るには、[Exit] ボタンをクリックしてください。

〈お知らせ〉

- 全角文字を使用すると、入力された文字は正しく設定されません。
- 全項目とも空欄のまま設定することはできません。
- 1. Crestron[®] Control

Crestron[®] コントロールシステムに関する設定を行います。

項目	説 明
IP Address	コントロールシステムの IP アドレスを設定します。
IP ID	コントロールシステムの IP ID を設定します。
Port	コントロールシステムの通信に使用するポート番号を指定します。

設定を反映させるには、[Send] ボタンをクリックしてください。

2. Projector

本機のネットワーク設定を行います。

項目	説明					
Projector Name	プロジェクター名を設定します。半角英数字で最大 64 文字まで入力できます。					
Location	設置場所名を設定します。半角英数字で最大 32 文字まで入力できます。					
Assigned To:	利用者名を設定します。半角英数字で最大 32 文字まで入力できます。					

以下の文字とスペースを使用できます。

!"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[¥]^_`{|}~ 設定を反映させるには、[Send]ボタンをクリックしてください。

3. Projector

本機のネットワーク設定を行います。

項目	説明				
DHCP	DHCP を有効にします。				
IP Address	DHCP が無効の場合の IP アドレスを設定します。				
Subnet Mask	DHCP が無効の場合のサブネットを設定します。				
Default Gateway	DHCP が無効の場合のデフォルトゲートウェイを設定します。				
DNS Server	DHCP が無効の場合の DNS サーバーのアドレスを設定します。				

設定を反映させるには、[Send] ボタンをクリックしてください。

4. User Password

User Password を設定します。Crestron e-Control® を開始するときに User Password を要求するには、チェックボックスにチェックを入れてください。

項目	説明						
	パスワードを設定します。						
New Password	半角英数字で最大 26 文字まで入力できます。以下の文字とスペースを使用できます:						
	!"#\$%&'()*+,/:;<=>?@[¥]^_`{ }~						
Confirm	確認のためパスワードを再入力します。パスワードが一致しないとエラーメッセージが 表示されます。						

設定を反映させるには、[Send] ボタンをクリックしてください。

5. Admin Password

Admin Password を設定します。Tools 画面を表示する前に Admin Password の入力を要求する には、チェックボックスにチェックを入れてください。

項目	説明						
	パスワードを設定します。						
New Password	半角英数字で最大 26 文字まで入力できます。以下の文字とスペースを使用でき ます :						
	!"#\$%&'()*+,/:;<=>?@[¥]^_`{ }~						
Confirm	確認のためパスワードを再入力します。パスワードが一致しないとエラーメッセージが 表示されます。						

〈お知らせ〉

●変更したパスワードは、以下の表に記載してください。

	 P
User Password	
Admin Password	

Info 画面

			Logout	Tools	Info	Contact IT Help	
	ma	xell					
1	 Projector Name Location MAC Address Resolution Light Source Hours Assigned To	Projector Information PRJ_308792805063 Room 3cb7 92 b0 50 e3 1920 x 1080 50Hz 0 Name	Power S Input S Picture Instal	Projector tatus On Juurce HOM 1006 Standard ation Front/Desi vurput Normal	Status top		_ 2
	CRESTRO	Nected			E	xpansion Options	

Info 画面では、本機の現在の設定と状態を表示します。 メイン画面に戻るには、[Exit] ボタンをクリックしてください。

1. Projector Information

項目	説 明
Projector Name	プロジェクター名(凵3-61)を表示します。
Location	本機に設定した設置場所名(□□3-61)を表示します。
MAC Address	本機の有線 LAN MAC アドレスを表示します。
Resolution	現在入力されている信号の解像度と垂直周波数を表示します。
Light Source Hours	現在の光源の点灯時間を表示します。
Assigned To:	本機に設定した利用者名(□□3-61)を表示します。

2. Projector Status

項目	説明
Power Status	本機の電源の状態を表示します。
Input Source	選択されている映像入力端子を表示します。
Picture Mode	現在の映像モードの設定を表示します。
Installation	現在の設置方法の設定を表示します。
Light Output	現在の光出力の設定を表示します。
Error Status	現在起きているエラー状況を表示します。

〈お知らせ〉

● "Projector Name"、"Location"、および "Assigned To:" に設定している文字数が多い場合、途中までしか画面に 表示されない場合があります。

Help Desk ボックス



Crestron RoomView[®] Express または Fusion RV[®] の管理者との間で、メッセージを送受信することができます。

ボタン	説明
Send	メッセージを送信します。
×	受信したメッセージを確認します。

緊急警告表示

maxell				
Power Vol -	Mute	Vol +		_
Source Lis Fire Alert				Interface 2.7.2.7
Compute [03:09:58 PM]: A fire emerger evacuation procedures.	ncy is in effect. Ple	ease follow fire		
HD II 1 To report emergency please t	type the message	here and press "S	end"	
HDIn 2 Vide		5	Send	
Freeze Contra:	st Brightr	iess Co	lor	envire Cetime

Crestron RoomView[®] Express または Fusion RV[®] の管理者が緊急メッセージを送信すると、 e-Control[®] の画面上にメッセージが表示されます。この緊急メッセージには、チャット形式で返信メッセージ を送ることができます。

緊急メッセージの下に表示されているボックスにメッセージを入力し、[Send] ボタンをクリックしてください。

〈お知らせ〉

- 緊急警告表示についての詳細は、Crestron RoomView[®] Express または Fusion RV[®] の説明書を参照してください。
- Crestron RoomView[®] または Fusion RV[®] からの緊急メッセージは、メッセンジャー機能(□3-69~71)のリアルタ イムテキストと同様にプロジェクターの画面に表示されます。他のリアルタイムテキストが表示されているときは、この緊急メッセー ジによってデータが上書きされます。ただし、表示優先度の高いリアルタイムテキストが表示されている場合は上書きされず、 緊急メッセージは表示されません。詳細はメッセンジャー機能のアプリケーションに付属の説明書をご参照ください。

ネットワークプレゼンテーション

概要

コンピュータ画面や音声を本機へネットワーク経由で転送し、本機で表示または再生することができます。本機能により、プレゼンテーションや会議を円滑に行うことができます。



ネットワークプレゼンテーション機能を使用するには、専用のアプリケーション、"LiveViewer" が必要です (□3-4)。

"LiveViewer" のインストール、および "LiveViewer"、ネットワークプレゼンテーションについての詳細は、 "LiveViewer" の説明書をご参照ください。

〈お知らせ〉

● 使用できる "LiveViewer" のバージョンは、ご使用のプロジェクターの機種によって異なります。最新版をご使用の際、 "LiveViewer" の説明書で適合する機種グループをご確認ください。本機の所属する機種グループはグループ H です。

<u>ネットワークプレゼンテーション</u>(つづき)

表示モード

LiveViewer にはシングル PC モードとマルチ PC モードの 2 種類の表示形式があります。

シングル PC モード

コンピュータからの映像を、無線 LAN または有線 LAN 経由でフルスクリーンで表示します。

■プレゼンターモード

シングル PC モード時、LiveViewer にてプレゼンターモードが ON の場合、他のコンピュータから本機への アクセスはブロックされます。プレゼンテーション中に他のコンピュータからの映像が送信されて不意に画面が切 り替わることはありません。プレゼンターモードは LiveViewer のオプションメニューで ON にすることができます。

マルチ PC モード

最大4台のコンピュータからの映像を同時に表示することができます。



マルチプロジェクターモード

マルチプロジェクターモードにより、 無線 LAN または有線 LAN 経由で最大 12 台のプロジェクターとコンピュー タを同時に接続することができます。



本機能は Windows® 版 LiveViewer のみ対応しています。

モデレータコントロールモード

1 台のコンピュータをモデレータ(ホスト)として指定し、無線 LAN または有線 LAN 経由で本機と接続した コンピュータ(クライアント)を操作できます。クライアントからは LiveViewer および本機を操作できないため、 円滑に会議や授業を行うことができます。



本機能は Windows[®] 版 LiveViewer のみ対応しています。

ポート番号

LiveViewer で使用しているポート番号を以下に示します。

ポート番号	20トコル
5500	ТСР
5900	TCP
5901	ТСР
9720	ТСР

〈お知らせ〉

● 他のアプリケーションが上記のポートを使用している場合、LiveViewer および Projector Quick Connection が動作しない可能性があります。

ネットワーク経由で静止画像(マイ イメージ)を本機に転送し、表示させることができます。 最大 4 つの画像データを本機に転送、登録することができます。

マイ イメージ



マイ イメージの転送には、コンピュータに専用のアプリケーションをインストールする必要があります(23-4)。 アプリケーションを使って画像データを転送します。

コンピュータおよびプロジェクターの設定と操作に関しては、アプリケーションのマニュアルをご参照ください。 転送した画像を表示するには、ネットワークメニューでマイ イメージを選択してください。詳しくは「ネットワーク」 - 「マイ イメージ」の説明をご覧ください(□□3-24)。

〈お知らせ〉

- マイ イメージは、マイ イメージ機能を割り当てたマイボタン(□2-25) でも表示することができます(□□【応用編】「その 他メニュー」)。
- マイ イメージ機能で本機に転送した画像は、スケジュール機能を使用して表示することができます。詳細はスケジュール機能
 (□3-78 ~ 81)をご覧ください。
- 無線 LAN と有線 LAN で、同時にマイ イメージ画像を本機に転送すると、本機がデータを正常に処理できない場合があります。

メッセンジャー

概要

テキストデータをネットワーク経由で本機に転送し、表示させることができます。

テキストデータをネットワーク経由で転送してリアルタイムで表示させる方法と、本機に保存されたテキストデータから選択して表示させる方法が可能です。

本機には最大 12 個のテキストデータを登録することができます。

詳細はメッセンジャーツールの取説を参照してください。



メッセンジャー機能を使用するには、コンピュータに専用のアプリケーションをインストールする必要があります (□3-4)。テキストデータを編集、転送、表示するにはアプリケーションをお使いください。

コンピュータおよびプロジェクターの設定と操作に関しては、アプリケーションのマニュアルをご参照ください。

表示スタイル

メッセージの表示形式は、3種類用意されています。以下それぞれについて説明します。

1) **スクロール表示**

メッセージ表示領域内で、メッセージが左方向にスクロールします。



2) ボックス表示

四角形のメッセージ表示領域内でメッセージが下から上方向に縦スクロールします。



3) **ポップオン表示**

四角形のメッセージ表示領域内で、メッセージを一括で表示させます。



〈お知らせ〉

- 転送されたテキストデータは、メッセンジャー機能を割り当てたマイボタン(□□2-25)でも表示することができます(□□【応用編】 「その他メニュー」)。
- テキストデータは、スケジュール機能を使用して Web ブラウザでも表示することができます。 詳しくはスケジュール機能(□□3-78 ~ 81)をご覧ください。
- 無線 LAN と有線 LAN から同時にデータが送信された場合、本機でデータを正常に処理できない場合があります。

ネットワークブリッジ

本機は、ネットワークプロトコルとシリアルインタフェースの相互変換を行うネットワークブリッジ機能に対応しています。

ネットワークブリッジ機能を使うと、本機とRS-232C通信で接続した外部機器を、本機とネットワーク(有線/無線LAN)で接続したコンピュータから、ネットワーク機器と同様に制御することができます。



機器の接続

1) 有線 LAN を使用する場合は、本機の LAN 端子とコンピュータの LAN 端子を LAN ケーブルで接続して ください。

無線 LAN を使用する場合は、本機の USB タイプ A 端子に USB ワイヤレスアダプターを接続してください。 2) 本機の RS-232C 端子と外部機器の RS-232C 端子を、 RS-232C ケーブルで接続します。

〈お知らせ〉

● 接続の前に、接続する各機器の説明書をお読みになり、正しく接続してください。RS-232Cの接続については、本機と接続する外部機器の端子の仕様を確認の上、適切な通信ケーブルを使用してください(□□【技術情報編】「入出力信号端子」)。

通信設定

本機のネットワークブリッジに関する通信設定は、本機の「通信設定」メニューから設定を行ってください。詳細メニューから、「その他」メニューの「特別な設定」から「通信設定」を選択し、「通信設定」メニューを 表示してください(Q)【応用編】「その他」>「特別な設定」>「通信設定」)。

- 1) 「通信タイプ」で「ネットワークブリッジ」を選択してください(お使いの接続により、無線または有線のどち らかを選択してください)。
- 2)「シリアル設定」で「ボーレート」と「パリティ」を、接続した外部機器の RS-232C 設定に合わせて設定してください。初期設定では以下のように設定されています。

項目	条 件
ボーレート	19200bps
パリティ	なし
データ長	8 bit(固定)
スタートビット	1 bit(固定)
ストップビット	1 bit(固定)

3) ご使用に合わせて RS-232C 端子の「通信方式」を設定してください。

〈お知らせ〉

- ●「通信設定」メニューで設定を行ってください。設定が適切でないと、通信に不具合が生じる場合があります。
- ●「通信タイプ」を「ネットワークブリッジ」に設定している時は、**RS-232C** 端子経由で本機を制御するための RS-232C コ マンドを受信できません。

通信ポート

ネットワークブリッジ機能をご利用の際は、Web ブラウザの「ポート設定」で「ネットワークブリッジポート」の設定を行い、コンピュータから本機へデータを送信してください(Q3-38)。

〈お知らせ〉

● 初期設定では 9717 が設定されています。

通信方式

「通信タイプ」で「ネットワークブリッジ」が選択されている場合のみ、メニューから通信方式を選択できます (□【応用編】「その他」>「特別な設定」>「通信設定」)。

半二重通信 ↔ 全二重通信

■半二重通信

この方式では、本機は一度に送信または受信のどちらか一方のみ行います。

外部機器からの応答データを待っている間は、本機はコンピュータからのデータを受信しません。本機が応答デー タを外部機器から受信するか、または応答データ受信期間が経過した後でコンピュータからデータを受信できま す。

本機はデータの送信と受信を制御し、通信の同期をとります。

半二重通信を選択した場合は、以下の説明に従って「応答データ受信期間」を設定してください。



「応答データ受信期間」メニューで外部機器からの応答データ待ち時間を設定してください(Q)【応用編】 「その他」>「特別な設定」>「通信設定」)。

オフ ↔ 1s ↔ 2s ↔ 3s (↔ オフ)

〈お知らせ〉

- 半二重通信では、本機は一度に最大 254 バイトまで送信できます。
- 半二重通信方式でも外部機器からの応答を監視しないシステムでは、「応答データ受信期間」を「オフ」に設定すると、 コンピュータからのコマンドを連続して送信することができます。工場出荷時は「オフ」に設定されています。

■全二重通信

この方式では、本機は外部機器の応答を監視せず、コンピュータと外部機器の両方と随時に送受信を行います。

コンピュータと外部機器の双方から非同期でデータが送信されます。送信データと応答データの同期をとりたい ときは、コンピュータから送受信の制御を行ってください。

〈お知らせ〉

● 全二重通信方式でコンピュータから送受信の制御を行う場合も、本機のデータ処理状況によっては送受信データに欠落が 生じ、正しく制御できない場合があります。

その他の機能

電子メール機能による自動通知

本機にメンテナンスが必要な場合やエラーが発生したとき、指定したメールアドレスに自動的に警告メッセージを送信させることができます。

〈お知らせ〉

- 最大 5 つの受信電子メールアドレスを設定できます。
- 本機の電源が突然切れた場合は、電子メールを送信できないことがあります。
- ご使用のメール環境によってはメールが正しく送信できない場合があります。

プロジェクターからメールで通知できるエラー / 警告項目を以下に示します。(*)

項目	説明
カバーエラー	アッパーケースがきちんと装着されていません。
ファンエラー	冷却ファンが動作していません。
光源エラー	光源が点灯しません。 光源、および本機内部が高温になっている可能性があります。
温度エラー	本機内部が高温になっている可能性があります。
エアフローエラー	内部の温度が上がっています。 エアフィルターが目詰まりしている可能性があります。
低温エラー	本機の内部温度が低すぎる可能性があります。
フィルターエラー	エアフィルターの使用時間が通知設定時間を超えました。
その他のエラー	上記以外のエラーまたは警告が発生しました。 表示された場合は、販売店に連絡してください。
スケジュール実行エラー	スケジュールで登録されたイベントの実行に失敗しました。
フィルター時間警告	フィルター時間が指定された警告時間を超えました。
状態監視警告	本機の設置状態の変更が検知されました。 状態監視機能については、【応用編】「セキュリティメニュー」の「状態監視」 (叫2-39)をご覧ください。

* 機種によりサポートする内容は異なります。

〈お知らせ〉

- "フィルターエラー "は、「設置」メニューの「光源&フィルター」-「フィルター掃除通知」(□2-14)で設定された、フィルター 掃除通知の表示設定時間を超えると通知のメールが送信されます。「フィルター掃除通知」を「無効」に設定していると通知のメールは送信されません(□【応用編】「設置」メニュー)。
- "フィルター時間警告"は、フィルター時間をメールで通知します。プロジェクター Web コントロールで設定したフィルター時間 を過ぎると、メールが送信されます。

電子メール機能による自動通知を使用するには、Web ブラウザから以下の項目を設定してください。

メール設定

1) プロジェクター Web コントロール画面のメインメニューで [メール設定]を選択します。

2) メール設定ページの各項目を設定します。詳細はメール設定(2)3-40)を参照してください。

- 3) [適用]ボタンをクリックして、設定を保存してください。
- 4) 電子メールの設定が正しいことを確認して、[テストメール送信]ボタンをクリックしてください。 下のような形式のメールが指定したメールアドレスに送信されます。

件名: Test Mail < プロジェクター名 >

- 本文: Send Test Mail
 - Date< テスト実施日 >Time< テスト実施時間 >IP Address< 本機の IP アドレス >MAC Address< 本機の MAC アドレス >

障害通知設定

1) プロジェクター Web コントロール画面のメインメニューで [障害通知設定] を選択します。

- 2) 障害通知設定ページの各項目を設定します。詳細は障害通知設定(□3-42)を参照してください。
- 3) [適用]ボタンをクリックして、設定を保存してください。

警告メッセージは、次のような形式の電子メールで送信されます。 メール件名: < メール件名 > < プロジェクター名 > 本文: < メール本文 > Date < エラー / 警告の発生日 > Time < エラー / 警告の発生時間 > IP Address < 本機の IP アドレス > MAC Address < 本機の MAC アドレス >

SNMPによるプロジェクター管理

SNMP (Simple Network Management Protocol) により、本機のエラー / 警告情報をネットワークに 接続されたコンピュータから管理することができます。

〈お知らせ〉

- SNMP 機能の実行はネットワーク管理者が行うことをお勧めします。
- SNMP によって本機を監視できるようにするには、SNMP マネージャがコンピュータにインストールされている必要があります。

標準 MIB (MIB-2)

標準 MIB (MIB-2)の system のグループに定義されている以下の項目を参照することができます。

項目	説明
sysName	プロジェクター名が設定されています。
sysLocation	設置場所に関する情報です。 プロジェクター Web コントロール - [ネットワーク設定] - [共通設定] の sysLocation (SNMP) で設定した文字列が設定されています。
sysContact	管理者の連絡先に関する情報です。プロジェクター Web コントロール - [ネットワー ク設定] - [共通設定] の sysContact (SNMP) で設定した文字列が設定され ています。

拡張 MIB

プロジェクター用の拡張 MIBを使用すると、プロジェクターの現在の設定情報を取得することができます。プロジェ クター用拡張 MIB は、 プロジェクター Web コントロールの [ポート設定] ページからダウンロードすることができ ます。

トラップ

プロジェクターがエラー / 警告状態となった場合に指定したアドレスへ通知を送ることができます。通知できるエ ラー / 警告は、電子メール機能による自動通知(□□3-75, 76)で示したメールで通知できる項目に加えて、 以下の通知を送ることができます。

項目	説明
Cold Start	本機に電源が供給されている場合、下記の通り通知します。 •「スタンバイモード」(□2-15)が「通常」または「高速起動」に設定されてい る場合: 本機が電源に接続され、スタンバイ状態になりました。 •「スタンバイモード」が「低電力」または「ネットワーク(WOL)」に設定されてい る場合: 本機の電源が入り、光源が点灯しました。 (□【応用編】「設置」メニュー)
Authentication Failure	未認証の SNMP コミュニティからの SNMP アクセスがありました。

SNMP によるプロジェクター管理を行うには、Web ブラウザから以下を設定してください。

ポート設定(□□3-38, 39)

- 1) プロジェクター Web コントロール画面のメインメニューで [ポート設定]を選択します。
- 2) [MIB ファイルのダウンロード] をクリックして MIB ファイルをダウンロードします。
- 3) SNMP Port のポートオープンの [有効] チェックボックスをオンにして SNMP ポートを開いてください。トラップアドレスにエラー / 警告発生時に SNMP トラップを送信するアドレスを設定してください。

セキュリティ設定(□03-49)

- 1) プロジェクター Web コントロール画面のメインメニューで [セキュリティ設定] を選択します。
- 2) "SNMP" を選択して、コミュニティ名を設定してください。

障害通知設定(□□3-42)

エラー / 警告のトラップ転送を設定します。

- 1) プロジェクター Web コントロール画面のメインメニューで [障害通知設定]を選択します。
- 2) 通知設定する各エラー / 警告項目を選択してください (43-75, 76)。
- SNMPトラップの[有効]チェックボックスをオンにしてください。SNMPトラップ転送の必要がない場合は、[有効]チェックボックスをオフにしてください。
- 4) 設定を保存するには [適用] ボタンをクリックしてください。

〈お知らせ〉

- ダウンロードした MIB ファイルは、使用する SNMP マネージャプログラムへ登録してください。
- [ポート設定]および[セキュリティ設定]の設定を変更した場合は、必ずネットワークリスタートを実行してください(□□3-57)。

スケジュール機能

スケジュール機能により電源オン / オフなどのイベントを設定することができ、本機の " 自己管理 " を可能にします。

スケジュールは、プロジェクター Web コントロールまたは本機の「その他」-「スケジュール」メニューで設定す ることができます。

スケジュールの設定を行う前に、以下の注意事項を確認してください。

〈お知らせ〉

- スケジュールは、プロジェクター本体の「その他」-「スケジュール」メニューでも設定することができます。(【応用編】「その他 メニュー」を参照してください。)
- スケジュールのプログラムは最大 16 通りまで作成することができます。また、1 つのプログラムに対して最大 20 個のイベント を登録することができます。
- 工場出荷状態では、プログラム 1 ~ 16 まで全てのプログラムにおいて、イベントは登録されていません。初めてスケジュール 機能を使用する時は、先にプログラムを作成しておく必要があります。
- スケジュールの優先順位は、1)特定日、2)曜日の順になります。
- 最大 10 個の特定日を登録できます。同日の同時刻に 2 つ以上のイベントが設定されている場合、小さい番号の方が優先されます (例: '特定日 No. 1' は '特定日 No. 2' およびその他より優先されます)。
- 同日の同時刻に複数のイベントを設定すると、" 電源 オン " のイベントは最後に実行されます。
- スケジュール設定を有効にする前に、必ず日付 / 時刻を設定してください(□□3-47)。
- 本機を移動したら、スケジュールを調整する前に、プロジェクターに設定されている日時を確認してください。
- 内蔵時計の時間は、ずれたり初期化されてしまう場合があります。正確な時間を維持するためには SNTP を使用することを お勧めします。
- 本機で、温度エラー、光源エラーなどの何らかのエラーが発生していると、スケジュールは正常に実行されません。
- 本機の光源が点灯していない、または表示するデータが本機に登録されていないと、"マイイメージ"と"メッセンジャー"の イベントは正常に実行されません。
- 本機のセキュリティ機能が働き、プロジェクターの使用が制限された状態では、"入力ソース"と"マイイメージ"のイベント は正常に実行されません。
- 本機の光源が点灯していない、または画像データの入った USB メモリが本機に挿入されていないと、"スライドショー"のイベントは正常に実行されません。
- "スライドショー"のイベントが実行されるときには、本機は自動的に入力端子を USB タイプ A 端子に切り替えます。
- "スライドショー"のイベントでは、本機に挿入された USB メモリのルートディレクトリに保存された画像ファイルが表示されます。

以下、Web 画面でスケジュールの設定を行う手順について説明します。

スケジュール機能を使用するには、始めにプログラムの作成が必要です。プログラムには、電源制御や入力端 子の切り替えなど各種イベントと、それらを実行する時刻を登録します。工場出荷状態では、全てのプログラ ムでイベントは登録されていません。以下の手順に従ってプログラムを作成してください。 既にプログラムを作成している場合は、手順6)へお進みください。

1) プロジェクター Web コントロール画面のメインメニューで [スケジュール設定]を選択してください。

	プロジェクターWebコ	コントロール	C (0)	
スケジュール設定				
スケジュール管理				
実行するスケジュールのチェックホックスをス	オンにし、使用するプログラムを減	銀してください。		
プログラムリスト	"プログラムリスト" ホタンを	クリックすると、プログラムリストの#	順面を表示します。	
プログラム編集	"プログラム編集" ホタンをク	リックすると、プログラムの登録画面を	と表示します。	
プログラムコビー	"プログラムコビー" ホタンを	クリックすると、プログラムコビーの#	順面を表示します。	
		正 全て開く	🖻 全て閉じる	
日曜日			^	
プログラム-5 、	:	[]	適用	
☑ 月曜日			^	
プログラム-1 、	08:00 電源	[オン]	適用	
☑ 火曜日			^	
プログラム-1 、	08:00 電源	[オン]	適用	
☑ 水曜日			^	
プログラム-1 🔹	08:00 電源	[<k]< td=""><td>適用</td><td></td></k]<>	適用	
マ 木曜日			^	
ブログラム-1 、	08:00 電源	[オン]	適用	2) [プログ
☑ 金曜日			^	が表示
プログラム-1 🔍	08:00 電源	[#>]	適用	番号を
□ 土曜日			^	
プログラム-1 🗸	08:00 電源	[#>]	遵用	
☑ 特定日1			^	
プログラム-2 v 1 : / 1 : (月/日)	09:45 電源	[<k]< td=""><td>適用</td><td>スケジュール</td></k]<>	適用	スケジュール
☑ 特定日2			^	プログラム編集
プログラム-3 ~ 2 : (月/日)	10:00 電源	[#>]	適用	
☑ 特定日3			^	プログラム-1
ブログラムー4 、	11:00 電源	[オン]	適用	
3 2 / 3 2 (月/日)		¥	^	0 8
				[1
プログラム-1 > 1 : (月/日)	08:00 電源	[//>]	過用	
□ 特定日5			^	
プログラム-1 ×	08:00 電源	[オン]	適用	
□ 特定日6			^	
プログラム-1 、 1 : / 1 : (月/日)	08:00 電源	[/t>]	適用	
□ 特定日7			^	
プログラム-1 、	08:00 電源	[<k]< td=""><td>適用</td><td>#</td></k]<>	適用	#
			^	1
プログラム-1 、	08:00 電源	[//>]	適用	2
□ 特定日9			^	
	08:00 電源	[オン]	適用	
▲ ■ / ▲ ■ (H/H) ● 特定日10			^	
プログラムー1 、	08:00 電源	[/7]	適用	
1 章 / 1 章 (月/日)		- ¥		

2) [プログラム編集] をクリックすると、プログラム編集画面 が表示されます。ドロップダウンリストで編集するプログラム 番号を選択し、[選択] ボタンをクリックします。

スケジュー	ール設定			
プログラム	編集			
				戻る
プログラムー	1 🗸 選折	R		
	時刻		イベント [バラメータ]	
6	0 🔹	● 電源	[スタンバイ	·]
	[例]18:05	〇 入力ソース	[コンピュータ入力1	~]
		0 71 18-9	[表示オフ	~]
		() メッセンジャー	[表示オフ	·]
		○ 光出力	[ノーマル	~]
		○ プランク	[オフ	~]
		() スライドショー	[開始	v 1
			经録	
#	時刻		イベント [パラメータ]	
1	08:00	電源	[オン]	削除
2	17:00	電源	[スタンバイ]	削除
				全て削除

- 時刻、イベント、パラメータを設定してから、[登録]ボタンをクリックしてください。
 イベントを削除する場合は[削除]ボタンをクリックしてください。
 現在選択しているプログラムの全てのイベントを削除したい時は、「全て削除]ボタンをクリックしてください。
- 4) 続けて別の番号のプログラムを編集したい時は、ドロップダウンリストで編集したいプログラムを選択し、 [選択]ボタンをクリックしてください。
- 5) プログラムの作成が終了したら、[戻る]ボタンをクリックし、スケジュール管理画面に戻ってください。 [プログラムリスト]ボタンをクリックすると、プログラムリスト画面を表示します。 本画面で、各プログラム番号に登録されているイベント情報を纏めて確認することができます。

	プロジェクターWebコントロール	C ©
スケジュール設定		
プログラムリスト		
<u>)</u>		
		戻る
	□ 全て開く	全て閉じる
プログラム-1		\sim
# 時刻	イベント [バラメータ]	
1 08:00	電源 [オン]	
2 17:00	電源 [スタンパイ]	
プログラムー 2		~
プログラムー 3		~
プログラムー 4		~
プログラム-5		~
プログラム – 6		~
プログラム-7		\sim
プログラム-8		\sim
プログラム-9		\sim
プログラム-10		\sim
プログラム-11		\sim
プログラム-12		~
プログラムー13		~
プログラムー14		~
プログラム-15		~
プログラムー16		~

ここからは、手順1)~5)で作成したプログラムを実際にスケジュールに割り当てる手順について説明します。

- 6) スケジュール管理画面で、実行するスケジュール(例えば、毎週月曜日に実行する場合は " 月曜日 ") のチェックボックスをオンにします。
- 7) 使用するプログラムをドロップダウンリストから選択します。画面下部のプログラムリストで、各プログラムに登録されているイベント情報を確認することができます。 特定日1~10を指定する場合は、日付(月/日)の設定を入力します。
- 8) [適用] ボタンをクリックすると、プロジェクターがスケジュール設定を受け付けます。 同様に、実行したいスケジュールについて、手順 6) ~ 8) を繰り返します。
- 以上で、スケジュールの設定は完了です。 最後に、プロジェクターの時刻が正しく設定されていることを確認してください。

■プログラムのコピー方法について

作成したプログラムを別のプログラムにコピーして使用したい時は、[プログラムコピー]ボタンをクリックしてください。

Ú		プロジェ	クターWebコントロール	C 💿
スケジュー	ル設定			
プログラムニ	1ビー			
				戻る
プログラムー	1 🗸 選拔	R		
#	時刻		イベント [バラメータ]	
1	08:00	電源	[オン]	
2	17:00	電源	[スタンバイ]	
			プログラム-1	
			▼ ⊐ピー	
			プログラム - 2	
				編集
プログラムー:	2 🗸 🧾 選邦	R		
#	時刻		イベント [パラメータ]	
1	09:45	電源	[オン]	
2	12:15	電源	[スタンバイ]	

コピー元とコピー先のプログラムをそれぞれドロップダウンリストから選択し、[選択]ボタンをクリックしてください。 その後、[コピー]ボタンをクリックしてください。

現在選択しているプログラムと同じプログラムをコピー先に指定することはできません。

プログラムの複製を行った後、[編集]ボタンをクリックすると、コピー先プログラムのイベントの編集を行うことができます。

ネットワークからのコマンド制御

ネットワーク経由で RS-232C コマンドを使用し、本機を操作、設定することができます。

コマンド制御ポート

コマンド制御には、以下の2ポートが割り当てられています。 TCP #23(ネットワーク制御ポート1(ポート:23)) TCP #9715(ネットワーク制御ポート2(ポート:9715))

〈お知らせ〉

● コマンド制御は上記の2ポートのみで可能です。

コマンド制御設定(□□3-38)

以下の項目を Web ブラウザから設定してください。

プロジェクターWebコントロール C ③ ポート設定	例:本機のIPアドレスが192.168.1.10の場合: 1) Web ブラウザのアドレスバーに
ネットワーク制御ボート1 (ボート:23)	画面でプロジェクター Web コントロールを選択
ポートオープン □ 有効	してください。
認証 □ 有効	2) ユーザ名とパスワードを入力し、「OK1をクリック
ホットプープ <i>oppm</i> ルート2 (ホート:9713) ポートオープン □ 有効 認証 □ 有効 PJLinkポート (ポート:4352)	してください。 3) メインメニューの [ポート設定]をクリックしてくだ さい。
ポートオープン □ 有効	4) ネットワーク制御 ポート 1 (ポート:23)の
認証 □ 有効	"ポートオープン "[有効] のチェックボックスをオ
通知アドレス	ンにしてネットワーク制御 ポート 1 を有効にし
マイ イメージポート (ポート:9716)	てください。認証設定が必要なときは、" 認証
ポートオープン ☑ 有効	"[有効] のチェックボックスをオンにして認証を
器種 ☑ 有効	有効にしてください。必要ない場合は、チェック
メッセンジャーボート (ボート:9719)	ボックスをオフにしてください。
ポートオープン □ 有効	5) ネットワーク制御 ポート 2(ポート:9715)
課題 □ 有効	の " ポートオープン "[有効] のチェックボックス
SNMPポート	をオンにしてネットワーク制御 ポート 2 を有効に
ポートオープン ☑ 和和	してください。認証設定が必要なときは、" 認
トラップアドレス	証 "[有効] のチェックボックスをオンにして認証
MIBファイルのダウンロード	を有効にしてください。必要ない場合は、チェッ
ネットワークブリッジポート	クボックスをオフにしてください。
ポート番号 9717 道用	6) 設定を保存するには [適用] ボタンをクリックしてください。
ボート盗走の変更を適用するには、適用ホタンをクリックし、ネットワークリスタートを実行してください。 ネットワークリスタート	

認証設定を有効にした場合は、以下の設定が必要です(四3-49)。

- 7) メインメニューの [セキュリティ設定] をクリックしてください。
- 8) [ネットワーク制御]を選択し、パスワードを設定してください。 *下記の「お知らせ」をご覧ください。
- 9) 設定を保存するには [適用]ボタンをクリックしてください。

〈お知らせ〉

- パスワードは、ネットワーク制御 ポート 1 (ポート:23)、ネットワーク制御 ポート 2 (ポート:9715)、PJLink ポート (ポート:4352)、マイ イメージポート (ポート:9716)、メッセンジャーポート (ポート:9719) で共通になります。
- 新しい設定は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したら、必ずメインメニューの [ネットワークリスタート]をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください(□3-57)。

コマンド形式

通信ポートによってコマンド形式に一部違いがあります。

• TCP #23

・送信データ形式

RS-232C 通信と同じコマンドをそのまま使用できます。応答データの形式は RS-232C 通信と同じです。 (□□【技術情報編】「RS-232C 通信によるコマンド制御」)

ただし、認証が有効となっている場合は、認証エラーが発生した場合に以下の応答を返します。

< 認証エラー応答 >

応答	エラーコード	
0x1F	0x04	0x00

• TCP #9715

・送信データ形式

以下のように、RS-232Cコマンドの先頭にヘッダ(0x02)、データ長(0x0D)、チェックサム(1 バイト)、 接続 ID(1 バイト)を加えます。

ヘッダ	データ長	RS-232C コマンド	チェックサム	接続 ID
0x02	0x0D	13 バイト	1 バイト	1 バイト

ヘッダ	\rightarrow	0x02, 固定
データ長	\rightarrow	RS-232Cコマンドのバイト長(0x0D, 固定)
RS-232C コマンド	\rightarrow	0xBE、0xEF で始まる RS-232C コマンド(13 バイト)
チェックサム	\rightarrow	ヘッダからチェックサムまでの和の下位8ビットが0となる値
接続 ID	\rightarrow	0~255のランダムな値(この数値は応答データに付加されます。)

応答データ形式

接続 ID(データは送信データ形式の接続 ID データと同一)が RS-232C コマンドの応答データに付加 されます。

<ACK 応答 >

応答	接続 ID	
0x06	1 バイト	

<NAK 応答 >

応答	接続 ID
0x15	1 バイト

< エラー応答 >

応答	エラーコード	接続 ID
0x1C	2 バイト	1 バイト

< データ応答 >

応答	データ	接続 ID
0x1D	2 バイト	1 バイト

<ビジー応答 >

応答	ステータスコード	接続 ID
0x1F	2 バイト	1 バイト

< 認証エラー応答 >

応答	認証エラーコード		接続 ID
0x1F	0x04	0x00	1 バイト

ネットワーク接続の自動切断

接続後に 30 秒間通信がなければ、TCP 接続は自動的に切断されます。

認証

認証が有効となっている場合、認証が成功していないコマンドを本機は受信しません。

本機の認証には MD5 (Message Digest 5) というアルゴリズムを使用しています。認証機能を有効にして本機をコマンド制御するには、本機から送信されるランダムな 8 バイトデータとパスワードを MD5 アルゴリズムで処理した認証データを、送信コマンドの先頭に追加する必要があります。

以下はパスワードが "password" に設定され、ランダムな8 バイトデータが "a572f60c" の場合の例です。

- 1) 本機とコンピュータをネットワークで接続します。
- 2) 本機からランダムな 8 バイトデータ "a572f60c" を受信します。
- 3) 受信したランダムな 8 バイトデータとパスワードを結合した値、 "a572f60cpassword"

を MD5 アルゴリズムで処理します。

- 4) MD5 アルゴリズムでの処理の結果、
 e3d97429adffa11bce1f7275813d4bde
 という認証データを得られます。
- 5) 認証データをコマンドの先頭に付加し、 e3d97429adffa11bce1f7275813d4bde + コマンド というデータを送信します。
- 6) 送信データが正しければ、コマンドが実行されて ACK またはデータ応答が返されます。送信データが正しく ない場合、認証エラー応答が返されます。

〈お知らせ〉

● ネットワークで接続している間、2回目以降のコマンドデータ送信では認証データを省略できます。

Crestron Connected®

Crestron Connected[®] は、Crestron Electronics, Inc. の提供する、マルチユーザリソース・マネジメント・ プログラムです。 プロジェクターやその他の AV 機器など、 システム全体を一括して管理・制御するアプリケーショ ンです。

Crestron Connected® についての詳細は、以下の Crestron® のホームページをご覧ください。

URL: <u>http://www.crestron.com</u>

システム全体の管理を行うのに、以下の通信インタフェースをご利用になれます。

 Crestron Fusion RV[®] / Crestron RoomView[®] Express / Crestron RoomView[®] Server Edition Fusion RV[®]、RoomView[®] Express および RoomView[®] Server Edition は、 Crestron Electronics, Inc. の提供するソフトウェアです。AV 機器全体を管理し、ヘルプデスクとの通 信や、警告メッセージを送ったりすることができます。 ソフトウェアについての詳細は、下記の web サイトをご覧ください。

URL: <u>http://www.crestron.com/getroomview</u>

2) Crestron e-Control®

Crestron e-Control[®] は、web ブラウザ上で操作できる、遠隔制御システムのコントローラーです (皿3-58 ~ 64)。

トラブルシューティング

本機のネットワーク機能に関して、以下のような現象が起きている場合は、故障ではない場合があります。修理を依頼される前に下表に従ってご確認のうえ、必要に応じて処置してください。 処置後も現象が改善しない場合は販売店または「お客様ご相談窓口」(¹¹4-44)にご相談ください。

プロジェクターと通信できない(有線ネットワークをご使用の場合)

確認事項	対処法
プロジェクターの電源が入っていますか?	プロジェクターの電源を入れてください。
ルーター等のネットワーク機器の電源が入っていま すか?	ネットワーク機器の電源を入れてください。
「スタンバイモード」の設定が「通常」または「高 速起動」になっていますか?	スタンバイ状態でネットワーク機能をご使用になりたい場合には、「スタンバイモード」(QQ2-15)を「通常」または「高速起動」に設定してください。
LAN ケーブルが接続されていますか?	LAN ケーブルを接続してください。
ネットワークインフォメーション – 有線 LAN インフォ メーションで MAC アドレスが正しく表示されていま すか ?	本機に張り付けられている MAC アドレスと 有線 LAN イ ンフォメーションで表示される MAC アドレスが異なる場合、 販売店に問い合わせてください。
IP アドレスなどのネットワーク設定は正しく設定さ れていますか ?	ネットワークインフォメーション – 有線 LAN インフォメーショ ンでネットワーク設定を確認してください。 詳細は、ネットワーク管理者に相談してください。
ルーター等でファイヤーウォールやパケットフィルタリ ングが設定されていませんか?	ネットワーク管理者に相談してください。
プロジェクターの無線 LAN 設定と有線 LAN 設 定が同じネットワークアドレスに設定されていません か?	無線 LAN と有線 LAN は同じネットワークアドレスではご 使用になれません。 無線 LAN と有線 LAN で別のネッ トワークアドレスに設定してください。
コンピュータの有線ネットワークアダプターが有効に なっていますか?	お使いのコンピュータのマニュアルを参照し、有線ネットワー クアダプターを有効にしてください。
プロジェクターと通信できない(無線ネットワークをご使用の場合)

1. 共通

確認事項	対処法
プロジェクターの電源が入ってい ますか?	プロジェクターの電源を入れてください。
アクセスポイント等のネットワーク 機器の電源が入っていますか?	ネットワーク機器の電源を入れてください。
「スタンバイモード」の設定が「通 常」または「高速起動」になっ ていますか?	スタンバイ状態でネットワーク機能をご使用になりたい場合には、「スタンバ イモード」(叫2-15)を「通常」または「高速起動」に設定してください。
「USB スタンバイ給電」の設定が「無効」になっていますか?	USB ワイヤレスアダプターはスタンバイモードでは動作しません。スタンバイ モードで無線ネットワークを使用する場合は、「有効」に設定します。
IP アドレスなどのネットワーク設定 は正しく設定されていますか ?	ネットワークインフォメーション – 無線 LAN ンフォメーションでネットワーク設 定を確認してください。 詳細は、ネットワーク管理者に相談してください。
USB ワイヤレスアダプター(オプ ション品:USB-WL-5G)がプ ロジェクターの USB タイプ A 端 子に接続されていますか?	USB ワイヤレスアダプターを接続してください。
オプション品の USB ワイヤレスア ダプターを使用していますか?	本機で使用できる USB ワイヤレスアダプターはオプション品の USB-WL- 5G のみです。
USB ワイヤレスアダプターの LED が点滅していますか?	USB ワイヤレスアダプター接続後、1 分以上待っても点滅しない場合は、 USB ワイヤレスアダプターを差し直してください。 それでも状況が変わらなければ、USB ワイヤレスアダプターが故障している 可能性があります。販売店に問い合わせてください。
プロジェクターで対応していない 暗号方式が使用されていません か?	プロジェクターの対応している暗号方式は、以下の通りです。 ・WPA2-PSK (AES) ・WPA2-PSK (TKIP) ・WPA-PSK (AES) ・WPA-PSK (TKIP) ・WEP128bit (INFRASTRUCTURE モードのときのみ使用可能) ・WEP64bit (INFRASTRUCTURE モードのときのみ使用可能) 上記の暗号方式以外の暗号を使用している無線ネットワークには、本機 を接続することはできません。
プロジェクターで使用している無 線周波数と、端末で使用でき る周波数があっていますか?	ご使用の端末の使用可能な周波数を確認してください。 プロジェクターの設定を使用可能な周波数に変更してください。 チャンネル設定の変更をおすすめします。
コンピュータの無線ネットワーク アダプターが有効になっています か ?	お使いのコンピュータのマニュアルを参照し、無線ネットワークアダプターを有効にしてください。
コンピュータの DHCP 設定が無 効になっていませんか?	コンピュータの DHCP 設定を有効に設定してください。 コンピュータのネットワーク設定手順および無線接続手順については、コン ピュータまたは無線 LAN デバイスのマニュアルをご参照ください。

プロジェクターと通信できない(無線ネットワークをご使用の場合)(つづき)

1. 共通(つづき)

確認事項	対処法
IP アドレスが重複していません	IP アドレスが重複している場合は、お使いの機器の WiFi を OFF にし、
か ?	再度 ON にしてください。
ネットワーク - 無線ネットワー クメニューがオフに設定されて いませんか?	ネットワーク - 無線ネットワークメニューをオンに設定してください。
USB ワイヤレスアダプターが	USB ワイヤレスアダプターを本機の USB タイプ A 端子に接続してくださ
本機に接続されていますか?	い。

2. SIMPLE ACCESS POINT

確認事項	対処法
接続台数が 10 台を超えてい ませんか ?	接続台数を確認してください。 Simple Access Point モードでの最大接続台数は 10 台です。 最大接続台数をこえる機器を接続している場合は、現在接続中の機器を 切断してから接続してください。

3. INFRASTRUCTURE

確認事項	対処法
ルーター等でファイヤーウォール やパケットフィルタリングが設定 されていませんか?	ネットワーク管理者に相談してください。
接続する無線ネットワークに 暗号が使用されていません か ?	プロジェクターの暗号設定を再設定して、再接続してください。
SSID 検索リストメニューに表 示される無線ネットワークの信 号強度が弱くないですか?	 ・プロジェクターと無線機器の距離を近づけてください。 ・スチール製のドアが近くにある場合、電波が届かない可能性があります。 その場合は、ドアから離してください。 ・干渉している無線機器が存在する可能性もありますので、ネットワーク 管理者に相談してください。
プロジェクターの無線 LAN 設 定と有線 LAN 設定が同じ ネットワークアドレスに設定さ れていませんか?	無線 LAN と有線 LAN は同じネットワークアドレスではご使用になれません。 無線 LAN と有線 LAN で別のネットワークアドレスに設定してください。

無線 LAN と有線 LAN が同時に使えない

確認事項	対処法
プロジェクターの無線 LAN 設 定と有線 LAN 設定が同じネッ トワークアドレスに設定されてい ませんか ?	無線 LAN と有線 LAN は同じネットワークアドレスではご使用になれません。 無線 LAN と有線 LAN で別のネットワークアドレスに設定してください。
ルーターを経由して異なるネットワークへアクセスしようとしてい	異なるネットワークにアクセスできるのは有線 LAN と無線 LAN のどちらか片 方です。
ませんか ? 	有線 LAN、無線 LAN のどちらか片方のデフォルトゲートウェイを 0.0.0.0 にしてください。

Web(プロジェクター Web コントロール)が正しく表示されない

確認事項	対処法
Web ブラウザに正しい URL を 入力していますか?	Web ブラウザにプロジェクターの IP アドレスを入力してください。
JavaScript [®] が有効になって いますか?	JavaScript® を有効にしてください。 設定方法は、ご使用の Web ブラウザによって異なります。詳細は Web ブ ラウザのヘルプ等を参照してください。
推奨している Web ブラウザを 使用していますか?	推奨ブラウザは、Internet Explorer®11/Microsoft® Edge です。 推奨ブラウザ以外では正しく表示されない可能性があります。
前に表示した画面のキャッシュ が残っていませんか?	キャッシュをクリアしてください。 設定方法は、ご使用の Web ブラウザによって異なります。詳細は Web ブ ラウザのヘルプ等を参照してください。
ブラウザの Cookie の設定を 無効にしていませんか?	Cookie を無効に設定している場合、モバイル用の画面表示に切り替える ことができません。ご使用のブラウザの Cookie の設定を有効にしてください。

Crestron e-Control[®] が表示されない

確認事項	対処法
Adobe [®] Flash [®] Player が インストールされていますか ?	Crestron e-Control [®] を表示するためには、Adobe [®] Flash [®] Player が必要です。
	Adobe® Flash® Player をインストールしてください。
Adobe [®] Flash [®] Player 非 対応のブラウザを使用していま せんか?	Adobe® Flash® Player 対応のブラウザを使用してください。
プロジェクター Web コントロー ルのネットワーク設定 – その 他の設定画面で Crestron e-Control [®] の設定が無効に なっていませんか ?	プロジェクター Web コントロールのネットワーク設定 – その他の設定画面で Crestron e-Control® の設定を有効にしてください。
プロジェクター Web コントロー ルのネットワーク設定 – 共通 設定画面で Crestron がオフ に設定されていませんか?	プロジェクター Web コントロールのネットワーク設定 – 共通設定画面で Crestron をオンに設定してください。

メールが正しく送れない

確認事項	対処法
メール設定は正しいですか?	プロジェクター Web コントロールのメール設定の画面で設定を確認してく ださい。
送信者 E-mail アドレスの設定 は正しいですか?	有効なメールアドレスを設定してください。
テストメールが正しく送れます か?	プロジェクター Web コントロールのメール設定の画面で [テストメール送 信] ボタンを押してテストメールが正しく送信できることを確認してくださ い。
特定のエラー / 警告に対する メールだけですか ?	プロジェクター Web コントロールの障害通知設定の画面で特定のエラー / 警告が送信される設定になっているか確認してください。

特定のアドレスにだけメールが届かない

確認事項	対処法
メールアドレスの設定は正しいで すか ?	プロジェクター Web コントロールのメール設定の画面で設定を確認してください。
メールサーバーでアドレスのフィル タリングや転送設定が行われて いませんか?	ネットワーク管理者に相談してください。

スケジュールが正しく実行されない

確認事項	対処法
プロジェクターの電源が入ってい ますか?	プロジェクターの電源を入れてください。
「スタンバイモード」の設定が「通 常」または「高速起動」になっ ていますか?	スタンバイ状態でスケジュール機能をご使用になりたい場合には、「スタン バイモード」(単2-15)を「通常」または「高速起動」に設定してください。
時刻の設定は正しいですか?	日付と時刻の設定を確認してください。
スケジュールで表示する画像 データが登録されていますか? (マイ イメージのイベントを設定 している場合)	専用のアプリケーションソフトを使用して、表示する画像データをプロジェ クターに登録してください。
スケジュールで表示するメッセー ジデータが登録されていますか? (メッセンジャーのイベントを設定 している場合)	専用のアプリケーションソフトを使用して、表示するメッセージデータをプロ ジェクターに登録してください。
プロジェクターの光源は点灯して いますか?	マイ イメージ、メッセンジャー、ブランクのイベントは、光源が点灯してい ないと実行されません。マイ イメージ、メッセンジャー、ブランクのイベント に関しては、光源が点灯している状態で実行されるようなスケジュールの プログラムを作成してください。

※プロジェクターの状態によっては、スケジュール機能が正しく動作しないことがあります。

スケジュールが正しく実行されない(つづき)

確認事項	対処法
使用するプログラムが正しく設 定されていますか?	プロジェクター Web コントロールのスケジュール設定の設定を確認してください。
同時刻に設定されているイベ ントがありませんか?	イベントによっては、同時刻だと実行できないイベントもあります。時間をず らすか、順序を入れ替えてください。

※プロジェクターの状態によっては、スケジュール機能が正しく動作しないことがあります。

時刻の設定が正しくない

確認事項	対処法
日付時刻の設定が正しく設 定されていますか?	プロジェクター Web コントロールの日付 / 時刻設定メニューもしくはプロジェ クター本体の日付と時刻の設定メニューで設定を確認してください。
ネットワーク経由で時刻を取 得する場合、ネットワークに 正しく接続されていますか?	ネットワークに接続してください。
ネットワーク経由で時刻を取 得する場合、SNTP サーバー の設定が正しく行われていま すか?	SNTP サーバー設定を確認してください。 SNTP サーバーの設定に関してはネットワーク管理者に確認してください。
ネットワーク経由で時刻を取 得する場合、時差の設定が 正しく行われていますか?	ネットワーク経由で時刻を取得する場合は、時差の設定を行わないと正し い時刻が表示されません。 時差の設定を行ってください。

ネットワークブリッジを使用して外部機器の制御ができない

確認事項	対処法
ネットワークブリッジの設定が 有効になっていますか?	その他 - 特別な設定 - 通信設定 - 通信タイプメニューの設定を確認してく ださい。
「スタンバイモード」の設定が 「通常」または「高速起動」 になっていますか?	スタンバイ状態でネットワークブリッジをご使用になりたい場合には、「スタン バイモード」(単2-15)を「通常」または「高速起動」に設定した後に、 「通信タイプ」(単2-31)で「ネットワークブリッジ (無線)」または「ネッ トワークブリッジ (有線)」を選択してください。
シリアル設定が正しいです か?	プロジェクターと外部機器のシリアル設定を確認してください。

取扱説明書

プロジェクター

MP-JU4001J/MP-JW4001J/MP-JW3501J

(形名:MP-JU4001/MP-JW4001/MP-JW3501)

【技術情報編】

本製品の仕様や通信機能、またエラーメッセージや故障と思われる現象への対処について説明します。



ご使用の前に、必ず本書を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

もくじ

対応信号について 4 - 2
対応信号例 4 - 2
入出力信号端子 4 - 5
コマンド制御 4 - 9
RS-232C通信によるコマンド制御 4 - 9
ネットワークからのコマンド制御4 - 12
ネットワークブリッジによるコマンド制御 …4 - 16
RS-232C通信/ネットワークコマンド一覧 4 - 18
PJLink [™] 4 - 32
PJLink ™4 - 32 故障かなと思ったら4 - 34
PJLink ™4 - 32 故障かなと思ったら4 - 34 一括して初期設定にもどす4 - 34
PJLink [™]
PJLink [™]
PJLink [™]
PJLink ™
PJLink ™

ソフトウェアモジュールに関す	する
ソフトウェア使用許諾	
契約書原文(英文)	

対応信号について

<u>対応信号例 (コンピュータ入力)</u>

解像度	信号モード	水平周波数	垂直周波数	規格
(水平 x 垂直)		(kHz)	(Hz)	
720 x 400	TEXT	37.9	85	VESA
640 x 480	VGA (60Hz)	31.5	59.9	VESA
	VGA (72Hz)	37.9	72.8	VESA
	VGA (75Hz)	37.5	75	VESA
	VGA (85Hz)	43.3	85	VESA
800 x 600	SVGA (56Hz)	35.2	56.3	VESA
	SVGA (60Hz)	37.9	60.3	VESA
	SVGA (72Hz)	48.1	72.2	VESA
	SVGA (75Hz)	46.9	75	VESA
	SVGA (85Hz)	53.7	85.1	VESA
832 x 624	Mac 16" mode	49.7	74.5	
1024 x 768	XGA (60Hz)	48.4	60	VESA
	XGA (70Hz)	56.5	70.1	VESA
	XGA (75Hz)	60	75	VESA
	XGA (85Hz)	68.7	85	VESA
1152 x 864	1152 x 864 (75Hz)	67.5	75	VESA
1280 x 768	WXGA (60Hz)	47.7	60	VESA
1280 x 800	1280 x 800 (60Hz)	49.7	60	VESA
1280 x 1024	SXGA (60Hz)	64	60	VESA
	SXGA (75Hz)	80	75	VESA
	SXGA (85Hz)	91.1	85	VESA
*1) 1366 x 768	WXGA (60Hz)	47.7	59.8	VESA
1440 x 900	WXGA+ (60Hz)	55.9	59.9	VESA
1600 x 900	WXGA++ (60Hz)	60	60	VESA
1680 x 1050	WSXGA+ (60Hz)	65.3	60	VESA
1600 x 1200	UXGA (60Hz)	75	60	VESA
1920 x 1080	Full HD (60Hz)	67.5	60	VESA
*2) 1920 x 1200	WUXGA (60Hz)	74	60	VESA
	リデュースドブランキング			

*1) MP-JU4001J を除く

*2) MP-JU4001J のみ

<u>対応信号例 (HDMI1/2)</u>

解像度	信号モード	水平周波数	垂直周波数	規格
(水平 x 垂直)		(kHz)	(Hz)	
720 x 400	TEXT	37.9	85	VESA
640 x 480	VGA (60Hz)	31.5	59.9	VESA
	VGA (72Hz)	37.9	72.8	VESA
	VGA (75Hz)	37.5	75	VESA
	VGA (85Hz)	43.3	85	VESA
800 x 600	SVGA (56Hz)	35.2	56.3	VESA
	SVGA (60Hz)	37.9	60.3	VESA
	SVGA (72Hz)	48.1	72.2	VESA
	SVGA (75Hz)	46.9	75	VESA
	SVGA (85Hz)	53.7	85.1	VESA
832 x 624	Mac 16" mode	49.7	74.5	
1024 x 768	XGA (60Hz)	48.4	60	VESA
	XGA (70Hz)	56.5	70.1	VESA
	XGA (75Hz)	60	75	VESA
	XGA (85Hz)	68.7	85	VESA
1152 x 864	1152 x 864 (75Hz)	67.5	75	VESA
1280 x 768	WXGA (60Hz)	47.7	60	VESA
1280 x 800	1280 x 800 (60Hz)	49.7	60	VESA
1280 x 1024	SXGA (60Hz)	64	60	VESA
	SXGA (75Hz)	80	75	VESA
	SXGA (85Hz)	91.1	85	VESA
1366 x 768	WXGA (60Hz)	47.7	59.8	VESA
1440 x 900	WXGA+ (60Hz)	55.9	59.9	VESA
1600 x 900	WXGA++ (60Hz)	60	60	VESA
1400 x 1050	SXGA+ (60Hz)	65.2	60	VESA
1680 x 1050	WSXGA+ (60Hz)	65.3	60	VESA
1600 x 1200	UXGA (60Hz)	75	60	VESA
*1) 1920 x 1200		74	60	VESA
720(1440) × 480;	リテューストノ Jノキンク 490:	15.7	60	
720(1440) x 4801	4001 E76;	15./	<u> </u>	
720(1440) X 5701	370i	21 5	50	CEA
720 x 460p		21.2	<u> </u>	
120 x 570p	220p (50Uz)	31.3	50	CEA
1280 x 720p	720p (50HZ)	37.3	50	CEA
		40 201		
1920 X 10801		20.1 22.0	50	
1020 x 1090~				
1920 X 1080b			50	CEA
		07.5	00	

*1) MP-JU4001J のみ

〈お知らせ〉

- 本機とコンピュータを接続する前に、端子形状、信号レベル、タイミングや解像度などの適合性をあらかじめご確認ください。
- コンピュータによっては複数ディスプレイ表示モードを持っているものがあり、本機では対応できないモードを含む場合があります。
- 入力信号によってはフルサイズで表示されない場合があります。上記の解像度をご参照ください。
- 信号処理の過程でプロジェクターの液晶パネルの解像度に変換、表示されます。入力信号と液晶パネルの解像度が同一の場合に、映像表示は最良となります。
- 画面の自動調整は入力信号によって正しく動作しない場合があります。
- SYNC ON G、コンポジットシンク信号などの同期信号の場合は、正常に表示できない場合があります。
- 本書に記載している挿絵は、説明のための一例です。お客様のプロジェクターとは若干の相違がある場合があります。

入出力信号端子

〈お知らせ〉

- 本機の各接続端子は凹んでいるので、L 形ではなく、ストレート形プラグのケーブルを使用してください。
- コンピュータ入力1端子から入力される信号のみ、コンピュータ入力2/モニタ出力端子から出力することができます。 コンピュータ入力2/モニタ出力端子をモニタ出力端子として使用する場合は、コンピュータ入力メニューで、コンピュータ入力2
 をモニターアウトに設定する必要があります。(□2-11)



④ コンピュータ入力 1, ⑧ コンピュータ入力 2/ モニタ出力

D-sub 15 ピン ミニシュリンクジャック

< コンピュータ信号 >

・映像信号: RGB セパレート、アナログ 0.7Vp-p、75 Ω終端(正極性)

- ・水平/垂直同期信号(セパレートシンク): TTL レベル(正極性/負極性)
- ・ 複合同期信号(コンポジットシンク); TTL レベル

ピン No.	信号	ピン No.	信号	ピン No.	信号
1	映像信号 赤	6	接地 赤	11	-
2	映像信号 緑	7	接地 緑	12	 (A) : SDA (DDC data) (B) : (No connection)
3	映像信号 青	8	接地 青	13	水平同期信号/複合同期信号
4	-	9	-	14	垂直同期信号
5	接地	10	接地	15	 (A): SCL (DDC clock) (B): (No connection)

< コンポーネントビデオ信号 >

・Y:1.0±0.1Vp-p(同期信号含む)、75Ω終端

・Cb/Pb:0.7±0.1Vp-p、75Ω終端

・Cr/Pr:0.7±0.1Vp-p、75Ω終端

・信号方式:480i@60,480p@60,576i@50,720p@50/60,1080i@50/60,1080p@50/60

ピン No.	信号	ピン No.	信号	ピン No.	信号
1	Cr/Pr	6	接地 Cr/Pr	11	-
2	Υ	7	接地 Y	12	-
3	Cb/Pb	8	接地 Cb/Pb	13	-
4	-	9	-	14	-
5	接地	10	接地	15	-

(次ページにつづく)

00000 60000 02346



©ビデオ

RCA ジャック

・信号方式:NTSC, PAL, SECAM, PAL-M, PAL-N, NTSC4.43, PAL(60Hz)

・入力信号:1.0±0.1Vp-p、75Ω終端

D HDMI 1, E HDMI 2

HDMI[®] 映像/音声ジャック

・音声信号方式: リニア PCM (サンプリング周波数: 32/44.1/48 kHz)

ピン No.	信号	ピン No.	信号	ピン No.	信号
1	T.M.D.S. Data2 +	8	T.M.D.S. Data0 Shield	15	SCL
2	T.M.D.S. Data2 Shield	9	T.M.D.S. Data0 -	16	SDA
3	T.M.D.S. Data2 -	10	T.M.D.S. Clock +	17	DDC/CEC Ground
4	T.M.D.S. Data1 +	11	T.M.D.S. Clock Shield	18	+5V Power
5	T.M.D.S. Data1 Shield	12	T.M.D.S. Clock -	19	Hot Plug Detect
6	T.M.D.S. Data1 -	13	CEC		
7	T.M.D.S. Data0 +	14	Reserved (N.C. on device)		

⑥音声入力 1

φ 3.5 ステレオミニジャック ・入力信号:47k Ω終端

音声入力 2 ⑥ R, 🕀 L

RCA ジャック× 2 ・入力信号: 47k Ω終端

①音声出力

φ 3.5 ステレオミニジャック・出力信号:出力インピーダンス 1k Ω

J RS-232C

D-sub 9 ピンプラグ RS-232C 通信については、「RS-232C 通信によるコマンド制御」(□□4-9~11)をご参照ください。

ピン No.	信号	ピン No.	信号	ピン No.	信号
1	_	4	_	7	RTS
2	RD	5	接地	8	CTS
3	TD	6	_	9	-

(次ページにつづく)





0000

54320



低 USB タイプ A

USB A タイプ ジャック

ピン No.	信号
1	+ 5V
2	ーデータ
3	+データ
4	接地

4 3 2

\odot $(\bigcirc$ -<u>000</u> 上 R 音声入力2

① USB タイプ B

USB mini B タイプ ジャック

ピン No.	信号
1	VBUS
2	ーデータ
3	+データ
4	_
5	接地



M LAN

RJ-45 ジャック

ピン No.	信号	ピン No.	信号
1	TX +	5	_
2	ТХ —	6	RX –
3	RX +	7	_
4	_	8	_

5 ⁶ 7 ⁸

コンピュータ入力端子へのコンポーネントビデオ信号の入力について



コンピュータ入力 1 またはコンピュータ入力 2 端子へのコンポーネントビデオ信号の入力には、RCA-D サブ変換ケーブルまたはア ダプタを使用してください。ケーブルまたはアダプタに要求されるピン仕様については、 **④コンピュータ入力 1**, **⑤コンピュータ入力 2**/ モニタ出力(単4-5)を参照してください。

コマンド制御

本機は、RS-232C 通信またはネットワーク(有線/無線 LAN)で接続したコンピュータから RS-232C コ マンドを使用して制御することができます。

ネットワークへの接続については、【ネットワーク編】 をご参照ください。 対応する RS-232C コマンドについては、 「RS-232C 通信/ネットワークコマンド一覧」(□□4-18 ~ 31)をご参照ください。

RS-232C 通信によるコマンド制御

機器の接続と通信設定

- 1. 本機とコンピュータの電源を切ってください。
- 2. コンピュータの RS-232C 端子と本機の RS-232C 端子を、RS-232C (クロス) ケーブルで接続します。 ケーブルは下図の配線仕様のものをご使用ください。
- 3. コンピュータの電源を入れ、コンピュータが起動した後に、本機の電源を入れてください。
- 4. 「その他」メニューの「特別な設定」-「通信設定」の通信タイプを「オフ」に設定してください。



プロトコル

■ボーレート:19200

■シリアル設定:8N1

(初期設定)(□ 応用編>その他メニュー>特別な設定>通信設定)

送信コマンド形式 ("h" は 16 進数を示します。)

バイト番号	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
אעדב 📃				ヘッダ		データ							
	ヘッダ	コード	パケット	データサイズ		CRC	CRC フラグ		アクション		タイプ		ノグコード
機能	L	Н	7.991	L	Н	L	Н	L	Н	L	Н	L	Н
Set						(aL)	(ан)	01h	00h	(bL)	(bн)	(CL)	(cH)
Get						(aL)	(ан)	02h	00h	(bL)	(bн)	00h	00h
Increment	BEh	EFh	03h	06h	00h	(aL)	(ан)	04h	00h	(bL)	(bн)	00h	00h
Decrement						(aL)	(ан)	05h	00h	(bL)	(bн)	00h	00h
Execute						(aL)	(ан)	06h	00h	(bL)	(bн)	00h	00h

■ヘッダ

[ヘッダコード] :	BE EFh(固定)
--------------	------------

[パケット] : 03h(固定)

[データサイズ] : 06 00h (固定)

[CRC フラグ] :「RS-232C 通信/ネットワークコマンド一覧」(山4-18~31)をご参照ください。

■データ

- [アクション] :機能別コードを設定してください。
 - (1) Set《設定》: 01 00h
 [タイプ]で指定した項目 [(bL)(bH)]を、[セッティング]で指定した値 [(cL)(cH)] に従って、設定 を変更します。
 - (2) Get《取得》: 02 00h
 [タイプ]で指定した項目 [(bL)(bH)]の設定値を読み出します。
 - (3) Increment《増加》: 04 00h [タイプ]で指定した項目 [(bL)(bH)]の設定値を1増やします。
 - (4) Decrement《減少》: 05 00h
 [タイプ]で指定した項目 [(bL)(bH)]の設定値を1減らします。
 - (5) Execute《実行》:06 00h
 [タイプ]で指定した機能 [(bL)(bH)]を実行します。
- [タイプ] :「RS-232C通信/ネットワークコマンド一覧」(□4-18~31)をご参照ください。
- [セッティングコード]: 「RS-232C 通信/ネットワークコマンド一覧」 (□4-18~31) をご参照ください。

応答コードおよびエラーコード ("h" は 16 進数を示します。)

- ACK 応答:06h
 Set、Increment、Decrement、Execute コマンドを本機が正常受信し、[タイプ]で指定された 項目の設定を変更した場合、このコードを返します。
- (2) NAK 応答: 15h 本機が無効なコマンドを受信した場合や、本機がコマンドを正しく受信できなかった場合など、本機が受信したコマンドを理解できなかった場合、このコードを返します。このコードを受信したら、送信したコマンドを確認して、再度同じコマンドを送信してください。
- (3) エラー応答:1Ch + 00 00h (00 00h:エラーコード) 本機がコマンドを正常受信し、何らかの理由で実行できなかった場合、エラーコードを付けて返します。 このコードを受信したら、送信したコマンドや、本機の設定状態をご確認ください。
- (4) データ応答: 1Dh + xx xxh (xx xxh: データ)
 Get コマンドを本機が正常受信した場合、2 バイトの応答コード (データ) を付けて返します。

〈お知らせ〉

- 機器の接続については、各機器の説明書をよくお読みのうえ、適切なケーブルで正しく接続してください。
- 本機が未定義のコマンドあるいはデータを受け取った場合は、動作を保証できません。
- 応答コードと他のコードの間隔は 40ms 以上あけてください。
- 本機に電源を接続したときや光源点灯後に、本機からテスト用のデータが出力されますが、故障ではありません。
- ウォームアップ中、本機はコマンドを受信できません。
- コマンドの長さが所定より長い場合は余分なコードを無視し、短い場合は、NAK 応答をコンピュータへ送信します。

<u>ネットワークからのコマンド制御</u>

ネットワーク経由で RS-232C コマンドを使用し、Web ブラウザ搭載のコンピュータから本機を操作、設定することができます。

RS-232C 通信コマンドの詳細については、「RS-232C 通信/ネットワークコマンド一覧」(□4-18~31) をご覧ください。

〈お知らせ〉

● 無線と有線の LAN を同時に使用してデータを転送した場合、データを正しく処理できない可能性があります。

<u>接続</u>

- 1. 本機とコンピュータの電源を切ってください。
- 2. 有線 LAN を使用する場合は、LAN ケーブルを使って本機の LAN 端子をコンピュータの LAN 端子に 接続してください。図に示す仕様を満たすケーブルを使用してください。 無線 LAN を使用している場合は、 USB ワイヤレスアダプターを本機の USB タイプ A 端子に差し込みます。
- 3. コンピュータの電源を入れ、コンピュータが起動した後に、本機の電源を入れてください。



・LAN ケーブル(CAT-5e 以上)

٦

コマンド制御ポート

コマンド制御には、以下の2ポートが割り当てられています。 TCP #23 (ネットワーク制御ポート1 (ポート:23)) TCP #9715 (ネットワーク制御ポート2 (ポート:9715))

以下の項目を Web ブラウザから設定してください。

ポート設定

~~										
	ネットワーク制御 ポート 1	ポートオープン	、 ットワーク制御 ポート 1(ポート:23)の " ポートオープン "[有効] のチェックボッ マをオンにしてネットワーク制御 ポート 1 を有効にしてください。 別期設定では有効にチェックが入っています。							
	(ポート: 23)	認証	認証設定が必要なときは、"認証"[有効]のチェックボックスをオンにして認証を有効 にしてください。 初期設定では有効にチェックが入っておらず、無効となっています。							
	ネットワーク制御 ポート 2	ポートオープン	ネットワーク制御 ポート 2 (ポート : 9715)の " ポートオープン "[有効] のチェックボッ クスをオンにしてネットワーク制御 ポート 2 を有効にしてください。 初期設定では有効にチェックが入っています。							
	(ボート:9715)	認証	認証設定が必要なときは、"認証"[有効]のチェックボックスをオンにして認証を有効 にしてください。 初期設定では有効にチェックが入っています。							

認証設定を有効にした場合は、以下の設定が必要です。

セ	キュリティ設定		
	ネットワーク制御	パスワード パスワード再入力	パスワードを設定してください。 本設定が ネットワーク制御 ポート 1(ポート:23) と、 ネットワーク制御 ポート 2(ポート: 9715) で同じであることを確認してください。 初期設定は空白です。

コマンド制御設定

• TCP #23

コマンド形式

RS-232C 通信と同じです。RS-232C 通信コマンドフォーマットを参照してください。(□4-10)

応答コード / エラーコード ("h" は 16 進数を示します)

TCP # 23 に使用される応答 / エラーコードのうち 4 つは、RS-232C 通信(1)~(4)と同じです。認証エラー応答(5) が追加になります。

- (1) ACK 応答: 06h
 RS-232C 通信によるコマンド制御をご参照ください。(□4-11)
- (2) NAK 応答: 15h
 RS-232C 通信によるコマンド制御をご参照ください。(□□4-11)
- (3) エラー応答: 1Ch + 0000h RS-232C 通信によるコマンド制御をご参照ください。(□□4-11)
- (4) データ応答: 1Dh + xxxxh RS-232C 通信によるコマンド制御をご参照ください。(□□4-11)
- (5) 認証エラー応答: 1Fh + 0400h 認証エラーが発生した場合に本エラーコードを返します。

• TCP #9715

コマンド形式

TCP#9715の先頭と末尾にデータが追加されたコマンドが使用されます。

ヘッダ	データ長	RS-232C コマンド	チェックサム	接続 ID		
02h	0Dh	13 バイト	1 バイト	1 バイト		

[ヘッダ]

02,固定

[データ長] PS-2320 コマンドのバイト트 (

RS-232C コマンドのバイト長(0Dh, 固定) [RS-232C コマンド]

- RS-232C 通信コマンドフォーマットを参照してください。(□□4-10)

[チェックサム]

ヘッダからチェックサムまでの和の下位8ビットが0となる値

[接続 ID]

0~255のランダムな値(この数値は応答データに付加されます。)

〈お知らせ〉

- ●本機が未定義のコマンドあるいはデータを受け取った場合は、動作を保証できません。
- ●応答コードと他のコードの間隔は 40ms 以上あけてください。
- ●ウォームアップ中、本機はコマンドを受信できません。

応答コード / エラーコード ("h" は 16 進数を示します)

TCP#23の応答 / エラーコードを使用する為、接続 ID が付加されます。 接続 ID は送信データ形式と同じです。

- (1) ACK 応答: 06h+ ××h (××h : 接続 ID)
- (2) NAK 応答: 15h+ ××h
- (3) エラー応答:1Ch+0000h+××h
- (4) データ応答: 1Dh + xxxxh+ ××h
- (5) 認証エラー応答:1Fh + 0400h+ ××h
- (6) ビジー応答: 1Fh + xxxxh+ ××h

本機がビジー状態である場合、エラーコードを返します。送信コードを確認して再度同じコマンドを送信してください。

ネットワーク接続の自動切断

接続後に30秒間通信がなければ、TCP接続は自動的に切断されます。

認証

認証が有効となっている場合、認証が成功していないコマンドを本機は受信しません。本機の認証にはMD5(Message Digest 5) というアルゴリズムを使用しています。認証機能を有効にして本機をコマンド制御するには、本機から送信されるランダムな8バイト データとパスワードをMD5アルゴリズムで処理した認証データを、送信コマンドの先頭に追加する必要があります。

以下は認証手順の例です。

パスワード: "password" (例) ランダム 8 バイトデータ: "a572f60c" (例)

- プロジェクターを選び、ランダムな8バイトデータを受信します。
 → "a572f60c"
- 2) 受信したランダムな 8 バイトデータとパスワードを結合します。
 → "a572f60cpassword"
- 3) MD5 アルゴリズムで処理します。
 → "e3d97429adffa11bce1f7275813d4bde"
- 4) 認証データをコマンドの先頭に付加し、下記データを送信します。
 → "e3d97429adffa11bce1f7275813d4bde" + コマンド
- 5) 送信データが正しければ、コマンドが実行されて ACK またはデータ応答が返されます。送信データが正しくない場合、認証エラ ー応答が返されます。

〈お知らせ〉

● ネットワークで接続している間、2回目以降のコマンドデータ送信では認証データを省略できます。

<u>ネットワークブリッジによるコマンド制御</u>

本機はネットワークブリッジ機能に対応しています。本機とRS-232C 通信で接続した外部機器を、本機とネットワーク(有線/無線 LAN)で接続したコンピュータから、ネットワーク端末と同様に制御することができます。 詳しくは【ネットワーク編】「ネットワークブリッジ」(□□3-72 ~ 74)をご覧ください。

〈お知らせ〉

● 無線と有線の LAN を同時に使用してデータを転送した場合、データを正しく処理できない可能性があります。

<u>接続</u>

- 1. 有線 LAN を使用する場合は、LAN ケーブルを使って本機の LAN 端子をコンピュータの LAN 端子に 接続してください。図に示す仕様を満たすケーブルを使用してください。 無線 LAN を使用している場合は、 USB ワイヤレスアダプターを本機の USB タイプ A 端子に差し込みます。
- 2. 本機の RS-232C 端子と外部機器の RS-232C 端子を、 RS-232C ケーブルで接続します。
- 3. コンピュータの電源を入れ、コンピュータが起動した後に、本機の電源を入れてください。
- 4. 「その他」メニューの「特別な設定」から「通信設定」を選択し、「通信タイプ」で「ネットワークブリッジ」を選択してください。



通信設定

通信設定は、本機の「通信設定」メニューから設定を行ってください。(「その他」メニューの「特別な設定」から「通信設定」を選択)

項目	条 件							
ボーレート	4800bps / 9600bps / 19200bps / 38400bps							
データ長	8 bit (固定)							
パリティ	NONE/ODD/EVEN							
スタートビット	1 bit (固定)							
ストップビット	1 bit (固定)							
通信方式	半二重通信 / 全二重通信							

〈お知らせ〉

- 本機と外部機器を接続するには、各機器のマニュアルを読み、適切なケーブルで正しく接続してください。
- 接続する前に電源を切り、本機と外部機器のプラグを抜いてください。
- 送信方法については、【ネットワーク編】「通信方式」(□□3-74)をご覧ください。

<u>RS-232C通信/ネットワークコマンド一覧</u>

RS-232C 通信、またはネットワーク経由で、本機をコマンドで制御する場合の対応コマンドは下表の通りです。

	7	やレーションタイプ			ッダコード		コマンドデータ							
項目名		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード					
	Cat	オフ(スタンバイ)	BE EF	03	06 00	2A D3	01 00	00 60	00 00					
	Set	オン(光源オン)	BE EF	03	06 00	BA D2	01 00	00 60	01 00					
1°D			BE EF	03	06 00	19 D3	02 00	00 60	00 00					
		Get	応答コード(データ)例											
		001	00 00	0 C	1 00	02 00								
			[スタンバ	イ] [光	[源オン][冷	动動作中]							
		コンビュータ人力 1	BE EF	03	06 00	FE D2	01 00	00 20	00 00					
		コンビュータ人力 2	BE EF	03	06 00	3E DO	01 00	00 20	04 00					
			BE EF	03	06 00	CE D5	01 00	00 20	0B 00					
入力切替	Set	HDMI 1	BE EF	03	06 00	OE D2	01 00	00 20	03 00					
			BE EF	03	06 00	6E D6	01 00	00 20	0D 00					
			BE EF	03	06 00	SE DI	01 00	00 20	06 00					
			BE EF	03	06 00	GE D3	01 00	00 20	01 00					
		Get	BE EF	03	06 00		02 00	20 20	00 00					
					06 00) <i>(</i> 別	09 08	02 00	20 60	00 00					
			□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□											
			[止市] UU UU [ファンエラー] 02 00											
					02.0	0								
エラーステータス		Get			03.0									
				エノー 」 Tラー 1	04 0	0, JA 00 0								
			「伒温	тэ <u> </u>	07.0									
				ェノ 」 ターエラー	1 08 0	0, 0, 00								
				, <u> </u>] 000	0								
		Get	BE EF	03	06 00	7C D2	02 00	07 30	00 00					
拡大		Increment	BE EF	03	06 00	1A D2	04 00	07 30	00 00					
		Decrement	BE EF	03	06 00	CB D3	05 00	07 30	00 00					
		Get	BE EF	03	06 00	C8 D7	02 00	10 30	00 00					
拡大位置 水平		Increment	BE EF	03	06 00	AE D7	04 00	10 30	00 00					
		Decrement	BE EF	03	06 00	7F D6	05 00	10 30	00 00					
		Get	BE EF	03	06 00	34 D6	02 00	11 30	00 00					
拡大位置 垂直		Increment	BE EF	03	06 00	52 D6	04 00	11 30	00 00					
		Decrement	BE EF	03	06 00	83 D7	05 00	11 30	00 00					
	Set	通常表示	BE EF	03	06 00	83 D2	01 00	02 30	00 00					
静止		静止	BE EF	03	06 00	13 D3	01 00	02 30	01 00					
		Get	BE EF	03	06 00	B0 D2	02 00	02 30	00 00					
		<u> </u>	BE EF	03	06 00	83 F5	01 00	BA 30	06 00					
		<u>ナナユフル</u>	BE EF	03	06 00	23 F6	01 00	BA 30	00 00					
		レイイ	BE EF	03	06 00	B3 F/	01 00	BA 30	01 00					
	C	タイナミツク ナロノノギード		03			01 00	BA 30	04 00					
映像モード	Set			03		83 EE	01 00	BA 30	22 00					
				03			01 00	BA 30	41 00					
				03				BA 30	11 00					
				03		13 FA	01 00	DA 30	12 00					
		ユーザー - 3 Cot		03		83 FA	01 00	BA 30	12 00					
		Get	I RF FF	03	06 00	10 F6	02 00	BA 30	00 00					

	7	ペレーションタイプ			<u>^</u> "	ダコード		コマンドデータ			
項目名		設定内容					CRC	アクション	タイプ	セッティング	
						1	ノフク			<u>]-k</u>	
		Get	BEE	EF	03	06 00	89 D2	02 00	03 20	00 00	
明るさ		Increment	BEE	EF	03	06 00	EF D2	04 00	03 20	00 00	
		Decrement	BEE	EF	03	06 00	3E D3	05 00	03 20	00 00	
明るさリセット		Execute		EF	03	06 00	58 D3	06 00	00 70	00 00	
		Get	BEE	EF	03	06 00	FD D3	02 00	04 20	00 00	
コントラスト		Increment	BEE	EF	03	06 00	9B D3	04 00	04 20	00 00	
		Decrement			03	06 00	4A D2	05 00	04 20	00 00	
コントラスト リセット	ļ	Execute	BEF		03	06 00	A4 D2	06 00	01 /0	00 00	
		テフォルト -1	BEE	EF	03	06 00	07 E9	01 00	A1 30	20 00	
		カスタム - 1	BEE		03	06 00	07 FD	01 00	A1 30	10 00	
			BEE		03	06 00	97 E8	01 00	A1 30	21 00	
			BEE		03	06 00	97 FC	01 00	AI 30		
			BEE		03	06 00	67 E8	01 00	AI 30	22 00	
		ガスダム - 3 ニコナルト - 4			03	06 00	67 FC	01 00	AI 30	12 00	
					03	06 00			AI 30	23 00	
ガンフ	Set				03			01 00	A1 20	24 00	
1.74					03			01 00	A1 30	14 00	
		デフォルト -6			03		57 FA	01 00	Δ1 30	25 00	
		カフタム -6	BEE		03		57 EF	01 00	Δ1 30	15 00	
		デフォルト -7	BEE		03	06 00	A7 FA	01 00	A1 30	26 00	
		カスタム -7	BEE	FF	03	06 00	A7 FF	01 00	A1 30	16 00	
		デフォルト -8	BE	EF	03	06 00	37 EB	01 00	A1 30	27 00	
		<u> </u>	BE	EF	03	06 00	37 FF	01 00	A1 30	17 00	
		Get		EF	03	06 00	F4 F0	02 00	A1 30	00 00	
		Get	BE E	EF	03	06 00	08 FE	02 00	90 30	00 00	
カスタムガンマ		Increment	BE E	EF	03	06 00	6E FE	04 00	90 30	00 00	
ホイント・1		Decrement	BE E	EF	03	06 00	BF FF	05 00	90 30	00 00	
カスタムガンマ ポイント -1 リセット		Execute	BE E	EF	03	06 00	58 C2	06 00	50 70	00 00	
		Get	BE E	EF	03	06 00	F4 FF	02 00	91 30	00 00	
カスタムカンマー ポイント - 2		Increment	BE E	EF	03	06 00	92 FF	04 00	91 30	00 00	
		Decrement	BE E	EF	03	06 00	43 FE	05 00	91 30	00 00	
カスタムガンマ ポイント -2 リセット		Execute	BE E	EF	03	06 00	A4 C3	06 00	51 70	00 00	
カフタルガンフ		Get	BE E	EF	03	06 00	B0 FF	02 00	92 30	00 00	
ガスタムカノマ ポイント - 3		Increment	BE E	EF	03	06 00	D6 FF	04 00	92 30	00 00	
		Decrement	BE E	EF	03	06 00	07 FE	05 00	92 30	00 00	
カスタムガンマ ポイント -3 リセット		Execute	BE E	EF	03	06 00	E0 C3	06 00	52 70	00 00	
カフタノガンフ		Get	BE E	EF	03	06 00	4C FE	02 00	93 30	00 00	
ノノスタムカラマ ポイント - 4		Increment	BE E	EF	03	06 00	2A FE	04 00	93 30	00 00	
		Decrement	BE E	EF	03	06 00	FB FF	05 00	93 30	00 00	
カスタムガンマ ポイント -4 リセット		Execute	BE E	EF	03	06 00	1C C2	06 00	53 70	00 00	

	7	やレーションタイプ			<u>^"</u>	ダコー	۲	·		-	コマンド	データ	7
項目名		設定内容						CRC フラグ	アクシ	VeV	୨イ	プ	セッティング コード
		Get	BE	EF	03	06	00	38 FF	02	00	94	30	00 00
カスタムカンマー ポイント ト		Increment	BE	EF	03	06	00	5E FF	04	00	94	30	00 00
		Decrement	BE	EF	03	06	00	8F FE	05	00	94	30	00 00
カスタムガンマ ポイント -5 リセット		Execute	BE	EF	03	06	00	68 C3	06	00	54	70	00 00
カフクノボンフ		Get	BE	EF	03	06	00	C4 FE	02	00	95	30	00 00
ガスダムガンマー ポイント - 6		Increment	BE	EF	03	06	00	A2 FE	04	00	95	30	00 00
		Decrement	BE	EF	03	06	00	73 FF	05	00	95	30	00 00
カスタムガンマ ポイント -6 リセット	Execute		BE	EF	03	06	00	94 C2	06	00	55	70	00 00
<u> </u>		Get	BE	EF	03	06	00	80 FE	02	00	96	30	00 00
ガスダムガンマー ポイント・フ		Increment	BE	EF	03	06	00	E6 FE	04	00	96	30	00 00
		Decrement	BE	EF	03	06	00	37 FF	05	00	96	30	00 00
カスタムガンマ ポイント -7 リセット	Execute		BE	EF	03	06	00	D0 C2	06	00	56	70	00 00
+	Get		BE	EF	03	06	00	7C FF	02	00	97	30	00 00
カスタムカンマーポイント - 8		Increment		EF	03	06	00	1A FF	04	00	97	30	00 00
	Decrement		BE	EF	03	06	00	CB FE	05	00	97	30	00 00
カスタムガンマ ポイント -8 リセット		Execute	BE	EF	03	06	00	2C C3	06	00	57	70	00 00
		高	BE	EF	03	06	00	0B F5	01	00	B0	30	03 00
		<u> </u>	BE	EF	03	06	00	CB F8	01	00	B0	30	13 00
		中-1	BE	EF	03	06	00	9B F4	01	00	B0	30	02 00
			BE	EF	03	06	00	5B F9	01	00	B0	30	12 00
		中 -2	BE	EF	03	06	00	3B F7	01	00	B0	30	04 00
		<u> </u>	BE	EF	03	06	00	FB FA	01	00	B0	30	14 00
	Set		BE	EF	03	06	00	6B F4	01	00	BO	30	01 00
白色温度			BE	EF	03	06	00	AB F9	01	00	B0	30	11 00
			BE		03	06	00	3B F2	01	00	BO	30	08 00
		カスタム・5	BE		03	06	00		01	00	BO	30	18 00
					03	00	00	AD FJ	01	00	DU BO	20	
		リスクム - O リスブラスト _ 2			03	00	00		01	00	B0	30	19 00
		カフタム -7		FF	03	00	00	OR FF	01	00	BO	30	
		Get	BE	FF	03	06	00	C8 F5	02	00	BO	30	
		000		-1		00	50		02	50		50	00 00

	7	ヤペレーションタイプ			<u>^"</u>	ダコード			コマンドデーク	9
項目名		設定内容					CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード
		Get	BE	EF	03	06 00	34 F4	02 00	B1 30	00 00
色温度 ゲイン -R		Increment	BE	EF	03	06 00	52 F4	04 00	B1 30	00 00
		Decrement	BE	EF	03	06 00	83 F5	05 00	B1 30	00 00
色温度 ゲイン -R リセット		Execute	BE	EF	03	06 00	10 C6	06 00	46 70	00 00
		Get	BE	EF	03	06 00	70 F4	02 00	B2 30	00 00
色温度 ゲイン -G		Increment	BE	EF	03	06 00	16 F4	04 00	B2 30	00 00
		Decrement	BE	EF	03	06 00	C7 F5	05 00	B2 30	00 00
色温度 ゲイン -G リセット		Execute	BE	EF	03	06 00	EC C7	06 00	47 70	00 00
		Get	BE	EF	03	06 00	8C F5	02 00	B3 30	00 00
● 色温度 ゲイン -B		Increment	BE	EF	03	06 00	EA F5	04 00	B3 30	00 00
		Decrement	BE		03	06 00	3B F4	05 00	B3 30	00 00
色温度 ゲイン -B リセット		Execute	BE	EF	03	06 00	F8 C4	06 00	48 70	00 00
		Get	BE	EF	03	06 00	04 F5	02 00	B5 30	00 00
色温度 オノセット - R		Increment	BE		03	06 00	62 F5	04 00	B5 30	00 00
		Decrement	BE		03	06 00	B3 F4	05 00	B5 30	00 00
一 色温度オノセット - R リセット		Execute	DE		03		40 C5	00 00	4A 70	00 00
		Get	BE		03	06 00	40 F5	02 00	B6 30	00 00
巴温度 オノゼット -G		Docromont			03			04 00	B6 30	
		Exocuto	BE		03		BC C4	05 00	<u> 18</u> 70	
日温度オブビッド・Gリビッド		Cot	BE		03		BC E4	00 00	B7 30	
		Increment	BE	FF	03			02 00	B7 30	
		Decrement	BF	FF	03	06 00	OB F5	05 00	B7 30	00 00
ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー		Execute	BF	FF	03	06 00	C8 C5	06 00	4C 70	00 00
		Get	BE	FF	03	06 00	B5 72	02 00	02 22	
色の濃さ		Increment	BE	EF	03	06 00	D3 72	04 00	02 22	00 00
		Decrement	BE	EF	03	06 00	02 73	05 00	02 22	00 00
色の濃さ リセット		Execute	BE	EF	03	06 00	80 D0	06 00	0A 70	00 00
	Get		BE	EF	03	06 00	49 73	02 00	03 22	00 00
色あい		Increment	BE	EF	03	06 00	2F 73	04 00	03 22	00 00
		Decrement	BE	EF	03	06 00	FE 72	05 00	03 22	00 00
色あい リセット		Execute	BE	EF	03	06 00	7C D1	06 00	0B 70	00 00
		Get	BE	EF	03	06 00	F1 72	02 00	01 22	00 00
画質		Increment	BE	EF	03	06 00	97 72	04 00	01 22	00 00
		Decrement	BE	EF	03	06 00	46 73	05 00	01 22	00 00
画質 リセット		Execute	BE	EF	03	06 00	C4 D0	06 00	09 70	00 00
	Set	無効	BE	EF	03	06 00	FE 5A	01 00	80 22	00 00
タイナミック ブラック		有効	BE	EF	03	06 00	6E 5B	01 00	80 22	01 00
		Get	BEI		03	06 00	CD 5A	02 00	80 22	00 00
		Get	BE		03	06 00	5D 70	02 00		
ACCENTUALIZER *		Docromont			03			04 00		
ACCENTIALIZED HAWK *		Execute	BE		03			05 00	20 70	
ACCENTUALIZER DEMN		Cot	BE		03		A1 71			
		Increment	BE	FF	03		$\begin{array}{c c} \hline \\ \hline $	02 00		
HDER		Decrement	BE	FF	03	06 00	16 70	05 00		
		Execute	BF	FF	03	06 00	34 DA	06 00	2D 70	00 00
		1	BF	EF	03	06 00	0F D7	01 00	14 20	00 00
		2	BE	EF	03	06 00	9E D6	01 00	14 20	01 00
マイメセリー ロード	Set	3	BE	EF	03	06 00	6E D6	01 00	14 20	02 00
		4	BE	EF	03	06 00	FE D7	01_00	14 20	03 00
		1	BE	EF	03	06 00	F2 D6	01 00	15 20	00 00
マイメエリー ヤーブ	Spt	2	BE	EF	03	06 00	62 D7	01 00	15 20	01 00
	Jul	3	BE	EF	03	06 00	92 D7	01 00	15 20	02 00
		4	BE	EF	03	06 00	02 D6	01 00	15 20	03 00

*: MP-JU4001Jのみ有効

	オペレーションタイプ				<u>^''</u>	バジコー	ド		コマンドデータ			
項目名		設定内容			_		_	CRC フラグ	アクショ	ン タイプ	セッティング コード	
		ノーマル	BE	EF	03	06	00	5E DD	01 0	0 08 20	10 00	
		4:3	BE	EF	03	06	00	9E D0	01 C	0 08 20	00 00	
		16:9	BE	EF	03	06	00	0E D1	01 C	0 08 20	01 00	
	Set	16:10	BE	EF	03	06	00	3E D6	01 C	0 08 20	00 A0	
J/2/2015		14:9	BE	EF	03	06	00	CE D6	01 C	0 08 20	09 00	
		リアル	BE	EF	03	06	00	5E D7	01 C	0 08 20	08 00	
		ズーム	BE	EF	03	06	00	9E C4	01 C	0 08 20	30 00	
		Get	BE	EF	03	06	00	AD D0	02 0	0 08 20	00 00	
		Get	BE	EF	03	06	00	91 70	02 0	0 09 22	2 00 00	
オーバースキャン		Increment	BE	EF	03	06	00	F7 70	04 0	0 09 22	2 00 00	
		Decrement	BE	EF	03	06	00	26 71	05 0	0 09 22	2 00 00	
オーバースキャン リセット		Execute	BE	EF	03	06	00	EC D9	06 0	0 27 70	00 00	
		Get	BE	EF	03	06	00	0D 83	02 0	0 00 21	. 00 00	
垂直位置		Increment	BE	EF	03	06	00	6B 83	04 C	0 00 21	. 00 00	
		Decrement		EF	03	06	00	BA 82	05 0	0 00 21	. 00 00	
垂直位置 リセット		Execute	BE	EF	03	06	00	E0 D2	06 0	0 02 70	00 00	
		Get	BE	EF	03	06	00	F1 82	02 0	0 01 21	00 00	
水平位置		Increment	BE	EF	03	06	00	97 82	04 0	0 01 21	00 00	
		Decrement			03	06	00	46 83	05 0	0 01 21	00 00	
水平位置リセット		Execute	BE	EF	03	06	00	1C D3	06 0	0 03 70	00 00	
		Get	BE	EF	03	06	00	49 83	02 0	0 03 21	00 00	
クロック位相		Increment	BE	EF	03	06	00	2F 83	04 0	0 03 21	00 00	
		Decrement	BE	EF	03	06	00	FE 82	05 0	0 03 21	00 00	
		Get	BE	EF	03	06	00	B5 82	02 0	0 02 21	00 00	
水平サイズ		Increment	BE	EF	03	06	00	D3 82	04 0	0 02 21	00 00	
		Decrement		EF	03	06	00	02 83	05 0	0 02 21	00 00	
水平サイズリセット		Execute	BE	EF	03	06	00	68 D2	06 0	0 04 70	00 00	
オートアジャスト 実行		Execute	BE	EF	03	06	00	91 D0	06 0	0 0A 20	00 00	
		オフ	BE	EF	03	06	00	4A 72	01 C	0 07 22	2 00 00	
	Set	TV	BE	EF	03	06	00	DA 73	01 C	0 07 22	2 01 00	
フロクレッシフ		フィルム	BE	EF	03	06	00	2A 73	01 C	0 07 22	2 02 00	
		Get	BE	EF	03	06	00	79 72	02 0	0 07 22	2 00 00	
		弱	BE	EF	03	06	00	26 72	01 C	0 06 22	2 01 00	
	Set	中	BE	EF	03	06	00	D6 72	01 0	0 06 22	2 02 00	
Eデオ NR		強	BE	EF	03	06	00	46 73	01 C	0 06 22	2 03 00	
		Get	BE	EF	03	06	00	85 73	02 0	0 06 22	2 00 00	
		オート	BE	EF	03	06	00	0E 72	01 0	0 04 22	00 00	
		RGB	BE	EF	03	06	00	9E 73	01 0	0 04 22	2 01 00	
	Set	SMPTE240	BE	EF	03	06	00	6E 73	01 0	0 04 22	2 02 00	
日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日		REC709	BE	EF	03	06	00	FE 72	01 0	0 04 22	2 03 00	
		REC601	BE	EF	03	06	00	CE 70	01 0	0 04 22	2 04 00	
		Get	BE	EF	03	06	00	3D 72	02 0	0 04 22	2 00 00	
		オート	BE	EF	03	06	00	A2 70	01 0	0 11 22	2 0A 00	
		NTSC	BE	EF	03	06	00	C2 74	01 0	0 11 22	04 00	
		PAL	BE	EF	03	06	00	52 75	01 0	0 11 22	2 05 00	
ビデオフォーマット -	Set	SECAM	BE	EF	03	06	00	52 70	01 0	0 11 22	09 00	
ビデオ		NTSC4.43	BE	EF	03	06	00	62 77	01 0	0 11 22	02 00	
		M-PAL	BE	EF	03	06	00	C2 71	01 0	0 11 22	08 00	
		N-PAL	BE	EF	03	06	00	32 74	01 0	0 11 22	2 07 00	
		Get	BE	EF	03	06	00	31 76	02 C	00 11 22	2 00 00	

(次ページにつづく)

4 - 22

	オペレーションタイプ					ダコー	ド				コマンドデー	<u></u> 9
項目名		設定内容						CRC フラグ	J	⁷ クション	タイプ	セッティング コード
		オート	BE	EF	03	06	00	86 D8	3 0	1 00	22 20	00 00
	Set	ノーマル	BE	EF	03	06	00	16 D9	9 0	1 00	22 20	01 00
HDMI I UUU		拡張	BE	EF	03	06	00	E6 D9	9 0	1 00	22 20	02 00
		Get	BE	EF	03	06	00	B5 D8	3 0	2 00	22 20	00 00
		オート	BE	EF	03	06	00	7A D9	9 0	1 00		00 00
	Set	ノーマル	BE	EF	03	06	00	EA D	3 0	1 00	23 20	01 00
HDMI 2 DDD		拡張	BE	EF	03	06	00	1A D8	3 0	1 00	23 20	02 00
		Get	BE	EF	03	06	00	49 D9) (2 00	23 20	00 00
	Cot	オート	BE	EF	03	06	00	CE De	5 0	1 00	10 20	03 00
コンピュータ入力 1	Set	SYNC ON G オフ	BE	EF	03	06	00	5E D7	7 0	1 00	10 20	02 00
		Get	BE	EF	03	06	00	OD D	5 0	2 00	10 20	00 00
		オート	BE	EF	03	06	00	32 D	7 0	1 00	11 20	03 00
	Set	SYNC ON G オフ	BE	EF	03	06	00	A2 D6	5 0	1 00	11 20	02 00
」 」 221-9人月2		モニターアウト	BE	EF	03	06	00	02 D() (1 00	11 20	08 00
		Get	BE	EF	03	06	00	F1 D7	7 0	2 00	11 20	00 00
	Cat	オフ	BE	EF	03	06	00	3B C2	2 0	1 00	50 30	00 00
	Set	オン	BE	EF	03	06	00	AB C	3 0	1 00	50 30	01 00
		Get	BE	EF	03	06	00	08 C2	2 0	2 00	50 30	00 00
	Cot	オフ	BE	EF	03	06	00	OB C	3 0	1 00	54 30	00 00
	Set	オン	BE	EF	03	06	00	9B C2	2 0	1 00	54 30	01 00
		Get	BE	EF	03	06	00	38 C3	3 0	2 00	54 30	00 00
	Cat	オフ	BE	EF	03	06	00	7F C2	2 0	1 00	53 30	00 00
フレームロック - HDMI 1	Set	オン	BE	EF	03	06	00	EF C3	3 0	1 00	53 30	01 00
		Get	BE	EF	03	06	00	4C C2	2 0	2 00	53 30	00 00
	Cat	オフ	BE	EF	03	06	00	97 C) (1 00	5D 30	00 00
フレームロック - HDMI 2	Set	オン	BE	EF	03	06	00	07 C	. 0	1 00	5D 30	01 00
		Get	BE	EF	03	06	00	A4 C0) (2 00	5D 30	00 00
		上	BE	EF	03	06	00	02 D() (1 00	09 20	02 00
	Set	中央	BE	EF	03	06	00	62 D:	LO	1 00	09 20	00 00
		下	BE	EF	03	06	00	F2 D0) (1 00	09 20	01 00
		Get	BE	EF	03	06	00	51 D:	LO	2 00	09 20	00 00
		右	BE	EF	03	06	00	46 D!	5 0	1 00	1E 20	01 00
	Set	中央	BE	EF	03	06	00	D6 D4	1 0	1 00	1E 20	00 00
		左	BE	EF	03	06	00	B6 D	5 0	1 00	1E 20	02 00
		Get	BE	EF	03	06	00	E5 D4	1 0	2 00	1E 20	00 00
	Cot	キーストン	BE	EF	03	06	00	6B 80	2 0	1 00	30 31	01 00
幾何学補正モード	Set	コーナーフィット	BE	EF	03	06	00	9B 80	2 0	1 00	30 31	02 00
		Get	BE	EF	03	06	00	C8 80		2 00	30 31	00 00
		Get	BE	EF	03	06	00	B9 D3	3 0	2 00	07 20	00 00
垂直キーストン		Increment	BE	EF	03	06	00	DF D	3 0	4 00	07 20	00 00
		Decrement	BE	EF	03	06	00	0E D2	2 0	5 00	07 20	00 00
垂直キーストン リセット		Execute	BE	EF	03	06	00	08 D() (6 00	0C 70	00 00
	1	Get	BE	EF	03	06	00	E9 D0		2 00	0B 20	00 00
水平キーストン		Increment	BE	EF	03	06	00	8F D() 0	4 00	0B 20	00 00
		Decrement	BE	EF	03	06	00	5E D:		5 00	0B 20	00 00
水平キーストンリセット		Execute	BE	EF	03	06	00	98 D8	3 0	6 00	20 70	00 00
オートキーストン	1	Execute	BE	EF	03	06	00	E5 D		6 00	0D 20	00 00
		77	BE	EF	03	06	00	EAD		1 00	0F 20	00 00
オートキーストン 垂直	Set	オン	BE	EF	03	06	00	7A D		1 00	0F 20	01 00
		Get	BE	EF	03	06	00	D9 D	1 0	2 00	0F 20	00 00

	オペレーションタイプ			<i>ッ</i> ダコード			$\begin{array}{c c c c c c c c c c c c c c c c c c c $	9
項目名	設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード
	Get	BE EF	03	06 00	31 89	02 00	21 21	00 00
コーナーノイット	Increment	BE EF	03	06 00	57 89	04 00	21 21	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	86 88	05 00	21 21	00 00
	Get	BE EF	03	06 00	75 89	02 00	22 21	00 00
ニーノーノ1ット 左上隅垂直位置	Increment	BE EF	03	06 00	13 89	04 00	22 21	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	C2 88	05 00	22 21	00 00
コーナーフィット	Get	BE EF	03	06 00	89 88	02 00	23 21	00 00
右上隅水平位置	Increment	BE EF	03	06 00	EF 88	04 00	23 21	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	3E 89	05 00	23 21	00 00
コーナーフィット	Get	BE EF	03	06 00	FD 89	02 00	24 21	00 00
右上隅垂直位置	Increment	BE EF	03	06 00	9B 89	04 00	24 21	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	4A 88	05 00	24 21	00 00
コーナーフィット	Get	BE EF	03	06 00	01 88	02 00	25 21	00 00
左下隅水平位置	Increment	BE EF	03	06 00	67 88	04 00	25 21	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	B6 89	05 00	25 21	00 00
コーナーフィット	Get	BE EF	03	06 00	45 88	02 00	26 21	00 00
左下隅垂直位置	Increment	BE EF	03	06 00	23 88	04 00	26 21	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	F2 89	05 00	26 21	00 00
コーナーフィット	Get	BE EF	03	06 00	B9 89	02 00	27 21	00 00
右下隅水平位置	Increment	BE EF	03	06 00	DF 89		27 21	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00		05 00	2/ 21	00 00
コーナーフィット	Gel		03	06 00		02 00	20 21	00 00
コーナーフィット 右下隅水平位置 コーナーフィット 右下隅垂直位置 コーナーフィット 四隅位置リセット	Decrement		03	06 00			20 21	00 00
	Decrement		03	00 00	IA OD	05 00	20 21	00 00
	Execute	BE EF	03	06 00	D5 8A	06 00	29 21	00 00
コーナーフィット	Get	BE EF	03	06 00	31 97	02 00	41 21	00 00
左辺たわみ量	Increment	BE EF	03	06 00	5/9/	04 00	41 21	00 00
	Decrement	BEEF	03	06 00	86 96	05 00	41 21	00 00
コーナーフィット	Get	BE EF	03	06 00	/5 9/	02 00	42 21	00 00
右辺たわみ量	Increment	BE EF	03	06 00	13 97	04 00	42 21	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	C2 96	05 00	42 21	00 00
コーナーフィット	Get	BE EF	03	06 00	FD 97	02 00	44 21	00 00
上辺たわみ量	Increment		03	06 00	96 97		44 21	00 00
	Cot		03		4A 90		44 21	
コーナーフィット	Incromont		03		67.06	02 00	45 21	
下辺たわみ量	Decrement	BE EE	03		B6 97	05 00	45 21	
7_+_ 7 ///k	Decientent		05	00 00	00 97	05 00	75 21	00 00
コーリーフィット 四辺たわみリセット	Execute	BE EF	03	06 00	3D 96	06 00	47 21	00 00
コーナーフィット メモリ セーブ 1	Execute	BE EF	03	06 00	29 95	06 00	48 21	00 00
コーナーフィット メモリ セーブ 2	Execute	BE EF	03	06 00	D5 94	06 00	49 21	00 00
コーナーフィット メモリ セーブ 3	Execute	BE EF	03	06 00	91 94	06 00	4A 21	00 00
コーナーフィット メモリ ロード 1	Execute	BE EF	03	06 00	6D 95	06 00	4B 21	00 00
コーナーフィット メモリ ロード 2	Execute	BE EF	03	06 00	19 94	06 00	4C 21	00 00
コーナーフィット メモリ ロード 3	Execute	BE EF	03	06 00	E5 95	06 00	4D 21	00 00

	7	ペレーションタイプ			<u>^"</u>	ダコー	ド				コマンド	データ	9
項目名		沙宁内容	1					CRC		2.72	54	/-1	セッティング
		一 設定的合						フラグ			91	<u> </u>	コード
		標準モード	BE	EF	03	06	00	3B 37	01	00	00	33	30 00
	Cot	静音モード	BE	EF	03	06	00	AB 22	01	00	00	33	01 00
光出力	項目名 オペレーションタイブ パッグコード パッグコード 現定内容	ロングライフ 1	BE	EF	03	06	00	6B 20	01	00	00	33	05 00
		01	00	00	33	06 00							
		Get	BE	EF	03	06	00	08 23	02	00	00	$ \begin{aligned} \forall \forall $	00 00
		Get	BE	EF	03	06	00	C4 23	02	00	05	33	00 00
光出力 標準モードパワー		Increment	BE	EF	03	06	00	A2 23	04	00	05	33	00 00
		Decrement	BE	EF	03	06	00	73 22	05	00	05	33	00 00
		前面投射/机上	BE	EF	03	06	00	C7 D2	01	00	01	30	00 00
	Sot	背面投射/机上	BE	EF	03	06	00	57 D3	01	00	01	30	01 00
設置方法	Jul	背面投射/天吊り	BE	EF	03	06	00	A7 D3	01	00	01	30	02 00
		前面投射/天吊り	BE	EF	03	06	00	37 D2	01	00	01	30	03 00
		Get BE EF 03 06 00 F4 D2 01 00 01 30 03 Get BE EF 03 06 00 F4 D2 02 00 01 30 00 高速起動 BE EF 03 06 00 16 DF 01 00 01 60 10 通常 BE EF 03 06 00 D6 D2 01 00 01 60 00 ネットワーク (WOL) BE EF 03 06 00 B6 D3 01 00 01 60 02	00 00										
		高速起動	BE	EF	03	06	00	16 DF	01	00	01	60	10 00
	Set	通常	BE	EF	03	06	00	D6 D2	01	00	01	60	00 00
スタンバイモード		<u>ネットワーク (WOL)</u>	BE	EF	03	06	00	B6 D3	01	00	01	60	02 00
スタンハイモート 音量 - コンピュータ入力 1		省電力	BE	EF	03	06	00	46 D3	01	00	01	60	01 00
		Get	BE	EF	03	06	00	E5 D2	02	00	01	60	00 00
音量 - コンピュータ入力 1		Get	BE	EF	03	06	00	CD CC	02	00	60	20	00 00
音量 - コンピュータ入力 1		Increment	BE	EF	03	06	00	AB CC	04	00	$ \begin{aligned} $	00 00	
		Decrement	BE	EF	03	06	00	7A CD	05	00	60	20	00 00
		Get	BE	EF	03	06	00	FD CD	02	00	タイプ 00 33 3 00 33 0 00 33 0 01 30 0 01 60 1 01 60 0 01 60 0 00 20 0 60 20 0 64 20 0 64 20 0 64 20 0 64 20 0 64 20 0 64 20 0 65 20 0 65 20 0 65 20 0 0 66 20 0 0 61 20 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	00 00	
音量 - コンビュータ人力 2		Increment	BE	EF	03	06	00	9B CD	04	00	64	20	00 00
		Decrement	BE	EF	03	06	00	4A CC	05	00	64	20	00 00
		Get	BE		03	06	00	E9 CE	02	00	6B	20	00 00
音量 - LAN		Increment	BE		03	06	00	8F CE	04	00	6B	20	00 00
		Decrement	BE		03	06	00	SE CF	05	00	6B	20	00 00
		Get	BE		03	06	00	89 CC	02	00	63	20	00 00
自重 - HDMI I		Decrement			03	06	00		04	00	63	20	00 00
		Cot			03	00	00		03	00	60	20	00 00
		Gel			03	00	00		02	00		20	00 00
百重-HDMI 2		Docromont			03	06	00		04	00	60	20	
		Cot	BE		03	00	00		03	00	61	20	
辛亭 ビニナ		Increment	BE		03	00	00	57 CD	02	00	61	20	
		Decrement	BE	FF	03	00	00	86 CC	05	00	61	20	
		Get	BE	FF	03	00	00		02	00	6F	20	
辛曼 - STANDBY		Increment	BE	FF	03	00	00	BE CE	02	00	6F	20	
		Decrement	BF	FF	03	06	00	6F CF	05	00	6F	20	
		Get	BF	FF	03	06	00	45 CC	02	00	66	20	
 USB タイプ Δ		Increment	BF	FF	03	06	00	23 CC	02	00	66	20	
		Decrement	BF	EF	0.3	06	00	F2 CD	0.5	00	66	20	00 00
		Get	BF	EF	0.3	06	00	CD C3	02	00	50	20	00 00
 音量 - Al I		Increment	BF	EF	0.3	06	00	AB C3	04	00	50	20	00 00
		Decrement	BE	EF	03	06	00	7A C2	05	00	50	20	00 00

	オ	ペレーションタイプ			<u> </u>	ダコード	・ド コマンドデータ CRC フラグ アクション タイプ セッラ コ 00 46 D3 01 00 02 20 00 00 D6 D2 01 00 02 20 01 00 75 D3 02 00 02 20 00 00 FE F0 01 00 A0 20 00	9		
項目名		設定内容					CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード
	Cot	オフ	BE I	EF	03	06 00	46 D3	01 00	02 20	00 00
消音	Set	オン	BE I	EF	03	06 00	D6 D2	01 00	02 20	01 00
		Get	BE I	EF	03	06 00	75 D3	02 00	02 20	00 00
	Sot	オフ	BE I	EF	03	06 00	FE FO	01 00	A0 20	00 00
AV ミュート	Set	オン	BE I	EF	03	06 00	6E F1	01 00	A0 20	01 00
		Get	BE I	EF	03	06 00	CD F0	02 00	A0 20	00 00
	Sot	オフ	BE I	EF	03	06 00	6E D5	01 00	1C 20	00 00
スピーカー	Jet	オン	BE I	EF	03	06 00	FE D4	01 00	1C 20	01 00
		Get	BE I	EF	03	06 00	5D D5	02 00	1C 20	00 00
		音声入力 1	BE I	EF	03	06 00	6E DC	01 00	30 20	01 00
音声入力設定 -	Set	音声入力 2	BE I	EF	03	06 00	9E DC	01 00	30 20	02 00
コンピュータ入力 1		オフ	BE I	EF	03	06 00	FE DD	01 00	30 20	00 00
		Get	BE I	EF	03	06 00	CD DD	02 00	30 20	00 00
		音声入力 1	BE I	EF	03	06 00	5E DD	01 00	34 20	01 00
音声入力設定 -	Set	音声入力 2	BE I	EF	03	06 00	AE DD	01 00	34 20	02 00
コンピュータ入力 2		オフ	BE I	EF	03	06 00	CE DC	01 00	34 20	00 00
		Get	BE I	EF	03	06 00	FD DC	02 00	34 20	00 00
		音声入力 1	BE I	EF	03	06 00	4A DE	01 00	3B 20	01 00
音声入力設定 - LAN	Sot	音声入力 2	BE I	EF	03	06 00	BA DE	01 00	3B 20	02 00
音声入力設定 - LAN	Jee	LAN	BE I	EF	03	06 00	8A D3	01 00	3B 20	11 00
		オフ	BE I	EF	03	06 00	DA DF	01 00	3B 20	00 00
		Get	BE I	EF	03	06 00	E9 DF	02 00	3B 20	00 00
		音声入力 1	BE I	EF	03	06 00	2A DC	01 00	33 20	01 00
	Set	音声入力 2	BE I	EF	03	06 00	DA DC	01 00	33 20	02 00
音声入力設定 - HDMI 1		HDMI 1	BE	EF	03	06 00	7A C4	01 00	33 20	20 00
		オフ	BE E	EF	03	06 00	BA DD	01 00	33 20	00 00
		Get	BE E	EF	03	06 00	89 DD	02 00	33 20	00 00
		音声入力 1	BE E	EF	03	06 00	C2 DE	01 00	3D 20	01 00
	Set	音声入力 2	BE E	EF	03	06 00	32 DE	01 00	3D 20	02 00
音声入力設定 - HDMI 2	Jee	HDMI 2	BE E	EF	03	06 00	02 C7	01 00	3D 20	21 00
		オフ	BE E	EF	03	06 00	52 DF	01 00	3D 20	00 00
		Get	BE E	EF	03	06 00	61 DF	02 00	3D 20	00 00
		音声入力 1	BE E	EF	03	06 00	92 DD	01 00	31 20	01 00
辛吉入力設定」ビデオ	Set	音声入力 2	BE E	EF	03	06 00	62 DD	01 00	31 20	02 00
10月八月設定 - ビデオ		オフ	BE E	EF	03	06 00	02 DC	01 00	31 20	00 00
	ļ	Get	BE E	EF	03	06 00	31 DC	02 00	31 20	00 00
		音声入力 1	BE E	EF	03	06 00	E6 DC	01 00	36 20	01 00
音声入力設定 -	Set	音声入力 2	BE E	EF	03	06 00	16 DC	01 00	36 20	02 00
USB タイプ A		オフ	BE E	EF	03	06 00	76 DD	01 00	36 20	00 00
		Get	BE E	EF	03	06 00	45 DD	02 00	36 20	00 00

	オペレーションタイプ				ヘッ	ダコード		コマンドデータ				
項目名		設定内容					CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード		
	Cab	Disable	BE	EF	03	06 00	BA FO	01 00	A3 20	00 00		
LAN SOUND ENABLE	Set	Enable	BE	EF	03	06 00	2A F1	01 00	A3 20	01 00		
		Get	BE	EF	03	06 00	89 F0	02 00	A3 20	00 00		
		ENGLISH	BE	EF	03	06 00	F7 D3	01 00	05 30	00 00		
		FRANÇAIS	BE	EF	03	06 00	67 D2	01 00	05 30	01 00		
		DEUTSCH	BE	EF	03	06 00	97 D2	01 00	05 30	02 00		
		ESPAÑOL	BE	EF	03	06 00	07 D3	01 00	05 30	03 00		
		ITALIANO	BE	EF	03	06 00	37 D1	01 00	05 30	04 00		
		NORSK	BE	EF	03	06 00	A7 D0	01 00	05 30	05 00		
		NEDERLANDS	BE	EF	03	06 00	57 D0	01 00	05 30	06 00		
		PORTUGUÊS	BE	EF	03	06 00	C7 D1	01 00	05 30	07 00		
		日本語	BE	EF	03	06 00	37 D4	01 00	05 30	08 00		
		简体中文	BE	EF	03	06 00	A7 D5	01 00	05 30	09 00		
		繁體中文	BE	EF	03	06 00	37 DE	01 00	05 30	10 00		
		한글	BE	EF	03	06 00	57 D5	01 00	05 30	0A 00		
		SVENSKA	BE	EF	03	06 00	C7 D4	01 00	05 30	0B 00		
		РУССКИЙ	BE	EF	03	06 00	F7 D6	01 00	05 30	0C 00		
		SUOMI	BE	EF	03	06 00	67 D7	01 00	05 30	0D 00		
		POLSKI	BE	EF	03	06 00	97 D7	01 00	05 30	0E 00		
	Set	TÜRKÇE	BE	EF	03	06 00	07 D6	01 00	05 30	0F 00		
表示言語		DANSK	BE	EF	03	06 00	A7 DF	01 00	05 30	11 00		
		ČESKY	BE	EF	03	06 00	57 DF	01 00	05 30	12 00		
		MAGYAR	BE	EF	03	06 00	C7 DE	01 00	05 30	13 00		
		ROMÂNĂ	BE	EF	03	06 00	F7 DC	01 00	05 30	14 00		
		SLOVENSKI	BE	EF	03	06 00	67 DD	01 00	05 30	15 00		
		HRVATSKI	BE	EF	03	06 00	97 DD	01 00	05 30	16 00		
		ΕΛΛΗΝΙΚΑ	BE	EF	03	06 00	07 DC	01 00	05 30	17 00		
		LIETUVIŲ	BE	EF	03	06 00	F7 D9	01 00	05 30	18 00		
		EESTI	BE	EF	03	06 00	67 D8	01 00	05 30	19 00		
		LATVIEŠU	BE	EF	03	06 00	97 D8	01 00	05 30	1A 00		
		ไทย	BE	EF	03	06 00	07 D9	01 00	05 30	1B 00		
		ةيبرعاا ةغلاا	BE	EF	03	06 00	37 DB	01 00	05 30	1C 00		
		[°] ىسراف	BE	EF	03	06 00	A7 DA	01 00	05 30	1D 00		
		PORTUGUÊS BRA	BE	EF	03	06 00	57 DA	01 00	05 30	1E 00		
		BAHASA IND	BE	EF	03	06 00	C7 DB	01 00	05 30	1F 00		
		TIENG VIET	BE	EF	03	06 00	37 CA	01 00	05 30	20 00		
		עברית	BE	EF	03	06 00	A7 CB	01 00	05 30	21 00		
		Get	BE	EF	03	06 00	C4 D3	02 00	05 30	00 00		

	7	トペレーションタイプ			バダコード		-	コマンドデーク	פ	
項目名		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード	
		Get	BE EF	03	06 00	40 D7	02 00	16 30	00 00	
メニュー垂直位置		Increment	BE EF	03	06 00	26 D7	04 00	16 30	00 00	
		Decrement	BE EF	03	06 00	F7 D6	05 00	16 30	00 00	
メニュー垂直位置 リセット		Execute	BE EF	03	06 00	A8 C7	06 00	44 70	00 00	
		Get	BE EF	03	06 00	04 D7	02 00	15 30	00 00	
メニュー水平位置		Increment	BE EF	03	06 00	62 D7	04 00	15 30	00 00	
		Decrement	BE EF	03	06 00	B3 D6	05 00	15 30	00 00	
メニュー水平位置 リセット		Execute	BE EF	03	06 00	DC C6	06 00	43 70	00 00	
		マイスクリーン	BE EF	03	06 00	FB CA	01 00	00 30	20 00	
		オリジナル	BE EF	03	06 00	FB E2	01 00	00 30	40 00	
ブランク	Set	青	BE EF	03	06 00	CB D3	01 00	00 30	03 00	
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		白白	BE EF	03	06 00	6B D0	01 00	00 30	05 00	
		黒	BE EF	03	06 00	9B D0	01 00	00 30	06 00	
		Get	BE EF	03	06 00	08 D3	02 00	00 30	00 00	
	Set	オフ	BE EF	03	06 00	FB D8	01 00	20 30	00 00	
フランクオン / オフ		オン	BE EF	03	06 00	6B D9	01 00	20 30	01 00	
		Get	BE EF	03	06 00	C8 D8	02 00	20 30	00 00	
	_		BE EF	03	06 00	67 D1	01 00	0D 30	03 00	
オートブランク	Set	<u> </u>	BE EF	03	06 00	C7 D2	01 00	0D 30	05 00	
			BE EF	03	06 00	37 D2	01 00	0D 30	06 00	
		Get	BE EF	03	06 00	A4 D1	02 00	0D 30	00 00	
		マイスクリーン	BE EF	03	06 00	CB CB	01 00	04 30	20 00	
初期画面	Set	オリジナル	BE EF	03	06 00	OB D2	01 00	04 30	00 00	
		表示しない	BE EF	03	06 00	9B D3	01 00	04 30	01 00	
		Get	BE EF	03	06 00	38 D2	02 00	04 30	00 00	
	Set		BE EF	03	06 00	3B EF	01 00	CU 30	00 00	
マイスクリーンロック			BE EF	03	06 00	AB EE	01 00	CU 30	00 00	
		Get		03	06 00		02 00	17 20	00 00	
	Cot			03			01 00	17 20	00 00	
OSD メッセージ	Set	シーマル 林正		03				17 30		
		示止 Cot		03		BC D6		17 30		
		ティトパターン	BE EF	03		43 09	02 00	22 30		
		」 パイパノ ノ	BE EF	03		80 20	01 00	22 30	01 00	
	Set		BE FF	03	06 00	23 08	01 00	22 30	02 00	
テンプレート			BE FF	03	06 00	B3 D9	01 00	22 30	02 00	
			BF FF	03	06 00	83 DB	01 00	22 30	04 00	
		Get	BF FF	0.3	06 00	70 D9	02 00	22 30	00 00	
	-	77	BE EF	03	06 00	BF D8	01 00	23 30	00 00	
テンプレート オン/オフ	Set	オン	BE EF	03	06 00	2F D9	01 00	23 30	01 00	
		Get	BE EF	03	06 00	8C D8	02 00	23 30	00 00	
		無効	BE EF	03	06 00	FA 62	01 00	00 37	00 00	
	Set	有効	BE EF	03	06 00	6A 63	01 00	00 37	01 00	
していたい ティスプレイ		オート	BE EF	03	06 00	9A 63	01 00	00 37	02 00	
		Get	BE EF	03	06 00	C9 62	02 00	00 37	00 00	
	C-L	キャプション	BE EF	03	06 00	06 63	01 00	01 37	00 00	
C.C. モード	Set	テキスト	BE EF	03	06 00	96 62	01 00	01 37	01 00	
		Get	BE EF	03	06 00	35 63	02 00	01 37	00 00	
		1	BE EF	03	06 00	D2 62	01 00	02 37	01 00	
	Co+	2	BE EF	03	06 00	22 62	01 00	02 37	02 00	
C.C. チャンネル	Set	3	BE EF	03	06 00	B2 63	01 00	02 37	03 00	
		4	BE EF	03	06 00	82 61	01 00	02 37	04 00	
		Get	BE EF	03	06 00	71 63	02 00	02 37	00 00	

	7	ペレーションタイプ			<u>^"</u>	ダコード		コマンドデータ				
項目名		設定内容					CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード		
	Cot	ノーマル	BE	EF	03	06 00	FE 78	01 00	20 22	00 00		
	Set	スキップ	BE	EF	03	06 00	6E 79	01 00	20 22	01 00		
		Get	BE	EF	03	06 00	CD 78	02 00	20 22	00 00		
	Sot	ノーマル	BE	EF	03	06 00	CE 79	01 00	24 22	00 00		
	Jet	スキップ	BE	EF	03	06 00	5E 78	01 00	24 22	01 00		
		Get	BE	EF	03	06 00	FD 79	02 00	24 22	00 00		
	Sot	ノーマル	BE	EF	03	06 00	76 78	01 00	26 22	00 00		
サーチスキップ - USB タイプ A	Jei	スキップ	BE	EF	03	06 00	E6 79	01 00	26 22	01 00		
		Get	BE	EF	03	06 00	45 78	02 00	26 22	00 00		
	Sot	ノーマル	BE	EF	03	06 00	DA 7A	01 00	2B 22	00 00		
サーチスキップ - LAN	Jei	スキップ	BE	EF	03	06 00	4A 7B	01 00	2B 22	01 00		
		Get	BE	EF	03	06 00	E9 7A	02 00	2B 22	00 00		
	Sot	ノーマル	BE	EF	03	06 00	BA 78	01 00	23 22	00 00		
サーチスキップ - HDMI 1	Jet	スキップ	BE	EF	03	06 00	2A 79	01 00	23 22	01 00		
		Get	BE	EF	03	06 00	89 78	02 00	23 22	00 00		
	Sot	ノーマル	BE	EF	03	06 00	52 7A	01 00	2D 22	00 00		
サーチスキップ - HDMI 2	Jei	スキップ	BE	EF	03	06 00	C2 7B	01 00	2D 22	01 00		
		Get	BE	EF	03	06 00	61 7A	02 00	2D 22	00 00		
++_エフナップ ビデナ	Sot	ノーマル	BE	EF	03	06 00	02 79	01 00	21 22	00 00		
サーチスキップ - ビデオ	Jet	スキップ	BE	EF	03	06 00	92 78	01 00	21 22	01 00		
		Get	BE	EF	03	06 00	31 79	02 00	21 22	00 00		
	Sot	無効	BE	EF	03	06 00	B6 D6	01 00	16 20	00 00		
オートサーチ	560	有効	BE	EF	03	06 00	26 D7	01 00	16 20	01 00		
		Get	BE	EF	03	06 00	85 D6	02 00	16 20	00 00		
	Sot	無効	BE	EF	03	06 00	3B 89	01 00	20 31	00 00		
ダイレクトパワーオン		有効	BE	EF	03	06 00	AB 88	01 00	20 31	01 00		
		Get	BE	EF	03	06 00	08 89	02 00	20 31	00 00		
オートパワーオン - コンピュータ入力 1		Get	BE	EF	03	06 00	08 A4	02 00	B0 31	00 00		
オートパワーオン - ビデオ		Get	BE	EF	03	06 00	F4 A5	02 00	B1 31	00 00		
オートパワーオン - HDMI 1		Get	BE	EF	03	06 00	4C A4	02 00	B3 31	00 00		
		Get	BE	EF	03	06 00	08 86	02 00	10 31	00 00		
オートパワーオフ		Increment	BE	EF	03	06 00	6E 86	04 00	10 31	00 00		
		Decrement	BE	EF	03	06 00	BF 87	05 00	10 31	00 00		
光源時間(下位バイト)		Get	BE	EF	03	06 00	C2 FF	02 00	90 10	00 00		
光源時間(上位バイト)		Get	BE	EF	03	06 00	2A FD	02 00	9E 10	00 00		
フィルター時間(下位バイト)		Get	BE	EF	03	06 00	C2 F0	02 00	A0 10	00 00		
フィルター時間(上位バイト)		Get	BE	EF	03	06 00	D6 FC	02 00	9F 10	00 00		
フィルター時間 リセット		Execute	BE	EF	03	06 00	98 C6	06 00	40 70	00 00		

		オペレーションタイプ			ダコード			9	
項目名		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード
		コンピュータ入力 1	BE EF	03	06 00	3A 33	01 00	00 36	00 00
		コンピュータ入力 2	BE EF	03	06 00	FA 31	01 00	00 36	04 00
		HDMI 1	BE EF	03	06 00	CA 33	01 00	00 36	03 00
		HDMI 2	BE EF	03	06 00	AA 37	01 00	00 36	0D 00
		ビデオ	BE EF	03	06 00	AA 32	01 00	00 36	01 00
		USB タイプ A	BE EF	03	06 00	9A 30	01 00	00 36	06 00
		オートキーストン	BE EF	03	06 00	6A 3F	01 00	00 36	11 00
		スライドショー	BE EF	03	06 00	9A 2B	01 00	00 36	22 00
		LAN	BE EF	03	06 00	0A 34	01 00	00 36	0B 00
		マイ イメージ	BE EF	03	06 00	5A 3D	01 00	00 36	16 00
		AV ミュート	BE EF	03	06 00	AA 38	01 00	00 36	19 00
	Set	メッセンジャー	BE EF	03	06 00	AA 29	01 00	00 36	25 00
		インフォメーション	BE EF	03	06 00	FA 3E	01 00	00 36	10 00
		マイメモリー	BE EF	03	06 00	9A 3F	01 00	00 36	12 00
		映像モード	BE EF	03	06 00	0A 3E	01 00	00 36	13 00
		フィルターリセット	BE EF	03	06 00	3A 3C	01 00	00 36	14 00
		テンプレート	BE EF	03	06 00	CA 39	01 00	00 36	1B 00
		解像度	BE EF	03	06 00	9A 3A	01 00	00 36	1E 00
		光出力	BE EF	03	06 00	0A 25	01 00	00 36	37 00
		ACCENTUALIZER *	BE EF	03	06 00	9A 21	01 00	00 36	3A 00
		HDCR *	BE EF	03	06 00	5A 23	01 00	00 36	3E 00
		917-	BE EF	03	06 00	CA OF	01 00	00 36	53 00
		マイボタン	BE EF	03	06 00	CA 72	01 00	00 36	FF 00
		Get	BE EF	03	06 00	09 33	02 00	00 36	00 00
		コンピュータ入力 1	BE EF	03	06 00	C6 32	01 00	01 36	00 00
		コンピュータ入力 2	BE EF	03	06 00	06 30	01 00	01 36	04 00
		HDMI 1	BE EF	03	06 00	36 32	01 00	01 36	03 00
		HDMI 2	BE EF	03	06 00	56 36	01 00	01 36	0D 00
		ビデオ	BE EF	03	06 00	56 33	01 00	01 36	01 00
		USB タイプ A	BE EF	03	06 00	66 31	01 00	01 36	06 00
		オートキーストン	BE EF	03	06 00	96 3E	01 00	01 36	11 00
		スライドショー	BE EF	03	06 00	66 2A	01 00	01 36	22 00
		LAN	BE EF	03	06 00	F6 35	01 00	01 36	0B 00
		マイイメージ	BE EF	03	06 00	A6 3C	01 00	01 36	16 00
			BE EF	03	06 00	56 39	01 00	01 36	19 00
マイボタン 2	Set	メッセンジャー	BE EF	03	06 00	56 28	01 00	01 36	25 00
		インフォメーション	BE EF	03	06 00	06 3F	01 00	01 36	10 00
		マイメモリー	BE EF	03	06 00	66 3E	01 00	01 36	12 00
		映像モード	BE EF	03	06 00	F6 3F	01 00	01 36	13 00
		フィルターリセット	BE EF	03	06 00	C6 3D	01 00	01 36	14 00
		テンノレート	BE EF	03	06 00	36 38	01 00	01 36	1B 00
			BE EF	03	06 00	66 3B	01 00	01 36	1E 00
		光出力	BE EF	03	06 00	F6 24	01 00	01 36	3/ 00
		ACCENTUALIZER *	BE EF	03	06 00	66 20	01 00	01 36	3A 00
		HDCR *	BE EF	03	06 00	A6 22	01 00	01 36	3E 00
		タイマー	BE EF	03	06 00	36 0E	01 00	01 36	53 00
		(1ボダン)	BE EF	03	06 00	36 /3	01 00	01 36	
		Get	BF EL	03	06 00	F5 32	02 00	01 36	00 00

*: MP-JU4001Jのみ有効

	1	ペレーションタイプ			<u>^"</u>	ッダコー	ド				コマント	データ	9
項目名		設定内容						CRC フラグ	アク	Sey	9-	イプ	セッティング コード
	Cot	無効	BE	EF	03	06	00	FF 3D	01	00	30	26	00 00
リモコン周波数 - 標準	Set	有効	BE	EF	03	06	00	6F 3C	01	00	30	26	01 00
		Get	BE	EF	03	06	00	CC 3D	02	00	30	26	00 00
	Sot	無効	BE	EF	03	06	00	03 3C	01	00	31	26	00 00
リモコン周波数 - 高	Set	有効	BE	EF	03	06	00	93 3D	01	00	31	26	01 00
		Get	BE	EF	03	06	00	30 3C	02	00	31	26	00 00
		オフ	BE	EF	03	06	00	3A C3	01	00	00	35	00 00
	[画像 -1	BE	EF	03	06	00	AA C2	01	00	00	35	01 00
7///	Set	画像 -2	BE	EF	03	06	00	5A C2	01	00	00	35	02 00
×1 1×->		画像 -3	BE	EF	03	06	00	CA C3	01	00	00	35	03 00
		画像 -4	BE	EF	03	06	00	FA C1	01	00	00	35	04 00
		Get	BE	EF	03	06	00	09 C3	02	00	00	35	00 00
マイ イメージ消去 画像 -1	Execute		BE	EF	03	06	00	71 C3	06	00	01	35	00 00
マイ イメージ消去 画像 -2		Execute	BE	EF	03	06	00	35 C3	06	00	02	35	00 00
マイ イメージ消去 画像 -3		Execute	BE	EF	03	06	00	C9 C2	06	00	03	35	00 00
マイ イメージ消去 画像 -4		Execute	BE	EF	03	06	00	BD C3	06	00	04	35	00 00
	Cot	オフ	BE	EF	03	06	00	33 AC	01	00	30	1B	00 00
AMX for LAN	Set	オン	BE	EF	03	06	00	A3 AD	01	00	30	1B	01 00
		Get	BE	EF	03	06	00	00 AC	02	00	30	1B	00 00
	Cot	オフ	BE	EF	03	06	00	33 B2	01	00	50	1B	00 00
CRESTRON	Set	オン	BE	EF	03	06	00	A3 B3	01	00	50	1B	01 00
		Get	BE	EF	03	06	00	00 B2	02	00	50	1B	00 00
		オフ	BE	EF	03	06	00	EA DE	01	00	3F	20	00 00
	Cat	音声入力 1	BE	EF	03	06	00	7A DF	01	00	3F	20	01 00
人タンハイ出力 - 辛害山も	Set	音声入力 2	BE	EF	03	06	00	8A DF	01	00	3F	20	02 00
		HDMI 1	BE	EF	03	06	00	2A C7	01	00	3F	20	20 00
		Get	BE	EF	03	06	00	D9 DE	02	00	3F	20	00 00
本機は、PJLink ™ の Class 2 に適合しています。 PJLink ™プロトコルを使用してプロジェクターを制御するには、下表をご参照ください。

ド	制御説明	送信 又は 応答パラメータ		
POWR	パワーオン/オフ	0 = スタンバイ 1 = パワー(光源)オン		
POWR ?	パワーステータス確認	0 = スタンバイ 1 = パワー(光源)オン 2 = 冷却動作中		
INPT	入力信号切替	11 = コンピュータ入力 1 12 = コンピュータ入力 2 23 = ビデオ 31 = HDMI 1 33 = HDMI 2 41 = USB タイプ A 51 = LAN		
INPT ?	受信信号確認	11 = コンピュータ入力 1 12 = コンピュータ入力 2 23 = ビデオ 31 = HDMI 1 33 = HDMI 2 41 = USB タイプ A 51 = LAN		
AVMT	AV ミュート	10 = ブランクオフ 11 = ブランクオン 20 = ミュートオフ 21 = ミュートオン 30 = AV ミュートオフ 31 = AV ミュートオン		
AVMT ?	AV ミュート状態確認	10 = ブランクオフ中 11 = ブランクオン中 20 = ミュートオフ中 21 = ミュートオン中 30 = AV ミュートオフ中 31 = AV ミュートオン中		
ERST ?	エラーステータス確認	6byteの応答コードが返されます。 応答コードの各エラーステータスは以下の通りです。 0 = 正常 1 = 警告 2 = エラー 1st byte : ファンエラー 2nd byte : 光源エラー 3rd byte : 温度エラー 4th byte : カバーエラー 5th byte : フィルターエラー 6th byte : その他のエラー		

コマンド	制御説明	送信 又は 応答パラメータ			
LAMP ?	光源ステータス確認	1 データ目(5 桁):点灯時間(0 ~ 99999 時間) 2 データ目:0 = 光源消灯中、1 = 光源点灯中			
INST ?	入力端子確認	本機の入力端子が回答されます。 11 12 23 31 33 41 51			
NAME ?	プロジェクター名確認	「ネットワーク」メニューの「プロジェクター名」(叫3-23)で 設定した、本機の名前が回答されます。			
INF1 ?	ブランド名	Maxell			
INF2 ?	機種名確認	ご使用のプロジェクタ—の機種名(形名)が回答されます。 MP-JU4001 MP-JW4001 MP-JW3501			
INFO ?	その他の情報確認	空の文字列を返します。			
CLSS ?	クラス情報確認	2			
SNUM ?	シリアルナンバー確認	シリアルナンバー情報が回答されます。			
SVER ?	ソフト バージョン確認	空の文字列が返されます。			
INNM ?	入力端子名確認	入力端子名が返されます。			
IRES ?	入力解像度確認	入力信号の解像度情報が返されます。			
RRES ?	推奨解像度確認	入力信号の推奨解像度情報が返されます。			
FILT ?	フィルター使用時間確認	フィルター時間が返されます。(5 桁)			
RLMP ?	光源交換モデル ナンバー確認	空の文字列が返されます。			
RFIL ?	フィルター交換モデル ナンバー確認	空の文字列が返されます。			
SVOL	スピーカー音量調節命令	0 = 音量減少 1 = 音量増加			
MVOL	マイク音量調節命令	使用不可			
FREZ	静止命令	0 = 静止オフ 1 = 静止オン			
FREZ ?	静止状態確認	0 = 静止オフ 1 = 静止オン			

〈お知らせ〉

- PJLink ™のパスワードは、プロジェクター Web コントロールの"セキュリティ設定"(□3-49) "プロジェクター制御"(□3-53) で設定した認証パスワードと共用です。PJLink ™を認証なしで使用する場合は、認証パスワードを設定しないでください。
- PJLink ™はデータプロジェクターを操作・管理するための統一規格です。PJLink ™の仕様については PJLink ™の Web サイトをご覧ください。

URL: http://pjlink.jbmia.or.jp/

故障かなと思ったら

	<u>永</u> 警告
電源プラグを コンセント から抜け	● 異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く 煙が出ている、へんな臭いがする、へんな音がする、などの異常が発生した場合は、すぐに電源プラグを抜 いてください。そのまま使用すると <u>火災や感電</u> の原因となります。その後、煙やにおい、音などが止まったこと を確認し、販売店にご連絡ください。
電源プラグを コンセント から抜け	 次のような場合はすぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店に相談する そのまま使用すると火災や感電の原因となります。 また、お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。 内部に異物や液体(金属や水)が入った 落とした、強い衝撃をあたえた 本機や接続している電源コードやケーブル類に損傷がある

ご使用の前に、必ず「正しくお使いいただくために」(□1-2~10)をお読みください。

異常が発生した場合は、すぐに電源プラグを抜き、販売店にご相談ください。

その他の問題が起きた場合は、修理を依頼される前に、以下の「一括して初期設定にもどす」(□ 下記)、「メッ セージ表示」(□4-35,36)、「インジケータ表示」(□4-37,38)、「故障と間違えやすい現象について」 (□4-40~42)をご確認いただき、必要と思われる処置を行ってください。それでも問題が解決しない場合は、 販売店またはお客様ご相談窓口(□4-44)にご相談ください。

一括して初期設定にもどす

誤って本機のメニュー設定を行い、元に戻せなくなったときには、一括初期化機能をご使用ください。 「その他」メニューの「特別な設定」−「工場出荷設定」(□2-34)で「OK」を選択すると、メニューの各項目を一括して初期設定に戻すことができます。

〈お知らせ〉

- マイスクリーンパスワード(□2-37)が設定されていない場合は、マイスクリーン画像もクリアされます。
- マイスクリーンパスワードが設定されている場合は、「初期画面」、「マイスクリーンロック」は初期化されません。
- ●「スタンバイモード」、「オートブランク」、「表示言語」、「点灯時間」、「フィルター時間」、「フィルター掃除通知」、「セキュリティ」、 「スケジュール」、「通信設定」および「ネットワーク」の各項目の設定は初期化されません。「スタンバイモード」、「オートブ ランク」、「点灯時間」、「フィルター時間」、「フィルター掃除通知」、「スケジュール」、「通信設定」、「ネットワーク」を初期 化するには、個別にリセットボタンを押すなどの初期化操作を行ってください。

メッセージ表示

本機の電源を入れたときに、下表のようなメッセージが表示されることがあります。メッセージが表示されたら下 表に従って処置してください。処置後も同じメッセージが表示されたり、下表に記載されていないメッセージが 表示された場合は、販売店にご相談ください。

メッセージ	内容		
マンピュータ入力1 信号が入力されていません	 入力信号が見つかりません。 以下のことをご確認ください。 ・信号ケーブルやコネクタは正しく接続されていますか? (□1-21~24) ・信号源(DVDプレーヤ、コンピュータなど)は正しく動作していますか? 		
接続待ち状態です。 〈SIMPLE ACCESS POINT 〉 SSID : SimpleAccessPoint IP アドレス : 192. 168. 10. 1 〈パスコード 〉 無線LAN : N93D-D114-SBCJ 有線LAN : 2BN1-1111-ZFM5 〈プロジェクター名 〉 Projector_Name	本機は画像データを待っている状態です。 外部機器との接続、本機の設定と、ネットワーク関連の設定を確認してください。 コンピュータと本機のネットワーク接続が切断されている場合は、LiveViewerの 接続ボタンを使用して再接続してください。		
です 信号は同期範囲外です <mark>fH</mark> 75kHz fv 60Hz	 入力されている信号の水平または垂直周波数は本機の対応範囲外です。 以下のことをご確認ください。 ・入力している信号は本機の仕様(□□4-2~4)に合っていますか? ・信号源(DVDプレーヤ、コンピュータなど)は正しく動作していますか? 		
で 、 コンピュータ入力1 入力信号が不安定です	 入力信号の水平又は垂直周波数が安定していません。 以下のことをご確認ください。 ・入力している信号は本機の仕様(□4-2~4)に合っていますか? ・信号ケーブルやコネクタは正しく接続されていますか? (□1-21~24) ・信号源(DVDプレーヤ、コンピュータなど)は正しく動作していますか? 信号入力切替機を介して信号源と本機を接続している場合は、信号源と本機を直接接続してみてください。左記のメッセージが表示されなくなる場合は、ご使用の信号入力切替機の仕様をご確認ください。 		
コンピュータ入力 2 が モニタ出力 に設定されています。 コンピュータ入力 2 を オート または SYNC ON G オフ に変更してください。	「コンピュータ入力」(□2-11)でコンピュータ入力 2 にモニターアウトが選択 された状態で、コンピュータ入力 2/ 音声出力端子が選択されています。 「コンピュータ入力」のコンピュータ入力 2/ 音声出力をオートまたは SYNC ON G オフ に変更してください。 この状態ではモニターアウト機能は使用できません。他の端子を画像入力に選 択してください。		

メッセージ	内 容		
吸気口をチェックしてください。	 本機内部の温度が上がりすぎているか、短期間に大きく上昇、下降した可能性があります。 すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、20分以上冷ましてから、以下のことをご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。 ・吸気口、排気口はふさがっていませんか?(□1-7,12) ・エアーフィルターは汚れていませんか?(□1-40,41) ・周囲温度が40°Cを超えていませんか? 		
ご注意 前回のエアーフィルターの掃除から、 10000時間以上経過しました。 エアーフィルター一掃除後熱願いします。 エアーフィルター掃除後、 フィルター時間をリセットしてください。 詳しくは取扱説明書をご覧ください。	エアーフィルターのお手入れ時期です。 すぐに電源を切って電源プラグを抜いてください。しばらく待って十分冷ましてから、 エアーフィルターを掃除または交換(□1-40, 41)し、もう一度電源を入れ てください。 エアーフィルターを掃除または交換したら、「簡単メニュー」の「フィルター時間」 (□2-4)を使って、忘れずにフィルター時間を初期化してください。		
操作できないボタンが入力されました。	無効なボタンが押されました。		

<u>インジケータ表示</u>

電源/ステータス1、ステータス2インジケータの点灯や点滅には下表のような意味があります。何らかの問題がある場合は下表 に従って処置してください。処置後もインジケータが同様に点灯、点滅したり、下表に記載されていない点灯や点滅が見られた場 合は、販売店にご相談ください。

電源/ステータス 1	ステータス 2	内容
橙色の点灯	消 灯	本機はスタンバイ状態です。 この状態で電源を入れる(光源を点灯させる)または電源プラグを抜 くことができます。(四1-25,31)
緑色の点滅	消 灯	本機はウォームアップ(光源点灯動作)中です。 インジケータの点滅が止まるまでお待ちください。
緑色の点灯	消 灯	本機は通常の動作状態です。
橙色の点滅	消 灯	本機は冷却動作中です。 インジケータの点滅が止まるまでお待ちください。
<mark>赤色</mark> の点滅 <i>3</i> 回	消 灯	光源が不点灯となっています。 本機の電源を切って電源プラグを抜き、もう一度電源を入れてください。
<mark>赤色</mark> の点滅 <i>7</i> 回	<mark>赤色</mark> の点滅 <i>1~5</i> 回	 冷却ファンが動作しません。 すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、20分以上待って冷ましてください。本機が十分に冷えてから以下のことをご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。 ・ファンに異物がはさまったりしていませんか?
<mark>赤色</mark> の点滅 2 回	消 灯	本機内部の温度が上がりすぎている可能性があります。 すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、20分以上待って冷ま してください。本機が十分に冷えてから以下のことをご確認のうえ、もう 一度電源を入れてください。 ●吸気口、排気口がふさがっていませんか? ●周囲温度が40℃を超えていませんか?
<mark>赤色</mark> の点滅 <i>1</i> 回	消 灯	エアーフィルターのお手入れ時期です。 すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、しばらく待って冷まして ください。本機が十分に冷えてからエアーフィルターを掃除または交換 (□1-40, 41)してください。エアーフィルターを掃除または交換したら、 「簡単メニュー」の「フィルター時間」(□2-4)を使って、忘れずにフィ ルター時間を初期化してください。対策が終わったら、電源を入れてく ださい。

電源/ステータス 1 ステータス 2 内容					
<mark>赤色</mark> の点滅 <i>9</i> 回	<mark>赤色</mark> の点滅 <i>1~3</i> 回	内部温度が下がりすぎている可能性があります。 適切な温度環境(0 ~ 40℃)でご使用ください。本機の電源を切 り、周囲の気温をご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。			
通常 <mark>橙色</mark> に点灯 緑色で約 3 秒に 2 回点滅	消 灯	「スタンバイモード」が「高速起動」になっています。 「スタンバイモード」をご確認ください。			
緑色で約 3 秒に 1 回点滅	消 灯	1 つ以上の「電源オン」スケジュールが本機に保存されています。 【ネットワーク編】「スケジュール設定」をご確認ください。			
緑色の点灯	<mark>赤色</mark> の点滅 <i>1</i> 回	「キーロック」の「リモコン」の設定において、「全ボタン」を選択し ている状態で、リモコン信号を受信した場合 「キーロック」の「操作パネル」の設定において、「全ボタン」を選 択している状態で、操作パネルを操作した場合 「キーロック」の設定を確認してください。			
通常緑色に点灯 約3秒に1回点滅	消 灯	「ブランク」(黒)または「AV ミュート」(黒)がかかっています。 「ブランク」または「AV ミュート」を解除するには、リモコンまたは操作 パネルの任意のボタンを押してください。			
橙色の点灯 *	スタンバイ状態でクローニングのロードを実行中です。 詳細は「クローニング」をご確認ください。(〇〇2-32 ~ 34)				
<mark>赤色</mark> の点滅 <i>10</i> 回 *	<mark>赤色</mark> の点滅 <i>3</i> 回	スタンバイ状態でクローニングのロードに失敗しました。(クローニン グロックが有効) 詳細は「クローニング」をご確認ください。(〇〇2-32 ~ 34)			
<mark>赤色</mark> の点滅 <u>赤</u> 色の点滅 10回*2回		スタンバイ状態でクローニングのロードに失敗しました。(クローニン グロックが無効) 詳細は「クローニング」をご確認ください。(〇〇2-32 ~ 34)			
<mark>赤色</mark> の点滅 10回 * 消灯		スタンバイ状態でクローニングのロードに成功しました。 詳細は「クローニング」をご確認ください。(〇〇2-32 ~ 34)			
<mark>赤色</mark> の点滅 2 回	<mark>赤色</mark> の点滅 <i>1~3</i> 回	本機内部の温度が上がりすぎている可能性があります。 すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、20 分以上待って冷ま してください。本機が十分に冷えてから以下のことをご確認のうえ、もう 一度電源を入れてください。 ●吸気口、排気口が塞がれていませんか? ●エアーフィルターが汚れていませんか? ●周囲温度が 40℃を超えていませんか? ●高地モードの設定は正しいですか? ●本機の吸気口に周辺機器からの熱風 / 冷風が直接当たっていませ んか? 詳細は、「その他」メニューの「特別な設定」より「高地モード」 (Щ2-29) をご参照ください。誤った設定での使用は、故障の原因 となります			

〈お知らせ〉

● 内部温度が上がりすぎると、安全のため、自動的に電源が切れることがあります。このときインジケータが全て消灯することがあります。この場合はすぐに電源コードを抜いて、20 分以上待って冷ましてください。本機が十分に冷えてから、もう一度電源を入れてください。

工場出荷設定

誤った設定の変更が難しい場合は、「その他」メニューの「特別な設定」の「工場出荷設定」より、全てをリセットすることができます。 ただし、「スタンバイモード」、「オートブランク」、「表示言語」、「点灯時間」、「フィルター時間」、「フィルター掃除通知」、「セキュ リティ」、「スケジュール」、「通信設定」および「ネットワーク」の各項目の設定は初期化されません。

<u>故障と間違えやすい現象について</u>

以下のような現象は故障ではない場合があります。

修理をご依頼になる前に、下表に従ってご確認のうえ、必要に応じて処置してください。ネットワーク機能に関しての問題は、【ネットワーク編】「トラブルシューティング」(□3-86 ~ 91)を、ご確認ください。 処置後も現象が改善しない場合は販売店にご相談ください。

現象	確認内容	参照ページ
電源が	電源コードは正しく接続されていますか? 電源コードの接続状態を確認し、正しく接続してください。	₽1-25
入らない	停電などで、動作中に電源が切れませんでしたか? その場合は電源コードを抜いて 20 分以上待って冷まし、もう一度電源を入れてください。	₽1-25, 31
電源オン / オフ 以外の操作が できない	「OSD メッセージ」メニューが「禁止」に設定されていませんか? リモコンの OSD メッセージ ボタンを 3 秒以上押して、OSD メッセージ ダイアログを表示し、 設定を切り替えてください。	□ 1-34 □ 2-17
	信号ケーブルは正しく接続されていますか? 各接続状態を確認し、正しく接続してください。	□ 1-21 ~ 24
	信号源(DVD プレーヤ、コンピュータなど)は正しく動作していますか? 信号源の電源や設定を確認してください。	-
映像も音声も 出ない	信号が入力されている端子を選んでいますか? 映像信号を選択しなおしてください。	₽1-33
	ブランク機能とミュート機能が働いていませんか? AV ミュートが働いている可能性があります。 以下の「映像は出るが音声が出ない」「音声は出るが映像が出ない」の項目を参照し て、ブランクおよびミュート機能を無効にしてください。	□1-33, 39
	信号ケーブルは正しく接続されていますか? 各接続状態を確認し、正しく接続してください。	□ 1-21 ~ 24
	ミュート機能が働いていませんか? リモコンの 音量 +/- ボタンを押して、音声を復帰させてください。	₽1-33
映像は出るが 音声が出ない	音量が小さく調節されていませんか? 音量を調節して大きくしてください。	₽1-33
	「音声入力設定」と「スピーカー」が正しく設定されていますか? 「オーディオ」メニューの「音声入力設定」と「スピーカー」の設定を確認してください。	2-18
	"LiveViewer" のサウンドチェックボックスで音声が無効にされていませんか? LAN 端子を選択している場合は、"LiveViewer" のオプション画面でサウンドチェックボッ クスを確認してください。	-
	信号ケーブルは正しく接続されていますか? 各接続状態を確認し、正しく接続してください。	□ 1-21 ~ 24
音声は出るが 映像が出ない	画面の明るさが極端に暗く調節されていませんか? 「映像」メニューの「明るさ」を調節して明るくしてください。	₽2-5
	接続しているコンピュータがプラグ&プレイ・モニタを検知できますか? 他のプラグ・アンド・プレイ・モニタを使用して、コンピュータがプラグ・アンド・プレイ・モニタを検知することができるか確認してください。	₽1-21
	ブランク画面になっていませんか? リモコンの ブランク ボタンを押して確認してください。	₽1-39
	コンピュータ入力 2 が音声出力に設定されていませんか? 「入力」 メニューの「コンピュータ入力」のコンピュータ入力 2 をオートか SYNC ON G オフに設定してください。	₽2-11
	本機が USB タイプ A 端子に挿入された USB メモリを認識していない可能性があります。 サムネイルメニューから「USB メモリ取外し」を実行し、一度 USB メモリを外してから、 再度 USB タイプ A 端子に接続してください。	₽2-44

現象	確認内容	参照ページ
リモコンが 効かない	本機はリモコンの信号を受信していますか? 「その他」メニューの「特別な設定」のリモコン周波数を参照して、リモコン信号の周波 数を変更してください。以下のどちらかを設定してください。 1. 信号周波数モードを標準とするために、1:標準を有効、2:高を無効に設定 2. 信号周波数モードを高とするために、1:標準を無効、2:高を有効に設定	₽2-30
スタンバイモー ドで USB タイ プ A が給電が しない	USB スタンバイ給電機能が動作していません。 スタンバイモードが「省電力」/「ネットワーク (WOL)」に設定されている場合は、スタ ンバイモードで USB タイプ A は給電できません。「設定」メニューの「スタンバイモード」 を「通常」または「高速起動」、「入力」メニューの「USB スタンバイ給電」を「有効」 に設定してください。	₽2-15
映像が動かない (静止している)	フリーズボタンで映像を静止させていませんか? フリーズボタンを押して確認してください。	₽1-38
色が薄い、	色温度、色の濃さや色あいが正しく調節されていますか? 「映像」メニューの「色温度」、「色の濃さ」、「色あい」を調節してください。	₽2-5, 6
色あいが悪い	色空間は正しく設定されていますか? 「入力」メニューの「色空間」の設定を変更してください。	2-10
	画面の明るさやコントラストが暗く設定されていませんか? 「映像」メニューの、「明るさ」、「コントラスト」を調節して明るくしてください。	2-5
血体が空い	「光出力」がロングライフまたは静音モードに設定されていませんか? 「設置」メニューの「光源&フィルター」 - 「光出力」を「標準モード(100)」に設定 してください。	□ 2-14
	光源が寿命に近づいていませんか? 販売店にご相談ください。	-
	内部温度が高い場合(周囲温度が 35℃より低い場合でも)、光源の明るさは自動的 に低下することがあります。 エアーフィルタを清掃または交換してください。	□ 1-40, 41
映像が ぼやける、	フォーカス、クロック位相は調節されていますか? フォーカス、および「表示」メニューの「クロック位相」を調節してください。	□1-35 □2-8
もやがかかって みえる、 映像周辺が 明るい	レンズが汚れたり、くもったりしていませんか? レンズをお手入れしてください。	₽1-42
ちらつきや	「オーバースキャン」を大きく設定しすぎていませんか? 「表示」メニューで「オーバースキャン」を調節し直してください。	₽2-8
縞模様など、 画像ノイズが	「ビデオ NR」を強く設定していませんか? 「入力」メニューで「ビデオ NR」を「中」か「弱」に設定してみてください。	2-10
- 現れる、 映像が乱れる	フレームロック機能を有効にしていますか? 信号によっては、フレームロック機能が動作しない場合があります。「入力」メニューで、 選択している入力端子の「フレームロック」を「無効」にしてみてください。	₽2-12
音声や映像が 不安定または 間欠的に出力 される	LAN 端子が選択されていると、信号処理遅延のために、出力の一部の端子が不安定 になることがあります。 信号を変更するか、別の端子を使用してください。	□1-33 □12-18

現象	確認内容	参照ページ
	「設置」メニューの「スタンバイモード」を「通常」または「高速起動」に設定 してください。	2-15
ができない	「通信タイプ」が「ネットワークブリッジ」に設定されていませんか? 「その他」メニューの「特別な設定」-「通信設定」-「通信タイプ」を「オフ」 に設定してください。	₽2-31
ネットワークに	「設置」メニューの「スタンバイモード」を「通常」または「高速起動」に設定 してください。	2-15
接続できない	同じネットワークアドレスが無線 LAN と有線 LAN に設定されていませんか? 無線 LAN と有線 LAN のネットワークアドレス設定を変更してください。	-
ネットワークブリッジで 通信できない	「通信タイプ」が「オフ」に設定されていませんか? 「その他」メニューの「特別な設定」ー「通信設定」から「通信タイプ」を「ネッ トワークブリッジ」に設定してください。	₽2-31
	「設置」メニューの「スタンバイモード」を「通常」または「高速起動」に設定 してください。	₽2-15
スケジュール機能が 動作しない	内蔵時計がリセットされていませんか? 本機の電源が切れると、現在の日付と時刻の設定は初期化されます。 「その他」メニューの「スケジュール」の「日付と時刻の設定」を確認する、またはネッ トワークメニューの SNTP 機能を設定してください。	₽2-26
本機を有線 LAN に接 続時、電源が以下の ように切り替わる 電源「オフ」 → 電源/ステータス 1 インジケータが 数回橙色に点滅 → スタンバイモードに	プロジェクターから LAN ケーブルを抜いて、プロジェクターが正常に動作することを 確認してください。 ネットワークに接続すると本現象が発生する場合は、以下のように、ネットワーク 内に 2 つのイーサネットスイッチングハブ間のループ接続があることが考えられます。 ・ネットワーク内に 2 つ以上のイーサネットスイッチングハブがある。 ・それらのハブのうちの 2 つが、LAN ケーブルで 2 重に接続されている。 ・その 2 重に接続された 2 つのハブ間でループを形成している。 このようなループは、プロジェクターだけでなく、ネットワーク内の他の装置へも悪影 響を及ぼすことがあります。 ネットワーク接続を確認し、ループが存在する場合は LAN ケーブルを 1 本にする などして、ループを削除してください。	-
切り替わる クローニングデータを 保存できない *	USB メモリの空き容量が不足していませんか? ・ 不要ファイルを消去して空き容量を確保してください。必要な容量は 1MB です。 USB メモリが書き込み禁止となっていませんか? ・書き込み禁止を解除してください。	
クローニングデータを ロードできない *	 USB メモリに保存したファイルが見つからない場合があります。 ・手順に従い保存を実行後にロードを実行してください。 USB メモリのファイル名が異なっていませんか? ・設定データは "pj_data.bin"、マイスクリーンデータは "pj_logo.bmp" または "pj_logo.gif"としてください。 ・「スタンバイモード」が「省電力」または「ネットワーク(WOL)」に設定されていませんか? スタンバイ状態で本機の操作パネルを使ってロードする場合は、あらかじめ「設置」メニューの「スタンバイモード」を「省電力」から「通常」または「高速起動」に切替えてください。 ・「USB スタンバイ給電」が「無効」に設定されていませんか。 本機がスタンバイ時に操作パネルでクローニングデータをロードする場合、あらかじめ「設置」メニューの「USB スタンバイ給電」を「有効」に設定してください。 	2-15

* : MP-JW4001J/MP-JW3501Jのみ

〈お知らせ〉

● 画面中に輝点や黒点がみられることがありますが、これは液晶特有の現象であり、故障ではありません。

【保証とアフターサービス】 必ずおよみください!

修理を依頼されるときは

(出張修理)

【ネットワーク編】「トラブルシューティング」(□3-86 ~ 91)、【技術情報編】「故障かなと思ったら」(□4-34 ~42)に従って調べていただき、なお異常のあるときは、 必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または 「お客様ご相談窓口」へご連絡ください。

保証期間中は

修理をご依頼の際は保証書をご提示ください。保証書の規 定に従って、マクセル株式会社が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

「お買い上げ日」や「販売店」の欄はあらかじめ記入してお くと、修理をご依頼になるときに便利です。

品名	プロジェクター				
本体形名	MP-JU4001J MP-JW4001J/MP-JW3501J (MP-JU4001/MP-JW4001/MP-JW3501)				
お買い上げ日		年	J	月	日
	店名				
販売店	電話		()	
故障の状況	※できるだけ具体的にお知らせください。				
梱包材の 有無	輸送いただく場合はお買い上げ時の梱包材 をお使いください。梱包材が損傷していたり 廃棄または紛失した場合はお知らせください。				
	名前				
お客様	住所 ※付近の目	印なども	ら合わせて	お知らせ	ください。
	電話番号				
		年	J	月	B
	•				

保証書

ご不明な点

や修理に関する

ご相談は

補修用

性能部品

保有期間

保証書は必ず「お買い上げ日」「販売店」 などの記入をお確かめください。内容をよく お読みの後、大切に保管してください。 保証期間については保証書をご覧ください。

修理に関するご相談やご不明な点は、お 買い上げの販売店または「お客様ご相談 窓口」にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間は、製造 打ち切り後6年です。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料修理させていただきます。

修理料金のしくみ



長年ご使用のプロジェクターの点検をぜひ!

熱、湿気、ホコリ、煙草の煙などの影響や、使用度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって 事故につながることもあります。



お客様ご相談窓口

弊社のプロジェクターや関連製品の修理に関するご相談やご不明な点については、お買い上げの販売店へお問い合わせいただくか、次の「お客様ご相談窓口」へご連絡ください。

TEL. 0120-5470-60

受付時間:09:00~17:00

※弊社の休業日(土曜日、日曜日、祝日、および年末年始や夏季など)は休ませていただきます。

※ 一部の IP 電話からは繋がらない場合があります。その場合はお手数ですが、携帯電話やスマートフォンなどからお掛け直しを お願いいたします。

マクセル プロジェクター ホームページ

弊社のプロジェクター用の取扱説明書やアプリケーションソフトウェアの最新版は、弊社のホームページからダウン ロードしてご利用いただけます。ホームページでは、レンズや設置器具などの別売品に関する情報もご案内してい ます。次の URL ヘアクセスしてご利用ください。



ホームページ URL http://biz.maxell.com/ja/display_equipment/

個人情報の取扱について

- ●弊社が「お客様ご相談窓口」などで取得したお客様の個人情報は、お客様のご相談及びサポート等への対応を目的として利 用し、適切に管理します。
- ●お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確に回答するために通話内容を記録(録音など)させていただくことが あります。
- ●ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、弊社のグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- ●弊社の「個人情報保護方針」は、次の URL よりご参照ください。

個人情報保護方針 URL https://biz.maxell.com/ja/privacy_policy.html



<u>商標について</u>

- Crestron[®]、Crestron e-Control[®]、e-Control[®]、Crestron Connected[®]、Fusion RV[®], Crestron RoomView[®] および RoomView[®] は、米国またはその他の国における Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。
- Android[™] および Chrome OS[™] は Google LLC の商標です。
- Wi-Fi[®]は、Wi-Fi Alliance[®]の登録商標です。
- Adobe[®] および Flash[®] は、Adobe Systems Incorporated の登録商標です。
- Microsoft[®]、Internet Explorer[®]、Windows[®]は、米国またはその他の国における Microsoft Corpodration の登録商標です。
- Mac は、Apple Inc. の商標です。
- VESA および DDC (DDC/CI) は Video Electronics Standards Association の商標です。
- HDMI[®]、HDMI High-Definition Multimedia Interface[®] および HDMI[®] ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- PJLink 商標は、日本、米国その他の国や地域における出願商標または登録商標です。
- Blu-ray[™] および Blu-ray Disc[™] は Blu-ray Disc Association の商標です。
- DICOM®は、National Electric Manufacturers Association による、医療情報のデジタル通信に関する規格における登録商標です。

PLink

• Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

<u>プロジェクターソフトウェアのライセンスについて</u>

• プロジェクターに組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアモジュールで構成され、個々のソフトウェアモジュールには、それぞれに 弊社または第三者の著作権が存在します。【技術情報編】の「ソフトウェアのライセンス情報」の項をご参照ください。

ソフトウェアのライセンス情報

プロジェクターに組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアモジュールで構成され、個々のソフトウェアモジュールは、それぞれに弊社または第三者の著作権が存在します。

プロジェクターには、弊社自身が開発または作成したソフトウェアモジュールも含んでいますが、これらのソフトウェア及びそれに付帯したドキュメント等には、弊社の所有権および知的財産権が存在します。これらについては、 著作権法その他の法律により保護されています。

また、プロジェクターには、米国 Free Software Foundation, Inc. が定めたソフトウェア使用許諾契約書 (GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2 及び GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1)、または各ソフトウェアの使用許諾契約書に基づきフリーソフトウェアとして使用許諾されるソフトウェアモジュールを使用しています。

対象となるソフトウェアモジュール、及びその他のソフトウェアの使用許諾契約書につきましては、弊社のホームページ(□4-44)をご覧ください。

また、ライセンスソフトウェアにつきましては各地域のディーラーにお問い合わせください。

当該ソフトウェアモジュールの使用条件等の詳細につきましては、後に記載する各ソフトウェア使用許諾契約 書(別紙)、及びホームページに記載した各ソフトウェアの使用許諾契約書をお読みください(弊社以外の 第三者による規定であるため、原文(英文)を掲載いたします)。

当該ソフトウェアモジュールについては、弊社以外に、別途著作権者その他の権利を有する者がおり、かつ、 無償での使用許諾ですので、現状のままでの提供であり、また、適用法令の範囲内で一切保証(明示す るもの、しないものを問いません)をしないものとします。また、弊社は、当該ソフトウェアモジュール及びその 使用に関して生じたいかなる損害(データの消失、正確さの喪失、他のプログラムとのインタフェースの不適合 化等も含まれます)についても、適用法令の範囲内で一切責任を負わず、費用負担をいたしません。

<u>ソフトウェアモジュールに関する</u> ソフトウェア使用許諾契約書原文(英文)

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Copyright © 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc. 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free softwareto make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language.

(Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
- c) If the modified program normally reads commands

interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License. 3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

- a) Accompany it with the complete corresponding machinereadablesource code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all.

For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be torefrain entirely from distribution of the Program. If any portion of this section is held invalid or unenforceable underany particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in othercircumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.> Copyright © <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version. This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details. You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright © year name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program. You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program 'Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989 Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1, February 1999

Copyright © 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc. 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing nonfree programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries.

In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in nonfree programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/ Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library. Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) The modified work must itself be a software library.
- b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
- d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful. (For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any applicationsupplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If dentifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machinereadable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

- a) Accompany the work with the complete corresponding machinereadable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
- b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
- c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
- d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
- e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

- a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
- b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License). To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.> Copyright $\ensuremath{\mathbb{C}}$ copyright copyright

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details. You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names: Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library 'Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990 Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

About the OpenSSL Toolkit

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/). Copyright© 1998-2008 The OpenSSL Project. All rights reserved.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS

INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).